

CentreNET® AT-TCP/32 Professional Ver.2.1

User Manual



PN: J613-M4443-00 Rev.A

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)が保有しています。当社の同意な
 く本書の全体もしくは一部をコピーまたは転載しないでください。
- 当社は、予告なく本書の全体もしくは一部を修正または改訂することがあります。あらかじめご了 承ください。
- 当社は、改良のため予告なく製品の仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますので あらかじめご了承ください。

著作権表示

- Copyright © 1996, 1997, 2000 アライドテレシス株式会社
- Copyright © 1996 Orangesoft, Inc.

商標について

- CentreNET、CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporationの米国その他の国における登録商標です。
- UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドがライセンスする米国ならびに他の国における登録商標です。
- PC-9800 は、日本電気株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

• 2000年9月初版

目次

ご注意	盖	ii
著作梢	霍表示	ii
商標は	こついて	ii
マニュ	ュアルバージョン	ii
第1章	概要	1
第2章	電子メール	3
2.1	起動	3
2.2	環境設定	4
2.3	接続	10
2.4	メールを読む	11
2.5	メールの整理	12
2.6	メールの検索	17
2.7	メールの送信	19
2.8	添付ファイル	25
2.9	アドレス帳	28
2.10	オフラインモード....................................	31
2.11	高度な設定	33
2.12	暗号化	35
2.13	終了	52
第3章	ネットニュースリーダ	53
3.1	起動	53
3.2	環境設定	54

3.3	接続	59
3.4	記事の購読	59
3.5	記事の投稿	61
3.6	フォローアップ	63
3.7	メールの送信	63
3.8	切断	64
3.9	終了	64
第4章	VT 端末エミュレータ	65
4.1	起動	65
4.2	ログイン	66
4.3	ログアウト	72
4.4	切断	72
4.5	終了	72
4.6	その他の機能	73
4.7	UNIX 以外のサーバにログインする....................................	77
4.7 第5章	UNIX 以外のサーバにログインする	77 81
4.7 第5章 5.1	UNIX 以外のサーバにログインする	77 81 81
4.7 第5章 5.1 5.2	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録	77 81 81 81
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録 FTP サーバへの接続	77 81 81 81 84
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動	77 81 81 81 84 85
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動	777 81 81 81 84 85 88
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録 FTP サーバへの接続 ファイルの転送 ファイルの表示 ファイル名の変更	777 81 81 81 84 85 88 90
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録 FTP サーバへの接続 ファイルの転送 ファイルの表示 ファイルの削除	777 81 81 81 84 85 88 88 90 91
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7 5.8	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動	 77 81 81 81 84 85 88 90 91 92
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7 5.8 5.9	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録 FTP サーバへの接続 ファイルの転送 ファイルの表示 ファイルの表示 ファイルの削除 ペクロプロセッサ機能	 77 81 81 84 85 88 90 91 92 92
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7 5.8 5.9 第6章	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録 FTP サーバへの接続 ファイルの転送 ファイルの表示 ファイルの削除 マクロプロセッサ機能 Ftp サーバ	777 81 81 81 84 85 88 90 91 92 92 92
4.7 第5章 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7 5.8 5.9 第6章 6.1	UNIX 以外のサーバにログインする Ftp クライアント 起動 FTP セッションの登録 FTP サーバへの接続 ファイルの転送 ファイルの表示 ファイルの表示 ファイルの削除 マクロプロセッサ機能 Ftp サーバ 起動 エーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	777 81 81 84 85 88 90 91 92 92 101 101

Ping ユーティリティ 107 ping の実行 108 リモートプリント 111 第9章 プリンタサーバ 115 第 10 章 Tftp クライアント 119 第 11 章 Tftp サーバ 125 11.2 ディレクトリの設定 126 11.3 サーバの開始と停止 127

6.3

第7章

7.1

7.2

7.3

7.4

第8章

8.1

8.2

8.3

8.4

8.5

9.1

9.2

9.3

第12章 リモートコマンド 129 12.1 リモートホスト側に必要な環境と設定..... 129

12.2	起動	131
12.3	r コマンドの実行	132
12.4	スクリプトファイルの使用....................................	136
12.5	終了	139
第 13 章	፤ Finger クライアント	141
13.1	起動	142
13.2	finger の実行	142
13.3	情報の保存	143
13.4	漢字コード変換の設定	144
13.5	終了	144
第 14 章	ま Finger サーバ	145
1/1	±1.5h	145
14.1		140
14.2	释」	146
第 15 章	፤ Whois クライアント	147
15.1	起動	147
15.2	漢字コード変換の設定	148
15.3	情報の検索	149
15.4	情報の保存	149
15.5	終了	149
答人公式		454
弗 10 享	2 時刻設定ユーティリティ	151
16.1	日付・時刻の確認....................................	151
16.2	終了	152
第 17 章	፤ ダイヤルアップコネクタ ー	153
17.1	はじめに	153
17.2	起動	154
17.3	接続先の登録	154

17.5	巡回接続と巡回切断	160
17.6	接続状態の確認	160
17.7	接続先の削除	161
17.8	接続先情報の編集....................................	161
17.9	自動起動と自動ダイヤル	161
17.10	リダイヤル	163
17.11	自動切断....................................	164
17.12	ダイヤルアップコネクターのアイコン化	165
17.13	接続後に接続ダイアログを隠す	166
17.14	接続通知....................................	166
17.15	構内交換機 (PBX) 経由で接続する場合	167
17.16	終了	169
付録 Δ	フーザーサポート	171
1.1 2.4 / 1		., .
A.1	調査依頼書のご記入にあたって....................................	171

第1章

概要

このたびは、CentreNET AT-TCP/32 Professional(以下、AT-TCP/32)をお買い上げ頂きまして誠にあり がとうございます。AT-TCP/32 は、Windows95/98/NT 3.51/NT 4.0/2000 対応の 32 ビット TCP/IP アプリケーションパッケージです。AT-TCP/32 を使用することにより、UNIX システムと Windows シ ステムが混在するネットワークを容易に構築することができます。

本 User Manual では、AT-TCP/32 収録の各アプリケーションについて、起動から終了までの基本的な 操作方法を説明しています。なお、各アプリケーションのより詳細な使用方法や設定方法については、オ ンラインヘルプをご参照ください。

Topics:

- □ 電子メール (☞ p.3)
- □ ネットニュースリーダ (☞ p.53)
- □ VT 端末エミュレータ (☞ p.65)
- □ Ftp クライアント (☞ p.81)
- □ Ftp サーバ (☞ p.101)
- □ Ping ユーティリティ (☞ p.107)
- □ リモートプリント (☞ p.111)
- □ プリンタサーバ (☞ p.115)
- □ Tftp クライアント (☞ p.119)
- □ Tftp サーバ (☞ p.125)
- □ リモートコマンド (☞ p.129)
- □ Finger クライアント (☞ p.141)
- □ Finger サーバ (☞ p.145)
- □ Whois クライアント (☞ p.147)
- □ 時刻設定ユーティリティ (☞ p.151)
- □ ダイヤルアップコネクター (☞ p.153)

第2章

電子メール

「電子メール」(ATMail)は、Windows上でインターネットメールの送受信を行うためのアプリケーションです。ATMailは以下の特長を持っています。

- SMTP プロトコル(送信用) POP3 プロトコル(受信用)をサポート
- 着信メールをフォルダで分類・管理
- メールメッセージの暗号化と復号化

Topics:

- □ 起動 (☞ p.3)
- □ 環境設定 (☞ p.4)
- □ 接続 (☞ p.10)
- □ メールを読む (☞ p.11)
- □ メールの整理 (☞ p.12)
- J メールの検索 (☞ p.17)
- J メールの送信 (☞ p.19)
- □ 添付ファイル (☞ p.25)
- □ アドレス帳 (☞ p.28)
- □ オフラインモード (☞ p.31)
- □ 高度な設定 (☞ p.33)
- □ 暗号化 (☞ p.35)
- □ 終了 (☞ p.52)

2.1 起動

「スタート」メニューから、「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「電子メール」の順に選択します。

2.2 環境設定

2.2.1 ウィザードによる設定

初めて ATMail を起動すると、環境設定ウィザードが表示されます。このウィザードでは、ATMail を使用するために必要となる基本的な設定を行います。ウィザードの指示にしたがってください。

なお、ウィザードをキャンセルして、 ATMail ウィンドウの「ネットワーク」 「環境設定」で設定を行うこともできます。その場合は、ウィザードの 1/7 でキャンセルをクリックしてください。

1. 「次へ」ボタンをクリックして次に進みます。

環境設定ウイザード 1/7	×
環境設定ウイザードへようこそ。順番に質問に答えてい、Kと、ATMailの基本的な設定が完了します。	
設定に必要な情報は以下のとおりです。	
・あなたのメールアドレス ・SMTPサーバのホスト名(またはIPアドレス) ・POPサーバのホスト名(またはIPアドレス)、またはPOPアカウント ・ログイン名(POPアカウントがわかれば不要です)	
わからない V情報があれば、キャンセルボタンを押してウイザードを終了し、ネットワーク管理 者またはインターネット ブロバイダに問い合わせてください。	
設定を始めるには、D欠へ]を押してください。	
(三天)(日) (二) (本人)(1) (* (\lambda)(1) (* (\lambda)(1))))))))))))))))))))))))))))))))))	_

環境設定ウィザード 1/7

 POP サーバ(受信用)とSMTP サーバ(送信用)のホスト名を入力します。POP サーバの代わり に POP アカウント名を指定することもできます。その場合、次の画面(3/7)でログイン名を入力 する必要がなくなります。

環境設定ウイザード 2/7	×
1. POPサーバのホスト名、またはPOPアカウントを入力してください。	
afrika.tw.allied-telesis.co.jp	
2.SMTPサーバのホスト名を入力してください。	
afrika.tw.allied-telesis.co.jp	
< 戻る(B) (次へ)(U)>(、) キャ	ンセル

環境設定ウィザード 2/7

4

▶ POP アカウントは、「ログイン名@POP サーバのホスト名」の形式で指定します。ログイン 名「mikeo」、POP サーバのホスト名「afrika.tw.allied-telesis.co.jp」の場合、POP アカウントは 「mikeo@afrika.tw.allied-telesis.co.jp」となります。POP アカウントの形式はメールアドレスとよ く似ていますが、必ずしもメールアドレスと同じではありませんのでご注意ください。

3. POP サーバのログイン名を入力します。2/7 で POP アカウントを指定した場合はそのまま「次へ」をクリックします。

環境設定ウイザード 3/7	×
3.ログイン名を入力してください。1.でPOPアカウントを入力した場合は自動で設定	
Citz 9 o	
	**/10/1

環境設定ウィザード 3/7

4. メールアドレスと本名を入力します。

環境設定ウイザ	-F 4/7
4. あなたの.	メールアドレスを入力してください(例: sawano@allied-telesis.co.jp)
mikeo	@allied-telesis.co.jp
5. 本名を入	力してください。この名前はメールのFrom行に表示されます。ローマ字
で入力する	_とをお勧めします(例: Hiroyuki Sawano)。
Mikeo	DAIDAI
	< 戻る(B) 「次へ(M) > 下」 キャンセル

環境設定ウィザード 4/7

5. 受信したメールを保存するディレクトリを指定します。

環境設定ウイザード 5/7	X
6. 受信した電子メールを保存するディ	(レクトリを指定してください。
	<u> </u>
	< 戻る(B) (ご次へ(N)ント) キャンセル

環境設定ウィザード 5/7

6. ネットワークの接続方法と POP サーバにメールを残すかどうかを指定します。

環境設定ウイザード 6/7			×
7. ネットワークの接続方法を選択してください	, ì _o		
○ ダイヤルアップ接続(型)			
⊙ LAN接続(L)			
○ ダイヤルアップとLANの両方(B)			
8. サーバにメールを残しておきますか?通知	常は残しておく	(必要はありません。	
 残さない(<u>R</u>) 			
○残す(E)			
	< 戻る(<u>B</u>)		キャンセル

環境設定ウィザード 6/7

7. 「完了」をクリックすると設定完了です。

環境設定ウイザード 7/7	×
設定を変更する場合は、「戻る」を押して設定を変更してください。変更しない場合は1完了」を 押してウイザードを終了してください。	
より詳しく設定を行う場合は、ウイザートを終了した後で、「環境設定」を行ってください。	
	_
< 戻る(B) デア(ビー) キャンセル	

環境設定ウィザード 7/7

2.2.2 環境設定メニューによる設定

ウィザードによる設定をキャンセルした場合、あるいは、ウィザードによる設定を変更したい場合は、 ATMail ウィンドウの「ネットワーク」 「環境設定」メニューで設定を行います。

メニューから「ネットワーク」 「環境設定」を選択し、「環境設定」ダイアログを表示させます。
 ここで必要な情報を入力します。

環境設定		×
2-ザディレクトソ(U): 問い合わせ間隔(I): 若信時のサウンド(<u>S</u>):	G:¥bin¥attcp21¥Mail¥mikec¥ 10 分(3分以上,0は間合わせなし) 参照(B)	ОК ++уtell
POPサーバ名(<u>P</u>): SMTPサーバ名(<u>I</u>):	afrika.tw.allied-telesis.co.jp afrika.tw.allied-telesis.co.jp	
ログイン名(L): メールアドレス(M): 本名(N):	mikeo mikeo®allied-telesis.co.jp Mikeo DAIDAI	
オブション(0): 図着信したらボッブア つねに手前に表示 ジサーバのメールは残 二大きいメール(32K超 記動時にdeleteフォ コオフラインモードを ロマイー、ソポ能で動作	ップ しておく)はスキップ ルダを空に 許可する(オンライン時に設定可) ▼	

環境設定ダイアログ

ユーザディレクトリ

受信したメールやアドレス帳など、個人データを置くディレクトリを指定します。

問い合わせ間隔

POP サーバに着信メールの問い合わせを行う間隔を指定します。同じメールサーバを利用し

ているユーザ数が多い場合は、長めに設定してください。単位時間あたりの参照回数(人数) が多くなると、接続に失敗する可能性があります。デフォルトは10分です。3分以上で設定 してください。

▶ 着信メールの自動チェックを行いたくないときは、問い合わせ間隔を「0」分に指定します。

着信時のサウンド

メール着信時に再生する WAV ファイルを指定します。

POP サーバ名

受信時に使用する POP サーバのホスト名を入力します。POP3/ APOP に対応。RPOP は使用できません。

SMTP サーバ名

送信時に使用する SMTP サーバのホスト名を入力します。

ログイン名

POP サーバへのログイン名を入力します。

メールアドレス

メールアドレスを入力します。

本名

メールアドレスに付ける本名を指定します。

オプション

以下のチェックボックスがあります。

着信したらポップアップ

ここをチェックすると、ATMailをアイコン化しているときに新着メールが届くと、ATMail ウィンドウが元のサイズに戻ります。デフォルトは on です。

つねに手前に表示

これをチェックすると、他のウィンドウよりも、ATMailのウィンドウが常に手前に表示 されます。

サーバのメールは残しておく

ここをチェックすると、ATMail でメールを読んでも、サーバのスプールからメールが削除されません。デフォルトは on です。ただし、サーバ上にたくさんメールを残しておくと、次のような弊害が予想されますのでご注意ください。

- サーバのディスク資源が消費される
- ATMail が新着メールを問い合わせるたびに、サーバ上のメールをすべて読み直す (サーバから ATMail ヘデータが転送される)ので、通信量が多くなり、実行速度が 遅くなる。

大きいメールはスキップ

ここをチェックすると、32K バイト以上のメールを PC 側に読み込まなくなります。

起動時に delete フォルダを空に

ReadMail ウィンドウでメールを削除すると、そのメールは「delete」フォルダ(ファイル)に移動されます。これをチェックすると、ATMail 起動時に「delete」フォルダの内

容を空にします。

オフラインモードを許可する

ここをチェックすると、書いたメールを送信待機フォルダに保存しておき、次回オンラ インになったときにまとめて送信することができます。ただし、オフラインモードでは、 サーバに新着メールを取りに行ったり、メールを出したりすることはできません。また、 オフラインモードでは、パスワードチェックが行われないため誰でもあなたのフォルダの メールを読むことができます。これはセキュリティ上非常に危険ですから、運用に注意し てください。

アイコン状態で動作

これをチェックしておくと、新着メールがないときは、ATMail ウィンドウがアイコン状態になります。

サーバのメールを削除する前に確認

ここをチェックすると、サーバにスプールされているメールを削除する前に確認のメッ セージが表示されます。

送信待機メールを送る前に確認

ここをチェックすると、送信待機メールがある場合、送信前に確認のメッセージが表示されます。

起動時に接続ウィンドウを表示する

ここをチェックすると、ATMail の起動時に、POP パスワードを入力するための「接続 ウィンドウ」が表示されます。

ダイヤルアップ接続を監視

これをチェックすると、ダイヤルアップ接続時に ATMail を自動的にオンラインにした

り、切断時に自動的にオフラインにしたりすることができます。

WEB ブラウザのメール送信を横取り

ここをチェックすると、ご使用のブラウザからメーラー起動メニューを選択した場合に、 ATMail が起動されるようになります。

ReadMail の起動時に新着メールをチェックする

ここをチェックすると、ReadMail ウィンドウの起動時に自動的に新着メールを読み込み ます。

- 2. 環境をすべて設定したら、「OK」ボタンをクリックします。
- 「ファイル名を指定して保存」ダイアログが表示されます。保存するファイルの名前を指定して 「保存」ボタンをクリックします。複数のユーザーでご使用の際は、ファイル名が重なったり、ど れが自分の設定ファイルかわからなくなったりしないよう、ご注意ください。

4. ATMail ウィンドウが表示されます。



ATMail ウィンドウ

ー度、環境設定をすると次回からその設定で起動されます。複数のユーザでご使用の際はご注意く ださい。

2.3 接続

2回目以降の起動時には、以下のように接続ダイアログが表示されます。
 ログイン名が自分のものであることを確認したら、POP サーバにログインするためのパスワード
 を入力してください。



接続ダイアログ

2. 正しく接続が完了すると、ATMail ウィンドウが以下のように表示にされます。



ATMail ウィンドウ

接続に失敗した場合、ATMail ウィンドウは以下のような表示になります。その場合は、メニューの「ネットワーク」 「環境設定」で環境設定を確認してください。



ログイン失敗

- 2.4 メールを読む
 - 1. 新着メールが届くと、ATMail ウィンドウの表示が以下のように変わります。



メール到着



2. 右の ボタンをクリックすると、メールリーダー「ReadMail」ウィンドウが起動し、メー ルを読むことができます。ReadMail がすでに起動されている場合は、ウィンドウが切り替わりま す。ReadMail を複数起動することはできません。

登 ¥inbox - ReadMail フォルダビシ 編集(E) メール(M) ソート(S) 暗号(C) オフジョン(C) ヘルフ*(H)	
Image: state	► ► next new
表示フォルダ: ▼ 移動先 ▼	
番号 題名 日時 発信者	
□ □ Re: WKTC 00/1 □ □ 2 Test mail 08/1	
Return-Path: self-field leads co. p	
X-Mailer: Mew version 1.70 on Emacs 19.28.1 / Mule 2.3	
Sender:X-UIDI : 18cf976bf2d351674d447ae42396a2c4	
mikeo	
	2通 //

ReadMail ウィンドウ

Subject リスト

メールの Subject と発信者の本名とメールアドレスが表示されます。反転している行が、現在 メールウィンドウ (メールの本体)に表示されているメールです。

番号・題名・日時・発信者ボタン

これらのボタンを押すと、その項目別に、メールがソートして表示されます。また、これらの 境界でマウスの左ボタンを押したまま移動させると、表示項目の幅を調整することができます。 メールの本文

クリップボードへのコピーはできますが、編集はできません。メールのヘッダ部の表示切り替 えは、ツールバーの「header」ボタンまたは「オプション」 「すべてのヘッダを表示」で行 います。

2.5 メールの整理

ATMail では、「フォルダ」や「キャビネット」を利用して、メールを自由に分類・整理することができます。

フォルダ

フォルダとは、レターフォルダのようなものです。

通常メールサーバから取り込まれたメールは、「inbox」というフォルダにコピーされます。また、 「delete」フォルダには、削除されたメールが入れられます。

キャビネット

ATMail ではさらに、いくつかのフォルダをまとめて「キャビネット」を作ることができます。

2.5.1 フォルダの作成

ATMail のデフォルトフォルダは「inbox」ですが、以下の操作を行うことで、任意のフォルダを作成することができます。

1. ReadMail ウィンドウのメニューから「フォルダ」 「フォルダの整理」を選択します。

2. 「フォルダ管理」ウィンドウが表示されます。

🍱 コュルガ 盗想					
ファイル(F) 編集(F)	表示(\/) ツー	ь(T) льз°(H)			
			leel		
	<u> Ma</u> <u> </u>		🚅 📓		
すべてのキャビネッ	開いているキャ	ビネット: ¥			
	名前	サイズ	更新日時		
	🗎 delete	OKB	00/08/14 17:12		
	📇 inbox	4KB	00/08/14 17:13		
	Doutbox	0KB	00/08/14 17:12		
3個のオブジェクト					11.

「フォルダ管理」ウィンドウ

- 3. メニューから「ファイル」 「新規作成」 「フォルダ」を選択します。
- 4. 「新しいフォルダ」フォルダが作成されるので、好きな名前を入力します(日本語入力可)。ユーザ ディレクトリにある拡張子のないファイルは、すべてフォルダと見なされます。

1000 日本 しん ういん うんしょう こうしん こうしん しんしょう ひょうしん ひょう		١×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール	·/↓(<u>T</u>) · ∧↓7*(<u>H</u>)	
<u> </u>		
すべてのキャビネッ 開いているキャ	▶ビネット: ¥	
□ ¥ 名前	サイズ 更新日時	
😁 delete	0KB 00/08/14 17:12	
📇 inbox	4KB 00/08/14 17:13	
outbox	0KB 00/08/14 17:12	
(日)新しいフォノ	<u>ルダ</u> 0KB 00/08/14 17:24	
1個のオフジェクトを選択	0 byte	

新しいフォルダ

5. メニューの「ファイル」 「閉じる」をクリックし、「フォルダ管理」ウィンドウを閉じます。

6. ReadMail ウィンドウの「表示フォルダ」ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、作成し たフォルダの名前が表示されます。

🞇 ¥inbox - ReadMail		_ 🗆 ×
フォルダ(E) 編集(E) メール(M) ソート(S) 暗号(C) オプション(O) ヘルプ(H)	
exit Sprint preview Copy	Image: Constraint open Image: Constraint open<	► ► next new
表示フォルダ: 🎒 inbox	▼ 移動先: 💾 inbox 💌	
番号 題名 🔂 aats △1 Re: W inbox △2 Test 亞outbox	Kapai <napai@allied=telesis.co.jp> ⊻ KaJMA <sein@allied=telesis.co.jp></sein@allied=telesis.co.jp></napai@allied=telesis.co.jp>	

フォルダー覧

2.5.2 キャビネットの作成

- ReadMail ウィンドウのメニューから「フォルダ」 「フォルダの整理」を選択し、「フォルダ管 理」ウィンドウを表示させます。
- 2. メニューから「ファイル」 「新規作成」 「キャビネット」を選択します。
- 3. 「新しいキャビネット」が作成されるので、好きな名前を入力します(日本語入力可)。
- 4. メニューの「ファイル」 「閉じる」をクリックし、「フォルダ管理」ウィンドウを閉じます。
- 5. Readmail ウィンドウの「表示フォルダ」ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、作成し たキャビネットの名前が表示されます。

2.5.3 メールの移動

メールを整理しないままにしておくと、inbox フォルダが一杯になって必要なメールを探しにくくなります。以下の手順にしたがって、定期的にメールの整理をするとよいでしょう。

- 1. ReadMail ウィンドウで、移動したいメールを選択します。
- 2. 次に、「移動先」ドロップダウンリストから、移動先のフォルダを選択します。

💓 ¥inbo>	: - ReadMail										- 🗆 🗙
フォルタ [、] (<u>F</u>)	- 編集(E) メール(№	1)	暗号(<u>C</u>)	オフション(<u>)</u>) ^/l/7°(<u>H</u>)						
p. exit	print preview	En copy	open	🔐 folmgr	in check fi	â d nd m	ext prev	↓ prev	€ new	► next	► new
表示フォ	ォルダ: 🏾 📇 inbox	:	•	移動先:	Cats		-				
番号	題名	日時	発信者		delete		<u> </u>				
≌1	Re: WR11C	08/1	Takani I	lagai (n	docum	ent					
22	Test mail	08/1	Dan Maka	AMOLA	🎒 inbox		~_p>				

移動先フォルダリスト

3. ツールバーの「move」ボタンをクリックするか、メニューから「メール」 「移動」を選択します。

🎇 ¥inbox - ReadMail			
フォルダ(E) 編集(E)	<u>メール(M)</u> ソート(S) 暗号(C)	オフ°ション(0)	
exit ま示フォルダ:	削除(D) 移動(S) 未読に戻す、(W) 読んだことにする(B)	Del Ctrl+S	Ath Ath Ath Ath Ath sck find next prev new next Ath Ath Ath Ath Ath Ath Ath next prev new next new
番号 題名 ≌1 Re: WR1	別ファイルに保存(A) 別ウインドウに表示(Q)		ai@allied=heliesiscojp>
≌2 Testma	新規メールの作成(N) 返信(R) 転送(E)	Ctrl+R	anin@allied=helesis.co.ip>
	添付ファイル(1)	•	
Return-Path: To:	振り分け↓ 選択したメールを振り分け(L)		
Sender: Mew	移動(型)	•	.1 / Mule 2.3

移動

- 2.5.4 フォルダ・キャビネットの削除
 - ReadMail ウィンドウのメニューから「フォルダ」 「フォルダの整理」を選択し、「フォルダ管理」ウィンドウを表示させます。
 - 2. 削除したいフォルダを選択し、メニューの「ファイル」 「削除」を選択します。

▶ フォルダ内にメールが残っている場合は、フォルダに保存されているメールも削除されますのでご 注意ください。

1000000000000000000000000000000000000					_ 🗆 ×
<mark>ファイル(E)</mark> 編集(E) 表示(<u>V</u>)	ツール(工)	^,µ7°(<u>H</u>)			
聞<(◎)	😂 🗙	i 🗄 🗰 📮 🕱			
新規作成(₩) ▶		開いているキャビネ	 ット: '¥'		
削除(<u>D</u>)		名前	サイズ	更新日時	
名前の変更(10)		Cats .	OKB	00/08/14 17:24	
Dolotoコュルが太空に(F)		🗎 delete	0KB	00/08/14 17:12	
Delete 23/1/2-12-12/2/		/ ☐ document	2KB	00/08/14 17:33	
インボートの		📇 inbox	4KB	00/08/14 17:13	
閉じる(<u>C</u>)		Doutbox	0KB	00/08/14 17:12	

フォルダの削除

3. 選択したフォルダ、またはキャビネットを削除してもよい場合は「はい」ボタンをクリックします。



削除の確認

2.5.5 フォルダ・キャビネット名の変更

- ReadMail ウィンドウのメニューから「フォルダ」 「フォルダの整理」を選択し、「フォルダ管 理」ウィンドウを表示させます。
- 2. 名前を変更したいフォルダまたはキャビネットを選択し、メニューから「ファイル」 「名前の変更」を選択します。
- 3. 選択したフォルダまたはキャビネットが四角く囲まれるので、新しい名前を入力します。

2.5.6 メールの自動振り分け

ATMail では、受信したメールを自動的にフォルダに振り分けることができます。以下の手順にしたがって振り分け条件を設定します。

- 1. ReadMail ウィンドウのメニューから「オプション」 「環境設定」を選択します。
- 「環境設定」ダイアログが表示されます。「振り分け条件」タブを選択し、「新規」ボタンをクリックします。

東境設定
全般 WWWブラウザ 書式 振り分け条件 へッダの表示 】 振り分け条件 (Q): ヘッダ 検索文字列 出力フォル 木読振分 上に移動(U) 下に移動(W) 第現(W) 編集(D) 御豚(D) WWアフラウザ 書式 振り分け条件 (A) ッダの表示 】 ヘッダ 検索文字列 出力フォル 未読振分 上に移動(W) 下に移動(W) 「新規(W) 「新規(W) 「新規(D) 「別除(D)
OK 道用(<u>A)</u> 道用(<u>A</u>)

環境設定ダイアログ

3. 「振り分け条件の設定」ダイアログが表示されるので、必要な情報を入力します。

振り分け条件の設定	×
ヘッダ(<u>H</u>):	To
検索文字列(E):	poteo が先頭にある 💌
振り分け先フォルダ(<u>D</u>):	document
□ 未読も振り分ける(M)	
	<u>ОК</u> <u></u> ++Уен

振り分け条件の設定

ヘッダ

振り分け条件の対象とするヘッダを選択します。「To」、「From」、「Subject」から選択できます。 検索文字列

指定ヘッダに含まれる文字列を指定します。また、この文字列がヘッダの「先頭」と「途中」 のどちらに現れるのかも指定します。

振り分け先フォルダ

条件にあったメールを移動するフォルダを指定します。振り分け先フォルダは、「フォルダ」 「フォルダの作成」であらかじめ作成しておく必要があります。

2.6 メールの検索

ReadMail では、特定の文字列を含むメールを検索することができます。

2.6.1 特定フォルダに対する検索

現在表示しているフォルダ内のメールを検索するには、以下の手順にしたがいます。

- 1. 検索したいフォルダを表示させ、メニューの「編集」 「検索」を選択します。
- 2. 「文字列の検索」ダイアログが表示されるので、検索したい文字列を入力し、「上検索」か「下検索」をクリックします。

文字列の検索		×
検索する文字列(E): mikeo IV 大文字小文字を区別しない(C)	•	上検索(P) <u> 下検索(D)</u> キャンセル

文字列の検索ダイアログ

3. 文字列が見つかると、そのメールが表示され、文字列が反転表示されます。

🚰 ¥inbox - ReadMail	
フォルダ(E) 編集(E) メール(M) ソート(S) 暗号(C) オブション(C) ヘルプ(H)	
exit preview copy open folmgr check find next prev prev	₩ > new next
表示フォルダ: 🎒 inbox 🔽 移動先: 🎒 inbox 🔽	
番号 題名 日時 発信者	
≌2 Test mail 08/1 Sei NAXAJOMA (seine allied=heilesis, co.jp>	
Return-Path: To: X-Mailer: Mew version 1.70 on Emacs 19.28.1 / Mule 2.3 Sender: X-UIDL: 18cf976bf2d351674d447ae42396a2c4	
テストだよ。	
mikeo	
	2 通 //

文字列が見つかった

- 2.6.2 複数フォルダ・キャビネットに対する検索
 - ReadMail ウィンドウのメニューから「フォルダ」 「フォルダの整理」を選択し、「フォルダ管 理」ウィンドウを表示させます。
 - 2. 「フォルダ管理」ウィンドウのメニューから「ツール」 「検索」を選択します。
 - 「検索」ダイアログが表示されます。このダイアログが表示されたら ReadMail ウィンドウを閉じ てください。ReadMail ウィンドウを開いたまま検索しようとすると、エラーになりますのでご注 意ください。

検索		×
検索文字列(S):	Ilied 💌	OK
☑ 大文字小文字を区別	Utal.1(<u>©</u>)	++>+v
		<u>^⊮7°(H</u>)
探す場所(<u>F</u>):	V¥delete	
	I ¥document	
	¥inbox	
	✓¥outbox	
書き出し先フォルダ(W):	検索結果	

検索ダイアログ

 検索したい文字列を「検索する文字列」フィールド内に入力します。他のオプションについても、 適宜選択してください。入力が終わったら、「OK」ボタンをクリックして検索を開始します。 5. 検索結果は「検索結果」というフォルダに該当メールがコピーされるかたちで表示されます。

W ¥検索	結果 - ReadMail										_ 🗆 🗙
フォルダ(<u>F</u>) 編集(E) メール(№	1) 7-r@) 暗号(<u>C</u>)	オフション(0) ヘル	7°(<u>H</u>)						
exit	print preview	En copy	open í	folmgr check	(Å) find	inext	的 的 prev	↓ prev	€ new	► next	≯ new
表示フ	オルダ: 🦲 検索	結果	▼ ₹	移動先: 🎒 in	bo×		•				
番号	題名	日時	発信者								
1	Re: WR11C	08/1	Takumi Na	apai (napai@:	illied-h	ilesis.c	o.jp>				
≌2	Test mail	08/1	Sei MAXA	AJUMA (seini	0 allied=	héllésilis,	<qj,oo.< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th></qj,oo.<>				



- 2.7 メールの送信
- 2.7.1 新規作成
 - 1. ATMail ウィンドウの ゴグ ボタンをクリックすると、「メールの送信」ウィンドウが表示され ます。

▲オフラインモードの場合、実際のメールの送信はできませんが、オフライン時に書いたメールを送信待機フォルダに保存しておき、次回オンラインになったときに、まとめて送信することができます。
 (オフライン時にメールを書く)

✓メールの送信								_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E)	メール(M) 署4	3① 暗号(<u>C</u>)	オプション()	<u>)</u> ヘルフ°(<u>H</u>)				
₽ exit post	, di cut co	py paste	outbox	insert	auto s	1 sign1	2 sign2	3 sign3
宛先(<u>I</u>):								
写し(<u>C</u>): [
題名(J):								
					BASE64	1:1	66 桁	

メールの送信ウィンドウ

宛先

メールを送信する相手のアドレスを指定します。複数指定も可能です。その場合は、半角ス ペースかカンマで区切って指定してください。ここにカーソルを置くと、アドレス帳が表示さ れます。 写し

メールを同報するアドレスを指定します。複数指定も可能です。複数指定の方法は、宛先と同 じです。ここにカーソルを置くと、アドレス帳が表示されます。

題名

メールの題名を記述します。全角文字を指定することもできます。文字数の制限は特にありま せんが、あまり長いものは避け、1 行に収まるようにしてください。

また、「オプション」 「詳細設定」をクリックすると、「メール送信ウィンドウが以下のように変わります。

∕▼メールの送信									_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E)) X-N(W)	署名①	暗号(<u>C</u>)	オプション(型)	^⊮7°(<u>H</u>)				
exit Post	y cut	E copy	Paste	outbox	insert	auto	1 sign1	2 sign2	3 sign3
宛先(<u>I</u>):									
写し(<u>C</u>):									
題名(<u>J</u>):									
<u>B</u> cc:									
返信先(<u>R</u>):									
									-
р ,						BASE64	1:1	66 桁	

詳細設定

Bcc: $(\vec{J} = \vec{J} = \vec$

通常、ヘッダを見れば誰に送って、誰に同報したかがわかりますが、ここに宛先を指定すると、 ヘッダに情報が記載されません。よって、宛先/写しに指定した人たちにわからないように送 りたい場合は、ここにアドレスを指定します。ここにカーソルを置くと、アドレス帳が表示さ れます。

返信先

普段使っているのとは異なるアドレスに返信してほしいときは、ここでそのメールアドレスを 指定します。

指定ヘッダ(「返信先」の下)

任意のヘッダを付加したいときは、ここにヘッダ名と内容を記述します。

2. 必要項目を指定したら、本文を入力します。

3. 本文を入力したら、「メール」 「送信」または「post」ボタンをクリックします。

✓メールの送信	_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) メール(M) 署名(0) 暗号(C) オブション(O) ヘルプ(H)	
病 <mark>メールを送る</mark> o®allied-telesis.co.jp	
写し(C): poteo®allied-telesis.co.jp	
題名(山): Question	
こんにちは、 質問があります。 ○×をするにはどうすればいいのでしょうか? △□はやってみたのですが、だめでした。 よろしくお願いします。	
メールを送信 BASE64 7:1 6	6桁 ///

メール送信

4. 「送信の確認」ダイアログが表示されます。各項目の設定を確認して、よければ「OK」ボタンを クリックして送信します。

送信の確認 🛛 🔀
宛先(<u>I</u>):
gureo®allied-telesis.co.jp
写し(<u>C</u>):
poteo®allied-telesis.co.jp
Bcc:
□ Outboxに保存(0) ■ 署名の自動追加(A)
漢字コード(<u>K</u>): JIS ▼
<u>OK</u> <u>++>tell</u> <u>1 17°(H)</u>

送信の確認ダイアログ

- 2.7.2 返信
 - 1. ReadMail ウィンドウで読んでいるメールに返事を出す場合は、メニューの「メール」 「返信」 または「reply」ボタンをクリックします。

2. 「メールの返信」ダイアログが表示されます。各項目を指定し、「OK」ボタンをクリックします。

ペールの返信 🔀
返信先のメールアドレスを選択してください。
☑ 発信者(E):
kuro@allied-telesis.co.jp
▼ Toのアドレス(<u>I</u>):
×
☑ Coのアドレス(C):
×
引用符(Q):
引用のコメント(<u>0</u>): English 💽
🔽 名前付き引用(N) 🛛 🔽 本文を引用(I)
<u>OK</u> <u>\$¢>t⊮</u> <u>√⊮7°(<u>H</u>)</u>

メールの返信ダイアログ

発信者

From に指定されていたアドレスを、To にコピーするかどうかを指定します。

Toのアドレス

To に指定されていたアドレスを、To にコピーするかどうかを指定します。リストは反転した 行のみがコピーされます。マウスクリックで変更できます。

Cc のアドレス

Ccに指定されていたアドレスを、Ccにコピーするかどうかを指定します。リストは反転した 行のみがコピーされます。マウスクリックで変更できます。

引用符

引用した行の先頭に付ける文字を指定します。

引用のコメント

引用部分の前につけるコメントの言語を選択します。日本語と英語から選択できます。コメントが不要な場合は「なし」を選択します。

名前付き引用

ここをチェックすると、引用行の先頭に元メールの送信者のアドレスが入ります。

本文を引用

本文を引用するかどうかを指定します。

3. 「メールの送信」ウィンドウが表示されます。

🥖 メールの送信
ファイル(E) 編集(E) メール(M) 署名① 暗号(C) オブション(O) ヘルプ(H)
Period Mathematical Mathema
宛先(<u>I</u>): kuro@allied-telesis.co.jp
写し(<u>C</u>):
題名(j): Re: RouterX Manual?
In message <200008150020.JAA10608@tora.tw.allied-telesis.co.jp>
BASE64 10:1 66 桁 //

メールの送信ウィンドウ

- 4. 本文を入力し、メニューの「メール」 「送信」または「post」ボタンをクリックします。
- 5. 「送信の確認」ダイアログが表示されます。各項目の設定を確認して、よければ「OK」をクリックして送信します。

2.7.3 転送

- 1. ReadMail ウィンドウで転送したいメールを選択し、メニューの「メール」 「転送」または 「forward」ボタンをクリックします。
- 1. 「転送方法の選択」ダイアログが表示されます。「MIME によるカプセル化」か「本文にコピー」のどちらかを選択して「OK」ボタンをクリックします。



転送方法の選択ダイアログ

3. 「メールの送信」ウィンドウが開きます。

🧷 メール	の送信									_ 🗆 ×
ファイル(圧)	編集(E)	メール(M)	署名①	暗号(<u>C</u>)	オフジョン(<u>)</u>) ∧µ7°(⊢	Ð			
exit	⊠ post	y Aut	Ер сору	Paste	outbox	 insert	auto	<u>1</u> sign1	2 sign2	3 sign3
30	洗(I):									
写	ເ_(_):									
題	名(J): F	W: Router	X Manual	?						
										•
Messa	.ge									
							BASE6/	1 1.1	66 #7	

「MIME によるカプセル化」の場合

✓メールの送信	
ファイル(E) 編集(E) メール(M) 署名① 暗号(C) オブション(Q) ヘル	גז°(<u>H</u>)
exit post cut copy paste outbox	rt auto 11 2 3 sign1 sign2 sign3
宛先(<u>I</u>):	
写し(<u>c</u>):	
題名(J): FW: RouterX Manual?	
Forwarded Message Message-Id: <200008150020.JAA10608@tora.tw To: mikeo@allied-telesis.co.jp Subject: RouterX Manual? From: Kuro NANCHIKO <kuro@allied-telesis.co X-Mailer: Mew version 1.70 on Emacs 19.28. Mime-Version: 1.0 Content-Type: Text/Plain; charset=iso-2022 Content-Transfer-Encoding: 7bit</kuro@allied-telesis.co 	n.allied-telesis.co.jp> no.jp> 1 / Mule 2.3
	BASE64 1:1 66 桁 //

「本文にコピー」の場合

- 4. 「宛先」と「写し」を指定し、メニューの「メール」 「送信」または「post」ボタンをクリックします。
- 5. メニューの「オプション」 「送信確認」がチェックされている場合は、「送信の確認」ダイアログ が表示されます。各項目の設定を確認して、よければ「OK」をクリックして送信します。

2.8 添付ファイル

ATMail では、任意のファイルをメッセージに添付して送信したり、受信メールに添付されたファイルを 表示、保存することができます。

2.8.1 添付ファイルの送信

- 1. 「メールの送信」ウィンドウを表示させます。
- メニューから「ファイル」 「添付ファイル」 「追加」を選択するか、ツールバーの「attach」ボ タンをクリックします。
- 3. 「添付ファイルの選択」ダイアログが表示されるので、添付するファイルを選択し、「開く」ボタン をクリックします。

添付ファイルの選択				? ×
ファイルの場所型:	🔄 barcode	-	E	
☐ AppleDouble ☐ CDcheck ☐ type3pdf ┣ type3ps				
ファイル名(<u>N</u>): ファイルの種類(<u>T</u>):	type3.ps All Files (*.*)		•	開く(Q) キャンセル

添付ファイルの追加

4. 「メールの送信」ウィンドウの下部に添付ファイルのアイコンが表示されます。

🧹 メールの送信	
ファイル(E) 編集(E) メール(M) 署名(0) 暗号(0) オブション(0) ヘルプ(H)	
Image: state	::: jn3
宛先(I): poteo@allied-telesis.co.jp	
写し(0):	
題名(J): Type3 Barcode Font Sample	
Hi Pote, I've just finished writing Type3 CODE39 barcode font. Attached is a sample PostScript file with the font. Regards, Mikeo	
) BASE64 4:52 66 桁	

添付ファイルのアイコン

 添付ファイルのエンコード形式は、メニューの「ファイル」 「添付ファイル」で選択できます。 BASE64、BinHex4.0、uuencodeの中から選択してください。選択されているエンコード形式は、 「メールの送信」ウィンドウの右下にも表示されます。

🧹 メールの送信	٦×
<mark>ファイル(E)</mark> 編集(E) メール(M) 署名(0) 暗号(C) オブション(C) ヘルプ(H)	
カーソル位置に読み込み型。 添付ファイル(A) 総了 ② 第2元(J): potceografileの 写し(D): 開始生化の 第1	" N3
Hi Pote,	
I've just finished writing Type3 CODE39 barcode font. Attached is a sample PostScript file with the font.	
Regards, Mikeo	-
type3.ps	
BASE64 BASE64 4:52 66 桁i	

エンコード形式の選択

- 6. あとは、前述のメール送信手順にしたがってメールを送信します。
- 2.8.2 添付ファイルの表示

表示させたい添付ファイルのアイコンを選択し、メニューから「メール」 「添付ファイル」 「表示」を 選択するか、添付ファイルのアイコンをダブルクリックします。また、添付ファイルアイコンの右クリッ クメニューから「表示」を選択することもできます。



添付ファイルの表示

2.8.3 添付ファイルの保存

 保存したい添付ファイルのアイコンを選択し、メニューから「メール」 「添付ファイル」 「ファ イルに保存」をクリックします。あるいは、添付ファイルアイコンの右クリックメニューから「ファ イルに保存」を選択しても同じです。

🞇 ¥inbox - ReadMail		
フォルダ(E) 編集(E) <u>メール(M)</u> ソート(S) 暗号(C)	オプション©) ^µフ°(<u>H</u>)
exit print まこつより 化 で が の お の の 、 ボ に す い の 、 ボ の 、 ボ の 、 、 ボ の 、 、 ボ の 、 、 、 、 、 、 、 、 、	Del Ctrl+S	#A #A
 番号 題名 図1 Re: WR1 		allied-telesis.co.jp>
全2 Test ma 登3 RouterX ●4 Barcode 新規メールの作成(M)… 転送(F)…	Ctrl+R	@allied-telesis.co.jp> @allied-telesis.co.jp>
Return-Path: To: <u>Mafri</u> X-Mailer: Mew	,	ファイルビ(#(¥(¥)) 表示(*) 印刷(*) 削除(D)
Sender: 1890(M) X-UIDL: 416b1f2acee700c73c7627b77	6a94486	変換元のデータを見る(D)
Dear Mikeo, Please check the attached PDF.	_2000)-	
Poteo		×
ATBarpdf 添付ファイルをファイルに保存する		9週 //

添付ファイルの保存

2. 「ファイル名を付けて保存」ダイアログが表示されるので、保存するファイルの名前を指定して 「OK」ボタンをクリックします。

ファイル名を付けて保存			? ×
保存する場所型:	🔁 tmp	- 🗈 💣	
ATBar.pdf	🔂 m490200a.pdf	🛋 tmp_23	🛋 trb1 l
🖬 HID15.tmp	TempFile965704394.pdf	🛋 tmp_3	属 trb3.
🖌 HID1 A.tmp	🔊 tmp_11	🛋 tmp_7	🛋 trb5.
M0097A.pdf	🛥 tmp_15	🛋 tmp25.tmp	🧭 vs60
m0173b.pdf	😹 tmp_19	属 tmp27.tmp	
🔁 M024200 B.pdf	📓 tmp_2	폐 tmp2A.tmp	
•			Þ
ファイル名(<u>N</u>):	ATBar.pdf		保存⑤
ファイルの種類(エ):	All Files (*.*)	•	キャンセル

添付ファイル保存ダイアログ

2.9 アドレス帳

「メールの送信」ウィンドウのアドレス指定テキストボックス (「宛先」や「写し」など) にカーソルを置 くと、「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

アドレス帳にメールアドレスを登録しておくと、メールを送信する際にいちいちメールアドレスを入力す る必要がなくなるので便利です。



アドレス帳

2.9.1 アドレスの登録

- 1. 「アドレス帳」ウィンドウのメニューから「編集」 「新規作成」 「アドレス」の順に選択します。
- 「新規アドレス」ダイアログが表示されるので、アドレス帳に登録する人の「名前」、「メールアドレス」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。コメントを付けたい場合は、「メモ」に入力します。また、「参照」ボタンを押して「グループ名」を選択することにより、アドレスを指定したグループ直下に登録することもできます。

新規アドレス		×
グループ名(<u>G</u>)	¥	参照(<u>B</u>)
名前(<u>N</u>)	Poteo	
አ - ዜፖト [*] ሁス(<u>A</u>)	poteo®allied-telesis.co.j	þ
×€(<u>M</u>)	とても大きい	
01	(<u></u> ++>)till	°(Щ)

新規アドレスダイアログ
3. 「アドレス帳」ウィンドウに、登録したアドレスの「名前」が表示されます。登録したアドレスは、 デフォルトではルート直下に表示されます。



登録されたアドレス

2.9.2 グループの作成

登録したアドレスは、グループ(フォルダのようなもの)ごとに分類することができます。

- 1. 「アドレス帳」ウィンドウのメニューから「編集」 「新規作成」 「グループ」の順に選択します。
- 「新規グループ」ダイアログが表示されるので、作成するグループの名前を「名前」に入力します。
 「グループ名」に表示されるのは、作成するグループが所属する親グループの名前です。「参照」ボタンを押すとツリーが表示され、グループの作成場所を選択することができます。例ではツリーのルート直下に「Finance」というグループを作成します。

新規グループ		×
グループ名(<u>G</u>)	¥	参照(B)
名前(<u>N</u>):	Finance	
	OK 2 ++)t	

新規グループダイアログ

 入力が完了したら「OK」ボタンを押してください。「アドレス帳」ウィンドウに作成したグループ が表示されます。



登録されたグループ

2.9.3 登録内容の変更

登録したアドレスやグループの名前などは、次の手順で変更することができます。

- 2. 変更したいアドレス名またはグループを選択し、「編集」「編集」を選択するか、ツールバーの「編集」ボタンをクリックします。
- 名前を変更する場合は「アドレスの編集」ダイアログが、グループ名を変更する場合は「グループ の編集」ダイアログが表示されます。

アドレスの編集		х
グルーブ名(<u>G</u>) 名前(<u>N</u>) メールド ^ト レス(<u>A</u>) メモ(M)	¥ Soleo Poteo®allied-telesis.co.jp とても大きい X キャン地 ヘルフ*(日)	
:	名前を変更する場合	
グループの編集		×

グループ名(<u>G</u>)	¥ 参照(<u>B</u>)
名前(<u>N</u>):	Rid
	OK キャンセル

グループ名を変更する場合

3. 各項目を編集し、「OK」ボタンをクリックします。

2.9.4 登録内容の削除

登録したアドレスやグループを削除するには、次の手順にしたがってください。

- 1. 削除したい名前またはグループを選択し、「編集」 「削除」を選択します。
- 2. 削除するかどうかを確認するダイアログが表示されます。削除する場合は「はい」をクリックします。

2.10 オフラインモード

ATMail は、定期的(問い合わせ間隔)にサーバ上のメールボックスを参照します。よって、ダイヤルアップ IP 接続で ATMail を利用する場合は、通常 ATMail が動いている間、回線が接続されたままになります。「メールを読み終わったら、接続を切りたい」ときは、以下の手順でオフラインモードに切り替えてください。

オフラインモードでは、ATMail ウィンドウが次のような表示になります。



オフライン時のメインウィンドウ

2.10.1 モードの切り替え

ATMail をオフラインで起動する

ATMail 起動時の「接続」ダイアログボックスでログインせずに、「キャンセル」します。



オフライン起動

メニューで切り替える

ATMail ウィンドウの「ネットワーク」をクリックし、プルダウンメニューを表示させ、「オンライン」に チェックが付いているかどうかを確認します。チェックしてあればオンラインですので、クリックして チェックを外します。



オフラインへの切り替え

▲ オフラインでメールを読むには、オンライン時に「ネットワーク」 「環境設定」で環境設定ダイアログを 表示させ、「オフラインモードを許可する」をチェックしておかなければなりません。ただし、この設定を行 うと、パスワードによる認証が行われなくなるので、受信したメールを誰でも読むことができてしまいます。 その点充分ご注意ください。

2.10.2 オフライン時にメールを書く

オフライン時にはサーバと接続しないので、実際にサーバとのメールの送受信はできませんが、ダイアル アップ IP 環境でお使いの場合、オフラインの状態でメールを書きためておき(送信待機フォルダに保存) 接続時にまとめて送信することができます。

- ATMail ウィンドウの「ネットワーク」 「メールを送る」または 「パパパパパクシをクリックし、 「メールの送信」ウィンドウを表示させます。
- 2. 「メールの送信」の各手順に従ってメールを作成、送信します。
- 3. 以下のメッセージが表示されます。



待機メッセージ

▶ 送信待機フォルダは、「OutGoing」という名前でユーザディレクトリに自動作成されます。送信待機 フォルダがない場合や消してしまった場合は、「フォルダ管理」ウィンドウの「ファイル」 「新規作成」 「フォルダ」メニューを使って「OutGoing」というフォルダを作成してください。

2.10.3 オンラインにしてメールを送信する

- 1. ATMail ウィンドウで、「ネットワーク」 「オンライン」をチェックします。
- オフライン時に書いたメールがあるときは、次のダイアログが表示されます。送信する場合は、「はい」をクリックします。



待機メール送信の確認

2.10.4 送信待機フォルダの確認

オンライン切り替え時に以下の状況が発生した場合、送信待機フォルダには、送信されなかったメールが 残ります。

- 送信待機フォルダからのメール送信に失敗した場合
- 送信待機メールを送信しなかった(キャンセルした)場合

送信待機フォルダの内容を見るには、ReadMail ウィンドウの「フォルダ」 「送信待機フォルダを開く」 を選択します。

2.11 高度な設定

ATMail では、「高度な設定」ダイアログボックスで、メールホストとの通信設定をさらに細かく指定する ことができます。

この設定の変更は、オフライン時にのみ行えます。オンライン時は参照することしかできませんので、あ らかじめメニューの「ネットワーク」 「オンライン」でオフラインにしておいてください。

1. ATMail ウィンドウの「ネットワーク」 「高度な設定」を選択します。

2. 「高度な設定」ダイアログが表示されるので、必要な項目を変更します。

l	高度な設定		×
	<u>P</u> OP Port: <u>S</u> MTP Port: FQ <u>D</u> N:	110 25	<u>OK</u> ++>tli
	<u>T</u> CP WAIT:	12 (sec)	<u>ሃቲቃኑ(R</u>)
	T <u>C</u> P Retry:	5	
	送信漢字コード(<u>K</u>):	JIS	
	受信漢字コード(E):	自動判定 🗾	
	□ APOPを使う(<u>0</u>)		
	※ オンライン時には	設定できません。	
	FQDN:fully qualifie	d domain name	

高度な設定ダイアログ

POP Port

POP サーバのポート番号を指定します。通常は 110 です。お使いの POP サーバのポート番号 がデフォルト (既定値) でない場合は、その値を設定してください。

SMTP Port

SMTP サーバのポート番号を指定します。通常は 25 です。お使いの SMTP サーバのポート番号がデフォルト (既定値) でない場合は、その値を設定してください。

FQDN

メール送信時に POP3 のエラーが出た場合、ここでドメイン名を指定します。

TCP WAIT

サーバに接続する際のタイムアウト値(秒)を指定します。ダイアルアップ接続時にサーバとの接続に失敗する場合は、この値を長くしてみてください。

TCP Retry

サーバへの接続が失敗した場合の再試行回数を指定します。ダイアルアップ接続時にサーバと の接続に失敗する場合は、この値を大きくしてみてください。

送信漢字コード

送信するメールメッセージの漢字コードを指定します。通常は「JIS」を指定します。

受信漢字コード

受信メッセージの漢字コードを指定します。通常は「自動判定」を指定します。

APOP を使う

POP サーバとの接続時にパスワードを暗号化して送ります。サーバが APOP をサポートして いる必要があります。

3. 各項目の入力が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

2.12 暗号化

ATMail では、PGP という公開鍵暗号プログラムを利用して、暗号化されたメールの送受信が可能です。 電子メールは大変便利なアプリケーションですが、インターネットメールには元来葉書並みのセキュリ ティしかないため、機密性の高い通信には不向きという欠点があります。

メッセージに暗号化を施せば、この欠点をいくらか解消することができます。以下、ATMail における暗 号化機能の使い方について説明します。

▲パッケージには、PGP プログラムは含まれていません。「Installation Guide」の該当部分をご参照の上、 各自入手/インストールしてください。以下の説明では、PGP のインストールは完了しているものとしてい ます。

2.12.1 暗号化の概要

電子メールの問題点

電子メールを使用して情報をやり取りするときに問題となるのが、情報の機密性と信頼性です。一般的に、 電子メールによる情報のやり取りには次のような問題点があります。

盗聴

メールは複数の拠点(機器)によって中継されるため、第三者によって盗み見られる可能性があり ます。暗号化されていないメールには、郵便における「葉書」と同程度の機密性しかありません (見ようと思えば誰でも見ることができる)。

改ざん

中継の途中で、第三者によってメールの内容が変更されてしまう恐れがあります。

否認

都合の悪いメールに対して、送信者がメールを送信した事実を認めない恐れがあります。

なりすまし

第三者が他人になりますましてメールを出してしまう可能性があります。

公開鍵暗号

これらの問題点は、「公開鍵暗号」と呼ばれる技術によって、ある程度解決することができます。公開鍵暗号では、「秘密鍵」と「公開鍵」という2つの鍵をペアで使用します。ATMail では PGP という公開鍵暗号プログラムを使用します。

公開鍵

メッセージを暗号化するために使用する鍵です。その名が示すように、公開鍵を秘密にしておく必要はありません。公開鍵暗号を使う場合は、あらかじめ自分の公開鍵を、情報をやり取りしたい相手に渡しておきます。自分の公開鍵で暗号化されたメッセージは、自分の秘密鍵でしか復号化できません。逆に、メッセージを暗号化して送信するときは、相手の公開鍵を使います。

秘密鍵

公開鍵によって暗号化されたメッセージを復号化するときや、電子署名をするときに使用する鍵で す。秘密鍵は作成した本人だけが所有し、厳重に管理します。

パスフレーズ

PGP では、秘密鍵を保護するためにパスフレーズというパスワードを使用します。この文字列は、 秘密鍵を使用するときに常に入力を求められます。

2.12.2 PGP の環境設定と鍵の作成

暗号化機能を利用するには、あらかじめ PGP プログラムの環境設定を行い、自分の秘密鍵と公開鍵を作成しておく必要があります。

1. ATMail ウィンドウで「ファイル」 「セキュリティ設定」を選択します。

2. 初めてのときは次のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



メッセージ

3. 「PGP 環境設定」ダイアログが表示されます。各項目について設定を行い、「OK」ボタンをクリックします。

PGP環境設定		×
PGPの動作環境を指定	にてください。	
PGPのディレクトリ(<u>P</u>)፡	g:¥bin¥pgp	
テンポラリディレクトリ(<u>T</u>):	G:¥TMP¥	
タイムゾーン 一固定一 (乙):	JST-9	
PGPの動作モード(M)-		
© 71	コン化して動作させる。	
O //	ックグラウンドで動作させる。	
C 94	ソトウで動作させる。	
P	GPのエラーを詳細に表示する	
OK N		キャンセル

PGP 環境設定ダイアログ

PGP のディレクトリ

PGP プログラムがインストールされているディレクトリを指定します。

テンポラリディレクトリ

PGP が一時ファイルを格納するディレクトリを指定します。

PGP の動作モード

PGP プログラム実行時の動作モードを以下の3つから選択します。

アイコン化して動作させる。

PGP をアイコン化(最小化)された状態で実行します。PGP の動作自体は見えません。

バックグラウウンドで動作させる。

PGP のバックグラウンドで実行します。一連の動作はウィンドウ上に現れません。

ウィンドウで動作させる。

PGP をウィンドウ状態で実行します。PGP を実行すると、MS-DOS プロンプトが開き、 一連の動作が表示されます。

PGP のエラーを詳細に表示する

PGP の実行経過を詳細に表示します。

次のダイアログが表示されます。新規に公開鍵と秘密鍵のペアを作成する場合は「はい」を、すでに鍵ペアを作成済みの場合は「いいえ」ボタンをクリックします。



Atcrypt メッセージ

5. 「はい」ボタンをクリックすると「鍵ペアの生成」ダイアログが表示されます。ここでは鍵を作成 するため、以下の項目について設定が必要となります。設定が終わったら「OK」ボタンをクリッ クしてください。

鏈^𝒴の生成 ×
鍵のビット数を選択してください。(B) ビット数が多いほど暗号の強度が高まりますが、暗号処理に時間が かかります。
© 512Ľýrk © 768Ľýrk © 1024Ľýrk
あなたの名前をローマ字で入力してください。(N) 例:Hiroyuki Sawano
Mikeo Daidai
あなたの電子メールのアドレスを入力してください。(<u>A</u>) 例:sawno@allied-telesis.co.jp
mikeo@allied-telesis.co.jp
作E成されるPGPユーザーIDは Hroyuki Sawano <sawano@allied-telesis.co.jp> のようになります。</sawano@allied-telesis.co.jp>
OK ++1)/21/

鍵ペアの作成ダイアログ

のパスフレーズを登録します。パスフレーズは秘密鍵を使用するときに必要になります。短すぎる ものや容易に想像ができるようなものを避けて登録してください。パスフレーズは画面上に表示さ れることはありません。

You need a pass phrase to protect your RSA secret key. Your pass phrase can be any sentence or phrase and may have many words, spaces, punctuation, or any other printable characters.

Enter pass phrase:

7. 確認のため、もう一度パスフレーズを入力します。

Enter same pass phrase again:

 公開鍵と秘密鍵を作成するために必要なランダムなビット列を作ります。ビット列は、キー入力の 間隔を元に作られます。ビープ音が鳴るまで適当なキー入力をしてください。ただし、同じキーを 連続で入力することは避けてください。

Note that key generation is a lengthy process.

We need to generate 576 random bits. This is done by measuring the time intervals between your keystrokes. Please enter some random text on your keyboard until you hear the beep: 576

9. ビープ音が鳴った後、公開鍵と秘密鍵の作成が始まります。

```
0 * -Enough, thank you
```

鍵のビット数

10. 公開鍵と秘密鍵が作成されると、MS-DOS プロンプトは閉じ、次のような「セキュリティ設定」ダ イアログが表示されます。「ユーザー ID」ボックスに自分の名前とメールアドレスが表示されてい ることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

セキュリティ設	定(PGP秘密鏈)	х
∔−I D :	8B3567F5	
ビット:	512	
日付:	2000/08/15	
フィンガーフ	ንሣント :	_
0D 8C 8	BA C7 E4 9E 92 0B 4A 70 99 5B 36 1F 73 F8	
ユーザーII	D(U): (複数ある場合、選択されているものが利用されます)	
Mikeo [Daidai <mikeo@allied-telesis.co.jp></mikeo@allied-telesis.co.jp>	- I
認証:		
鍵 (の編集(E) 新規鏈へでの生成(G) PGPのヘルフペ(H)	
	5K 3	

PGP 秘密鍵

2.12.3 作成した公開鍵を相手に渡す

暗号化したメールのやりとりをするには、当事者がお互いの公開鍵を持っていなければなりません。その ためには、作成した自分の公開鍵を鍵ファイルから取り出し、相手に渡す必要があります。

鍵を渡す方法には、メールで送る方法とFDなどのメディアにコピーして手渡す方法の2種類があります。

メールに添付して渡す

メールに自分の公開鍵を添付するには2つの方法があります。「メールの送信」ウィンドウ上で行う方法 と ATMail ウィンドウ上で行う方法です。

「メールの送信」ウィンドウでの方法

1. 「メールの送信」ウィンドウを開き、「暗号」 「公開鍵の添付」を選択します。

2. 「鍵一覧」ダイアログが表示されるので、鍵一覧から自分の User ID を選択し、「OK」ボタンをク リックします。

鏈一覧				X
鏈フォルダ(<u>E</u>):	e:¥bin¥pe	;p¥		
pubring.pgp secring.pgp				リフレッシュ(<u>R</u>)
↓ 鍵→覧(近):				
User ID Mikeo Daidai≺mik		Type pub	Bits/KeyID 512/8B3567F5	Date 2000/08/15
信用(工)				
ок 🔎				キャンセル

鍵一覧ダイアログ

3. 次のように自分の公開鍵が取り出され、メールの本文に挿入されます。あとは、宛先や題名など必 要項目を入力すれば、このまま簡単に送ることができます。

🯹 メール	の送信									_ 🗆 ×
ファイル(<u>E</u>)	編集(E)	χ−μ(<u>M</u>)	署名仰	暗号(<u>C</u>)	オプション(0) へルフ°(<u>H</u>))			
exit	⊠ post	do cut	ि сору	E paste	outbox	insert	auto	1 sign1	2 sign2	3 sign3
宛	洗(I):									
写	ີບ(<u>ເ</u>): [
題	焰(J): [
Type pub <mike Versi</mike 	Bits/Ke 512/8E o@allie BEGIN F on: 2.6	syID 3567F5 sd-teles GP PUBL 1.3 i	Date 2000/(sis.co. _IC KEN	U)8/15 M .jp> / BLOCK	lser ID likeo Da	idai				
mQBNA R₩S∨u b₩1rZ	zmY3r8A I9×VCeA W9AYW×s	AAECAN8 df0CPLr aWVkLXF	37e1j3N hukrDm4 RIbGVza	√mJiNo6 ‡inqFVq aXMuY28	LecoUOqi ISZ4s1Z/I uanA+iQi	Z/o2 rB+2 JABROOKI 3VAwUQO2	2hzgqPiI J1pa2Vv ZjevxVal	Od9RcG IERha∦ kmeLN∮)ZRG1vo RhaSA8 f1AQF0	a 3 0 ▼
							BASE64	19:1	66 桁	

本文に挿入された公開鍵

「ATMail」ウィンドウでの方法

1. メニューの「ファイル」 「公開鍵管理」をクリックします。

 2. 「鍵一覧」ダイアログが表示されるので、鍵一覧から自分の User ID を選択し、「エクスポート」 ボタンをクリックします。

					_
鍵一覧					×
鏈フォルダ(<u>E</u>):	e:¥bin¥pe	р¥			-
pubring.pgp				11-1	
secring.pgp				<u></u>	
鍵一覧(K):					_
User ID		Туре	Bits/KeyID	Date	
Mikeo Daidai Kmike	o@allied-telesi	pub	512/8B3567F5	2000/08/15	
I					
信用①	削除(<u>D</u>)		1724°-ト(E)		
ОК				キャンセル	

鍵一覧ダイアログ

「鍵のエクスポート」ダイアログが表示されます。エクスポート先として「クリップボード」を指定し、「OK」ボタンをクリックします。自分の公開鍵が取り出され、クリップボードにコピーされます。

鍵のエクスホペート	×
Mikeo Daidai ≺mikeo@allied-telesis.co.jp>	
エクスポート先を指定してください。	
⊙ ウリッフ°ボード	
© 771ル 771ル名(N)	
	参照(8)
OK	キャンセル

鍵のエクスポート

4. あとは、クリップボードにコピーされた公開鍵をメール本文に貼り付けて送ることができます。

ファイルをコピーして渡す

- 1. 「ATMail ウィンドウでの方法」の手順1~2で「鍵のエクスポート」ダイアログを表示させます。
- エクスポート先として「ファイル」を指定し、ファイル名をフルパスで入力して「OK」ボタンを クリックします。自分の公開鍵が取り出され、指定したファイルに書き出されます。
 鍵を書き出したファイルの拡張子は「.asc」となります。あとは、このファイルをフロッピーディ スク等のメディアにコピーして、相手に渡すことができます。

2.12.4 受け取った公開鍵を鍵フォルダに登録する

相手から公開鍵を受け取ったら、自分の「鍵フォルダ」に受け取った公開鍵を登録しなければなりません。 登録方法には、ReadMail ウィンドウ上で行う方法と ATMail ウィンドウ上で行う方法があります。

「ReadMail」ウィンドウでの方法

 公開鍵のデータ部分を選択し、メニューの「暗号」 「公開鍵の登録」を選択します。公開鍵の データ部分とは、「---BEGIN PGP PUBLIC KEY BLOCK--- 」と「---END PGP PUBLIC KEY BLOCK--- 」に囲まれた部分をさします。



公開鍵の登録

公開鍵のデータ部分の例

Version: 2.6.3ia

=4pMC

 2. 「鍵フォルダの選択」ダイアログが表示されます。自分の鍵フォルダ名(pubring.pgp)を確認し、 「OK」ボタンをクリックします。

鍵フォルダの選択	×
g:¥bin¥pgp¥	
鍵フォルダ(<u>F</u>): pubring.pgp	•
OK	キャンセル

鍵フォルダの選択ダイアログ

以下のダイアログが表示されます。受け取った公開鍵の内容を確認し、その公開鍵の正当性を認めて(認証して)登録する場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。確認をせずに鍵フォルダに追加する場合は、「はい」をクリックします。

ATCRYPT
内容の確認をせず、追加しますか?
12111 117200 ++>+241
/

鍵追加の確認

「いいえ」ボタンをクリックした場合は、MS-DOS プロンプトが開き、通常以下の項目について質問されます(公開鍵によっては、聞かれない項目もあります)。

- (a) 誰にも認証されていない公開鍵に対して、あなた自身で認証するかどうか尋ねられます。
- (b) 前の質問に y と答えると、鍵の指紋 (fingerprint) が表示されます。この指紋に対して、本当 に認証するかどうか聞いてきます。
- (c) 前の質問に対して y と答えると、公開鍵が表示され、その公開鍵が本当に表示されている User ID のものなのか聞いてきます。
- (d) 前の質問に対して y と答えると、あなたのパスフレーズを聞いてきます。
- (e) パスフレーズを入力すると、表示された User ID の人を信用しているか、もし、第三者の公開
 鍵にこの User ID の人が認証者として署名している場合に、第三者の公開鍵を認証するかどう
 か聞いてきます。
- (f) 以下の項目からその答えを選び、番号を入力します。
 - I don't know (わからない)
 - No(信用しない)
 - Usually (だいたい信用する)
 - Yes, alway (常に信用する)

相手の人が十分に信用できる人であれば、3か4を指定します。または2を指定した場合は、 第三者の公開鍵の中に、そのUser IDの人の署名がある場合に、その正当性について確認する ことになります。 4. すべての質問に答えると DOS プロンプトが閉じ、以下のダイアログが表示されるので、「OK」ボ タンをクリックしてください。

ReadMail	×
•	公開鍵の取り出しに成功しました。
	OK

公開鍵の取り出し成功

「ATMail」ウィンドウでの方法

メールで受け取った場合

- 1. ReadMail ウィンドウで、公開鍵のデータ部分を選択し、メニューの「編集」 「コピー」をクリックします。
- 2. ATMail ウィンドウの「ファイル」 「公開鍵管理」を選択します。
- 3. 「鍵一覧」ダイアログが表示されるので、「インポート」ボタンをクリックします。

键一覧			×
鍵フォルダ(<u>F</u>):	épep¥		
pubring.pgp secring.pgp			リフレッシュ(<u>R</u>)
」 鍵一覧(<u>K</u>):			
User ID Mikeo Daidai <mikeo@allied-teles< th=""><th>Type si pub</th><th>Bits/KeyID 512/8B3567F5</th><th>Date 2000/08/15</th></mikeo@allied-teles<>	Type si pub	Bits/KeyID 512/8B3567F5	Date 2000/08/15
	1	That! (C)	1 0.48 1/0
		1970k - HE)	
ОК			キャンセル

鍵一覧

 4. 「鍵のインポート」ダイアログが表示されるので、「クリップボード」を選択し「OK」ボタンをク リックします。

鍵の心ポート		×
g:¥bi	n¥pgp¥pubring.pgp	
心ポートする公開鍵情	報の所在を指定してください。	
● クリップボード		
C ファイル ファイル名(<u>N</u>)	[
		参照(<u>B</u>)
ОК		キャンセル

鍵のインポート

5. 以下のダイアログが表示されます。受け取った公開鍵の内容を確認し、その公開鍵の正当性を認めて(認証して)登録する場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。確認をせずに鍵フォルダに追加する場合は、「はい」をクリックします。ただし、その公開鍵に第三者の署名がある場合、自分の公開鍵フォルダでその第三者を認証していない場合は、「はい」を押しても認証の手続きが行われます。

ATCRYPT X
内容の確認をせず、追加しますか?
はいの (11)2000 キャンセル

鍵追加の確認

「いいえ」ボタンをクリックした場合は、MS-DOS プロンプトが開き、通常以下の項目について質問されます(公開鍵によっては、聞かれない項目もあります)。

- (a) 誰にも認証されていない公開鍵に対して、あなた自身で認証するかどうか尋ねられます。
- (b) 前の質問に y と答えると、鍵の指紋 (fingerprint) が表示されます。この指紋に対して、本当 に認証するかどうか聞いてきます。
- (c) 前の質問に対して y と答えると、公開鍵が表示され、その公開鍵が本当に表示されている User ID のものなのか聞いてきます。
- (d) 前の質問に対して y と答えると、あなたのパスフレーズを聞いてきます。
- (e) パスフレーズを入力すると、表示された User ID の人を信用しているか、もし、第三者の公開
 鍵にこの User ID の人が認証者として署名している場合に、第三者の公開鍵を認証するかどう
 か聞いてきます。
- (f) 以下の項目からその答えを選び、番号を入力します。
 - I don't know (わからない)
 - No(信用しない)
 - Usually (だいたい信用する)
 - Yes, alway (常に信用する)

相手の人が十分に信用できる人であれば、3か4を指定します。または2を指定した場合は、

第三者の公開鍵の中に、その User ID の人の署名がある場合に、その正当性について確認する ことになります。

- すべての質問に答えると DOS プロンプトが閉じ、「鍵一覧」ウィンドウに戻ります。
 認証の手続きは、「鍵一覧」ダイアログの「信用」ボタンで行うこともできます。
- 7. 「リフレッシュ」ボタンをクリックして、公開鍵ファイルを更新します。

建一覧			×
鍵フォルダ(<u>F</u>): 🛛	:¥bin¥pgp¥		
pubring.pgp secring.pgp			771/2 (R)
, 鍵一覧(<u>K</u>):			
User ID Mikee Daidai (mikee@allied	Type	Bits/KeyID	Date 2000/09/15
Mikeo Dalual (mikeo@alileu	-telesi pub	012/0B0007F0	2000/06/10
1			1
(信用(1) 削除(<u>D</u>)	エクスホ°ート(<u>E</u>)	<u></u>
OK 1			またいない。

鍵ファイルの更新

8. 公開鍵ファイルの情報が更新されます。

ファイルで受け取った場合

- 1. 「メールで受け取った場合」の手順2~3で「鍵のインポート」ダイアログを表示させます。
- 2. 「鍵のインポート」ダイアログが表示されるので、「ファイル」を選択し、受け取った鍵のファイル 名をフルパスで入力します。または、「参照」ボタンで選択することもできます。ファイル名を入 力したら「OK」ボタンをクリックしてください。

鍵の心木ート	×
g:¥bin¥pgp¥pubring.pgp	
インポートする公開鍵情報の所在を指定してください。	
○ ウリップボード	
© ファイル	
ファイル名(N) D:¥doc¥AT-TCP32¥key.asc	
	(■参照(<u>B</u>)
ОК	キャンセル

鍵のインポート

3. 「メールで受け取った場合」の手順5~7にしたがって公開鍵の情報を更新します。

2.12.5 メールの暗号化

- 1. 「メールの送信」ウィンドウを開き、宛先、写し、題名、本文を入力します。
- 2. 「暗号」 「暗号化」をクリックしてチェックを付けます。

🛃 メールの送信				- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) メール(M) 署名() 暗号(C)	オフション② ヘルフ	^{ı°(<u>H</u>)}		
Length Mail Mail Height Height <th>C) Z(S) D) Totat (P)</th> <th>auto</th> <th>1 2 sign1 sign2</th> <th>3 sign3</th>	C) Z(S) D) Totat (P)	auto	1 2 sign1 sign2	3 sign3
宛先(I): sein	2044111 <u>1</u> 2/			
写し(<u>C</u>):				
題名(J): [[CONFIDENTIAL] Project BUU				
極秘ブロジェクトのお知らせ ** 読後消却せよ **				^
20XX年3月付けで、下記プロジェク プロジェクトコード:BUU プロジェクトリーダー:Buu S. Uko	トを発足する. eko	•		_
目的:				
暗号化	[BASE64	3:1 66 桁	i 📃 //

暗号化メニュー

- 3. メニューの「メール」 「送信」を選択するか「post」ボタンをクリックします。「送信の確認」ダ イアログで送信先を確認して「OK」を押します。
- 「暗号化(送り先の指定)」ダイアログが表示されます。ここでは送信先を確認します。「送り先一覧」に宛先が表示されるので、確認後「次へ」ボタンをクリックします。

暗号化(送り先の指定)		×
送り先のユーザーIDを	指定してください。	
ב–₩°–IDΦ:		参照(<u>B</u>)
	↓追加(金)	
送り先一覧(L)		
Sei NAKAJIMA	<sein@allied-telesis.co.ip></sein@allied-telesis.co.ip>	削『윢(<u>D</u>)
	(戸ス(P) (かん(N)) 、 ないわれ、	
		1002

送り先の確認

宛先にエイリアスを指定した場合や、送り先一覧に表示されている名前と鍵フォルダに登録してあ る名前が一致しない場合は暗号化することができません。

_

その場合は「ユーザー ID」ボックスの右側にある「参照」ボタンをクリックして「鍵一覧」ダイア ログを表示させ、「鍵一覧」から宛先の User ID を選択して「OK」を押してください。

键	一覧					х
	键フォルダ(<u>F</u>):	g:¥bin¥pg	:p¥			_
	pubring.pgp secring.pgp				リフレッシュ(<u>R</u>)	
	键→覧(<u>K</u>):					
	<u>User ID</u> Sei NAKAJIMA <sein@allie Mikeo Daidai <mikeo@allie< td=""><td>ed-teles d-telesi</td><td>Type pub pub</td><td>Bits/KeyID 512/5405A555 512/883567F5</td><td>Date 2000/08/15 2000/08/15</td><td></td></mikeo@allie<></sein@allie 	ed-teles d-telesi	Type pub pub	Bits/KeyID 512/5405A555 512/883567F5	Date 2000/08/15 2000/08/15	
	信用(1)					
	ок				キャンセル	

鍵一覧

5. 署名をするダイアログが表示されます。暗号文に署名する場合は、「署名をする」にチェックし、その下のボックスにパスフレーズを入力します。署名しない場合は、「署名をする」のチェックを外します。入力が終了したら「完了」ボタンをクリックします。

署名をする場合は、あなたのパスフレースを入力してください。
✓ 署名をする(G)

〈戻る(B) 完了(E) キャンセル ヘルブ

パスフレーズの入力

 6. 暗号化処理を行った後、「暗号化の確認」のダイアログが表示されます。このまま送信する場合は 「OK」ボタンをクリックします。取り消す場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

	×
音号化処理が完了しました。送信する場合は、[0 場合は【キャンセルをクリックしてください。	KJをクリックしてください。取り消す
暗号化されたテキストの先頭	
BEGIN PGP MESSAGE Version: 2.6.3i	-
hEwDDaE7uVTVpVUBAf9AwPd7CdXi8Sv2NL9d 7.UX/b2IGxOD3NLB/wgUCG22LrchPWanXAbn5c I3057VTTaM6k vLkwq2+V0R8gC05Tg0V3I2_Uo isNHJE8yHuNEmJ2rh3pXXMIIwPXLNLiadBrrupE 4CNx1sfzvNtn7L6UOIah7YY0HCAim3vymDkbG	RFH+y9CKbTZw1a+eCPFeDk1 SUpgAAAMa3IA/Nys91zivs9p EI+UqF1500G8Hn6mYQbtz5Rj MYDxiK3EuVlkIH8NDN0zRdO grt9E0unuJ/wUR8AISdrKjHBf
PGPのメッセージ	
PGPのメッセージ Including "G.¥TMP¥atg4.tmp"	<u> </u>
PGPのメッセージ Including "G¥TMP¥atg4.tmp" Note: 'G¥TMP¥atg2.tmp' is not a pure text file. File will be treated as binary data.	

暗号化の確認

2.12.6 メールの復号化

暗号化されたメールを受信した場合は、次の手順で復号化します。

1. ReadMail ウィンドウで、「暗号化」 「暗号の復号」を選択します。



復号メニュー

2. 「復号化 (パスフレーズ)」ダイアログが表示されます。パスフレーズを入力してください。

×
1

復号化ダイアログ

3. 復号化処理が行われ、ReadMail ウィンドウの下に、復号化されたメールの内容が表示されます。

◎q 復号結果				×
(閉じる())				
種秘ブロジェクトのお知らせ ** 読後消却せよ **				•
20XX年3月付けで、下記ブロジェクトを発足する。 プロジェクトコード:BUU				
ブロジェクトリーダー:Buu S. Ukeko				-
त				×
_電子署名の一覧				
User ID	Date	Bits	Keyid	
PGPのメッセーン				
File is exervited. Secret key is required to	road it			
Key for user ID:	esis.co.jp>			-
T 40 1 1 1 1 TO DADEAFER 1 1 0000 /00 /	4 F			10200

復号化されたメール

2.12.7 PGP 頻出エラーメッセージ

エラー1

Error: [ファイル名] is not a ciphertext, signature, or key file.

エラー: [ファイル名] は暗号化テキスト、署名、もしくはキーファイルではありません。

原因

暗号化や電子署名が施されていないメッセージを復号化しようとした。

対策

暗号化や電子署名が施されていないメッセージに対して復号化を行わないでください。

エラー2

Error: Bad pass phrase.

エラー: パスフレーズが正しくありません。

原因

入力したパスフレーズが鍵のものと合致しなかった。

対策

正しいパスフレーズを入力してください。

エラー3

Note: [ファイル名] is not a pure text file. File will be treated as binary data.

注意: [ファイル名] は純粋なテキストファイルではありません。ファイルはバイナリファイルとして扱われます。

原因

PGP263iが日本語のJIS コードに対応していない。

対策

メッセージが出力されるだけで処理は行われます。このメッセージは無視してかまいません。

エラー4

Cannot find the public key matching userid [User ID] This user will not be able to decrypt this message.

User ID [User ID] の公開鍵が見つかりません。このユーザへのメッセージは暗号化できません。 原因

指定した送り先 User ID が pubring.pgp 中に存在しない。

対策

User ID をミスタイプしていないかどうか確認してください。ミスタイプしていない場合は公開鍵を持っていないということなので、User ID に対応する公開鍵を入手してください。

エラー5

WARNING: Because this public key is not certified with a trusted signature, it is not known with high confidence that this public key actually be longs to:[User ID]

警告:この公開鍵は信頼できる署名によって認証されていないので、この公開鍵が本当に [User ID] のものかはわかりません。

原因

```
暗号化の際に使用した送り先の公開鍵に信用できる認証がなされていない。
```

対策

実際には処理が行われるため使用上の問題はありませんが、自分の User ID で認証を行うか、 信頼できる User ID で認証された公開鍵を入手することで、この警告は出力されなくなります。

エラー6

WARNING: Bad signature, doesn't match file contents! 警告:不正な署名です。ファイル内容と合致しません。

原因

ATMail はメールのメッセージテキストをシフト JIS 形式で保持していますが、電子メールに 電子署名を施す場合、JIS コードで行うのが慣例となっています。その結果、電子署名を施し たときと、署名の検証を行ったときのテキストに差異が発生し、このメッセージが出力されま す。また、漢字混じりのメールでなくても、伝送の途中で変更が加えられた場合、このメッ セージが出力されます。

対策

電子署名の検証を行いたいときは、送り主に暗号化も同時に行ってもらうようお願いしてくだ さい。漢字混じりのメールでないときは、そのメールの内容は保証されないので、捨てること が望ましいです。

エラー7

You do not have the secret key needed to decrypt this file.

あなたはこのファイルを復号化する秘密鍵を持っていません。

原因

暗号化されたメールが受取人以外の公開鍵を用いて暗号化されたか、受取人の秘密鍵を誤って 秘密フォルダ (secring.pgp) から削除してしまった。

対策

メールが受取人以外の公開鍵で暗号化されていた場合は受取人の公開鍵で暗号化したものを送 りなおしてもらってください。

エラー8

WARNING: Can't find the right public key — can't check signature integrity.

警告:正しい公開鍵がありません。--署名が完全であるかチェックできません。

原因

電子署名を検証するために必要となる、送り手の公開鍵を所有していない。

対策

電子署名を施した送り手の公開鍵を手に入れてください。

2.13 終了

ATMail ウィンドウで「ファイル」 「終了」を選択します。

第3章

ネットニュースリーダ

「ネットニュースリーダ」(ATNews) は、Windows 上でネットニュースを読んだり、投稿したりするためのアプリケーションです。

本アプリケーションには、次のような特長があります。

- ニュースグループをツリー化して、一覧表示することができます。
- メールアプリケーションの「電子メール」(ATMail)を利用して、メールを送信することができます。
- 1 台のマシンで複数のユーザが利用できます。
- ユーザごとに未読・既読の管理ができます。
- ユーザごとの購読情報を保存できます。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.53)
- □ 環境設定 (☞ p.54)
- □ 接続 (☞ p.59)
- □ 記事の購読 (☞ p.59)
- □ 記事の投稿 (☞ p.61)
- □ フォローアップ (☞ p.63)
- □ メールの送信 (☞ p.63)
- □ 切断 (☞ p.64)
- □ 終了 (☞ p.64)

3.1 起動

1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「ネット ニュースリーダ」の順に選択します。 2. メイン画面が表示されます。



メイン画面

3.2 環境設定

ニュースサーバに接続するためには、最初に環境設定が必要です。

メニューの「オプション」 「設定」をクリックすると、以下の環境設定ダイアログが表示されます。ここで、必要な情報を入力します。

環境をすべて設定したら、メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択し、ファイル名を指 定して保存します。複数ユーザーでお使いの際には、ファイル名が重なったり、わからなくなったりしな いようにご注意ください。

3.2.1 個人情報

	個人	、情報を設定します。	ここで設定した情報は、	投稿する記事に付加されます。
--	----	------------	-------------	----------------

Ę	蒙境設定		×
	個人情報	ユース │ ₩₩₩ブラウザ │ 書式 │ ネットワーウ │ 高度	1
	メールアト・レス(<u>M</u>): mikeo@allied-telesis.co.jp	
	本名(<u>R</u>):	Mikeo DAIDAI	
	組織名(<u>O</u>):	Allied Telesis K.K.	
		OK キャンセル 適用(<u>G</u>)	

個人情報

メールアドレス

メールアドレスを入力してください。投稿のときに、投稿者のアドレスとして付加されます。

本名

名前を入力してください。投稿のときに、投稿者名として付加されます。

組織名

会社名などの組織名を入力してください。組織名として付加されます。

3.2.2 ニュース

ニュースの購読、投稿に関する設定を行います。

環境設定
個人情報 ニュース WWWブラウザ 書式 ネットワーク 高度
読み込む記事の最大数(山): 10
記録ファイル名(出): news.rc
(記録ファイルは環境設定ファイルと同じディレクトリに作成されます)
送信漢字コード(<u>©</u>):
☑ 次(前)のグループに移動するときは確認する(M)
☑ 既読記事を表示する(S)
OK キャンセル 適用(会) ヘルプ

ニュースに関する設定

読み込む記事の最大数

最初に読み込むときの記事の数を設定します。

記録ファイル名

購読するニュースグループの状態を保存するファイルです。

送信漢字コード

記事を投稿するときの漢字コードを設定します。漢字コードのタイプには、JIS、EUC、SJIS があり ます。コードを間違えると、投稿する記事が文字化けしてしまうのでご注意ください。使用すべき コードは、ニュースサーバによって異なりますので、ニュースサーバの管理者におたずねください。 次(前)のグループに移動するときは確認する

ー番最後 (最初)の記事から次 (前)のニュースグループに移動するときに、確認するかどうかを設 定します。

既読記事を表示する

すでに読んだ記事も記事一覧に表示します。

3.2.3 WWW ブラウザ

WWW ブラウザの種類と場所を設定します。

環境設定					×
個人情報		www.75	ラウザ 書式	ネットワーウ 高度	
-			1-	· · ·	
使用す	るフラワサ				
• N	etscape Nav	igator			
ON	licrosoft Inter	rnet Expl	orer		
プログ	ラムの場所()	<u></u> 0:			
low-	in VC and an and in the	- t- vVD-			
la•±n	in#Communic	ator≢rro	grami≢rietsca		
	ОК		キャンセル	適用(A)	~JJ/7

WWW ブラウザの指定

使用するブラウザ

使用するブラウザを選択します。

プログラムの場所

使用するブラウザの実行ファイル名をフルパスで設定します。

3.2.4 書式

表示する記事の色を設定します。

「標準」、「ヘッダ」、「境界」、「添付ファイル」、「背景色」の各ボタンを押すと、色の設定ウィンドウが表示されるので、それぞれの色を設定してください。また、サンプル行をダブルクリックしても、色の設定 ウィンドウを表示させることができます。

環境設定	×
│個人情報 │ニュース│ WWWブラウザ	「書式 ネットワーウ 高度
サンプル	標準(<u>D</u>)
は年のリースト ヘッダのテキスト	<u></u>
境界のテキスト 添付ファイル	<u>ネ</u> 付ファイル Ø
	背景色(<u>B</u>)
OK	ンセル 道用(公) ヘルプ

書式

標準

記事の内容の色を設定します。

ヘッダ

記事のヘッダの色を設定します。

境界

記事と添付ファイル内容の境界線の色を設定します。

添付ファイル

添付ファイルの色を設定します。

背景色

記事の背景色を設定します。

3.2.5 ネットワーク

ニュースサーバを指定します。ニュースサーバ名が設定されていないと接続できません。

環境設定		×
個人情報 ニュース Wi	WWブラウザ 書式 ネットワーク 高度	
ニュースサール名(10):	news.allied-telesis.co.jp	
ОК	キャンセル 適用低)	~///プ

ニュースサーバの指定

ニュースサーバ名

ホスト名または、IP アドレスを入力してください。

3.2.6 高度

ニュースサーバとの TCP/IP 通信に関するパラメータを設定します。オンライン中は変更できません。

累境設定		×
個人情報 ニュース	WWWブラウザ 書式 ネットワーク 高度	
NNTPホ⁰ト(<u>N</u>):	119 Jセット(R)	
TCP WAIT:	(sec)	
TOP RETRY:	5	
注オンライン時には	は設定できません。	
ОК	キャンセル 道用(公)	ヘルプ

高度な設定

リセット

それぞれの設定値をデフォルトに戻します。デフォルト値は、NNTP ポートが 119、TCP WAIT が 12、TCP RETRY が 5 です。

NNTP ポート

ニュースサーバのポート番号を指定します。NNTP のデフォルトポートは 119 ですが、サーバが 別のポートを使っている場合は、その番号を入力してください。

TCP WAIT

ニュースサーバに接続する際のタイムアウト値を設定します。ダイアルアップ接続の場合は、長め に設定することをおすすめします。

TCP RETRY

ニュースサーバへの接続が失敗したときのリトライ回数を設定します。

3.3 接続

ニュースサーバに接続するには、「環境設定」で必要な情報を設定したのち、メニューの「ネットワーク」 「オンライン」を選択するか、ツールバーの「online」ボタンをクリックします。

3.4 記事の購読

3.4.1 通常購読する記事の設定

デフォルトの設定では、ニュースサーバへの初回接続時に、未読記事があるすべてのニュースグループの 情報を取り込みます。

ニュースグループは非常に数が多いので、目的のニュースグループを探すだけでもたいへんです。まず最 初に、読みたいグループを厳選し、「通常読むニュースグループ」として設定してください。こうすること により、次回からは、読みたいグループだけがニュースグループ一覧に表示されるようになります。

- 1. 普段読まないニュースグループをマウスで選択します。
- 2. メニューの「グループ」 「購読を止める」を選択します。
- 3. 選択したアイコンがサブグループを含む場合は、「購読を止める」ダイアログが表示されます。
- 「選択したグループだけ購読を止める」か「サブグループごと購読を止める」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
- 5. 購読を中止したニュースグループや記事は、ニュースグループ一覧に表示されなくなります。

3.4.2 購読したいニュースグループが少ない場合

購読するニュースグループが少ない場合は、以下の手順で購読記事の設定を行うと便利です。

- 1. 最初にトップアイコンをマウスで選択します。
- メニューから「グループ」 「購読を止める」を選択します。「購読を止める」ダイアログが表示されるので、「サブグループごと購読を止める」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
 これにより、すべてのニュースグループが購読対象からはずれます。

- 3. メニューの「グループ」 「すべてのグループを表示」を選択して、すべてのニュースグループを 表示させます。
- 4. ニュースグループ一覧の中から、購読したいニュースグループを選択します。「Shift」キーや「Alt」 キーを押しながらクリックすることで複数グループの同時選択も可能です。
- 5. 選択が終わったら、メニューの「グループ」 「購読する」をクリックします。
- 6. メニューの「グループ」 「すべてのグループを表示」を再度クリックしてマークをはずすと、「通常購読するニュースグループ」だけが表示されるようになります。
 ▲ 通常購読する記事の設定をした後に新たなニュースグループが作成された場合は、次回ニュースサーバへの接続時に、新しいニュースグループが一覧に表示されます。

3.4.3 通常購読する記事の設定の保存

通常購読する記事の設定の情報を保存しておくと、次回ニュースサーバに接続したときから、購読したい ニュースグループの未読記事だけが取り込まれるようになります。

現在の環境に情報を保存する場合

1. メニューの「ファイル」 「上書き保存」をクリックします。

現在の環境を新たに情報ファイルに保存する場合

- 1. メニューの「ファイル」 「名前を付けて保存」をクリックします。
- 2. 「環境設定」の手順2と同様にファイル名を付けて保存します。

3.4.4 記事を読む

- 1. 読みたいニュースグループのアイコンをダブルクリックします。
- 2. そのニュースグループの未読の記事一覧が表示されます。

3. 読みたい記事アイコンをクリックします。



記事を読む

3.4.5 ニュースグループの検索

- 1. ニュースグループ一覧内のどこかをクリックし、メニューから「編集」 「検索」を選択します。
- 「グループの検索」ダイアログが表示されます。「検索グループ名」フィールドに検索するニュース グループ名、キーワードを入力し、検索方向を選択します。
- 3. 入力したグループ名、キーワードと一致した箇所にカーソルが移動します。

3.5 記事の投稿

3.5.1 新規投稿

- 1. ニュースグループ一覧から、投稿したいニュースグループを選択します。
- 2. ツールバーの「post」をクリックするか、メニューの「記事」 「新規記事の作成」を選択します。

3. 以下のような記事の投稿ウィンドウが表示されます。必要な情報を入力し、記事を書きます。

1998年の投稿		
ファイル(E) 編集(E)	ニュース(N) 署名(Q) オブション(Q) ヘルプ(H)	
exit post	X Image: Copy paste Image: Copy paste <th< th=""><th></th></th<>	
ディストリビューション(<u>D</u>):	local	
ニュースク°⊮ーフ°(<u>₩</u>):	atkk.test	
題名(J):	Test 1	
返信先(<u>R</u>):		
フォローアップ(<u>0</u>):		
こんにちは。 テストボスト	टुचे.	×
添付ファイル(<u>A</u>):	BASE64 💌 参照(W)]
	NUM 88 7	fti //

記事の作成

ディストリビューション

投稿した記事が配布される範囲を指定します。localを指定するとローカルシステムにのみ配 布されます。localの規模はそのネットワークによって違います。

ニュースグループ

投稿先のニュースグループを指定します。これを入力しないと投稿できませんので、必ず指定 してください。

複数のニュースグループにクロスポストすることもできます。カンマで区切ってニュースグ ループを入力してください。

題名

投稿する記事の題名を入力します。日本語の入力も可能です。

返信先

投稿した記事に対してメールで返事が欲しい場合など指定します。ここで設定しなければ、「オ プション」 「設定」で個人情報に設定したメールアドレスが入ります。

フォローアップ

この記事に対するフォローアップを別のニュースグループに投稿してもらいたいときに、その ニュースグループを指定します。クロスポストしたときにフォローアップのニュースグループ を指定できます。

記事内容

記事を入力します。半角カタカナは使用できません。もし、使用しても投稿時に自動的に全角 に変換されます。

添付ファイル

バイナリデータを投稿する場合に、添付するファイル名を指定します。「参照」ボタンをク リックしてファイルリストから選択することもできます。エンコード方式は、MIME 準拠の BinHex4.0、Base64、uuencode から選択可能です。

- 4. 本文を書き終えたら、ツールバーの「post」をクリックするか、メニューの「ニュース」 「送信」 を選択します。
- 5. 確認のメッセージが表示されます。送信してもよければ「はい」ボタンをクリックします。

ATNews	X
?	記事を投稿します。よろしいですか?
	TITY INAN

投稿の確認

3.6 フォローアップ

- 1. フォローアップしたい記事を選択します。
- ツールバーの「follow」ボタンをクリック、またはメニューの「記事」 「フォローアップ記事の 作成」をクリックします。「フォローアップ」ダイアログが表示されるので、必要な情報を設定し、 「OK」ボタンをクリックします。
- 3. 「記事の投稿」ウィンドウが表示されるので、フォローアップの記事を書きます。
- 本文を書き終えたら、ツールバーの「post」をクリックします。またはメニューの「ニュース」
 「送信」を選択します。
- 5. 確認のメッセージが表示されます。送信してもよければ「はい」をクリックします。

3.7 メールの送信

メールの送信機能は、ニュースの投稿者に対して直接メールを出したいときに便利な機能です。この機能は ATMail を利用しますので、あらかじめ ATMail を起動しておいてください。

ATMailの使い方に関しては、ATMailの項を参照してください。

3.7.1 送信

- 1. ツールバーの「mail」ボタンをクリックするか、メニューから「記事」 「メールの作成」を選択 します。
- 2. ATMailのメールの送信ウィンドウが表示されます。メールを作成し、送信してください。

3.7.2 返信

1. メールを返信したい記事にカーソルを合わせます。

- 2. 「reply」ボタンをクリックするか、メニューの「記事」 「返信メールの作成」を選択します。
- ATMailの「メールの返信」ダイアログが表示されるので、返信先が正しいかどうかを確認し、 「OK」ボタンをクリックします。
- 4. ATMailの「メールの送信」ウィンドウが表示されます。メール本文を書き、送信してください。

3.8 切断

ニュースサーバとの接続を切断するには、メニューの「ネットワーク」 「オンライン」を選択するか、 ツールバーの「online」ボタンをクリックします。

3.9 終了

- 1. メニューから「ファイル」 「終了」を選択します。
- 2. 環境設定が変更された場合は、設定を保存するかどうかメッセージが表示されます。
- 3. 保存する場合は「はい」を、保存しない場合は「いいえ」をクリックします。
第4章

VT 端末エミュレータ

「VT 端末エミュレータ」は、漢字対応の Telnet クライアントです。VT 端末エミュレータを使うことにより、Windows PC を各種ホストマシンの仮想端末として使用することができます。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.65)
- □ ログイン (☞ p.66)
- □ ログアウト (☞ p.72)
- ❑ 切断 (☞ p.72)
- □ 終了 (☞ p.72)
- □ その他の機能 (☞ p.73)
- □ UNIX 以外のサーバにログインする (☞ p.77)

4.1 起動

1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「VT 端末 エミュレータ」の順に選択します。 2. メイン画面が表示されます。

□ FixedSys 12 □
VT Emulator for Win32
copyright (C) 1999-2000 by Affred Telesis K.K. Aff Fights reserved.

メイン画面

- 4.2 ログイン
- 4.2.1 その場限りのログイン
 - 1. メニューから「ネットワーク」 「接続」を選択します。
 - 2. ホスト名の入力ボックスが表示されます。接続したいホストのホスト名または IP アドレスを入力 し、「OK」をクリックします。

ホスト名を入力してください:	OK
flyingjunk 💌	<u>^µ,7°(H)</u>

-

ホスト名の入力

 ログインプロンプトが表示されたら、ログイン名(ユーザー名)とパスワードを入力します。通常、 入力したパスワードは画面に表示されません。

🛄 VT端末エミュレータ - flyingjunk (00:00:19)	- 🗆 ×
セッション(S) 編集(E) 設定(T) ネットワーク(N) 転送(R) ヘルフ°(H)	
FixedSys 💌 12 💌	
VT Emulator for Win32 Copyright (C) 1993-2000 by Allied Telesis K.K. All rights reserved.	
FreeBSD (flyingjunk) (ttyp1)	
login: seinak Password:	

ログインプロンプト

▶ ログイン手順は接続先のシステムによって異なる可能性があります。詳細はシステム管理者にお尋ね いただくか、システムのマニュアル等でご確認ください。上記の例は、UNIX システムでのものです。

 ログイン名とパスワードが正しければ、ログインが完了し、システムを利用できるようになります。
 パスワードを間違えた場合は、通常ログインプロンプトに戻りますので、再度ログイン名から入力 してください。

■VT端末LisL-タ-flyingjunk 0000300 セッション(S) 編集(E) 設定(I) ネットワーク(M) 転送(R) ヘルフ [*] (H)
FixedSys I 12 I
VT Emulator for Win32 Copyright (C) 1993-2000 by Allied Telesis K.K. All rights reserved.
FreeBSD (flyingjunk) (ttyp1)
login: seinak Password: Copyright (c) 1980, 1983, 1986, 1988, 1990, 1991, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
FreeBSD 2.2.5-RELEASE (NECMG) #10: Wed May 27 23:32:26 JST 1998 seinak@flyingjunk[100]=>

ログイン完了

4.2.2 登録したセッション情報によるログイン

よくログインするホストについては、必要な情報を「セッション」として登録・保存しておくと便利です。

セッションの登録

- 1. メニューから「セッション」 「新規作成」を選択します。
- 「セッション情報」ダイアログが表示されます。接続したいホストの「ホスト名」(または IP アドレス)と「ログイン名」(ユーザー名)を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。 また、必要に応じて「パスワード」も入力できます(入力したパスワードは「*******」のように表示されます)。ただし、パスワードを入力する場合は、下記の注意事項をよくお読みください。

セッションを開いたときに、自動的にログインしたい場合は、「自動ログインの実行」をチェックします。

セッション情報		×
ホスト名(N): flyingjunk	_ 機能モードの設定(<u>M</u>)	OK
ホスト定義ファイルの読み込み(Q)	端末の設定(P)	キャンセル
	表示(<u>S</u>)	接続(<u>C</u>)
	漢字コート潤連(ᡌ)	^/レフ°(<u>H</u>)
	キーホート関連(<u>F</u>)	
ロゲイン名(L): seinak	\$/7関連(I)	
	編集メニュー関連(<u>E</u>)	
■ 自動がわの実行(A)	転送灯1~関連(<u>R</u>)	

「セッション情報」ダイアログ

▶ セキュリティが重要な場合、パスワードは空欄にしておくことをお勧めします。セッション情報にパスワードを含めておくと、そのセッションを開きさえすれば、誰でもパスワードチェックを受けることなくあなたのログイン名でシステムにログインできてしまいます。

- 3. セッション情報を保存します。メニューから「セッション」 「名前を付けて保存」を選択してく ださい。
- 4. 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。「セッション名」を入力し「OK」をク リックしてください。



セッションに名前を付ける

5. 「OK」をクリックしてください。



作成確認

セッションを開く

- 1. メニューから「セッション」 「開く」を選択します。
- 2. 「セッションを開く」ダイアログが表示されます。一覧からセッションを選択し、「OK」をクリックします。

セッションを開く		X
セッション名(2):	flyingjunk	
flyingjunk		<u>OK</u> キャンセル ヘルフ*(<u>H</u>)



「自動ログインの実行」をチェックしている場合は、セッションを開くと同時にリモートホストへの接続がおこなわれ、login: プロンプトに対してログイン名が送出されます。パスワードが登録されている場合は、password: プロンプトに対してパスワードが送られ、自動的にログインします。パスワードを登録していない場合は、プロンプトに対して手で入力してください。

「自動ログインの実行」をチェックしていない場合は、メニューバーから「ネットワーク」「接続」の順に選択すると、セッション情報に基づいてリモートホストへの接続とログインが行われます。

XT端末Iミレーター flyingjunk (たいいの) (同集/の) 記念(の)	0:00:00)	
VT Emulator for Win32 Copyright (C) 1993-20	またし、 おさせの、 おさせの、 おさせの、 おさせの、 おさせの、 本にの、 おさせの、 の 送信(の) にたかいたいで、 が にたいの 送信(の) にたかいたいで、 が にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 送信(の) にたいの 、 の) ど にの の の の の の の の の の の の の の	All rights reserved.
	読み込むファイルを開く(<u>F</u>) ロゲファイルを開く(<u>L</u>)	
	接続の切断(D) 接続の強制終了(<u>A</u>)	
-		
	ルンで、技術します	

手動で接続

▶ 「自動ログインの実行」をチェックしていない場合、セッションを開いても、ほとんど画面が変わり ません。このような場合は、タイトルバーをチェックしてください。セッションを開くと、接続先ホスト の名前が表示されます。起動時は「(---)」のようになっています。

4.2.3 ショートカットによる自動ログイン

作成したセッションをショートカットとして登録しておくと、それを実行するだけでリモートホストと接 続できます。

ショートカットの登録

- あらかじめ、前述の「セッションの登録」の手順にしたがってセッションを登録しておきます。ここでは、「flyingjunk」という名前のセッションへのショートカットを作成します。
- 2. メニューから「セッション」 「ショートカットの登録」を選択します。

3. 「ショートカットの登録」ダイアログボックスが表示されます。

- 登録先:		
□ ゲルーフ°(<u>G</u>)	CentreNET AT-TCP32 Professi 💌	
□ スタートメニュー(S)	E:¥WINNT¥Profiles¥sein¥ス၇ㅡト メニュ	参照(<u>B</u>)
□ フォルダ(E)	g:¥bin¥attcp21¥CentreNET AT-TC	参照(<u>R</u>)
₩ デスウトップ(<u>D</u>)	E:¥WINNT¥Profiles¥sein¥デスクトップ	参照(<u>E</u>)
-登録内容:		
<u>አ</u> ላኑル(፲)፡	flyingjunk	
実行時のテネレクトリ(W): G:¥bin¥attcp21	

「ショートカットの登録」ダイアログ

- 「登録先」では、どこにショートカットを作るかを指定します。「グループ」、「スタートメニュー」、「フォルダ」、「デスクトップ」の中から任意のものにチェックマークをつけ、「参照」ボタンでパスを指定してください。
- 「登録内容」の「タイトル」には、ショートカットの名前を指定します。デフォルトでセッション名が使われます。
- 必要な情報を入力しおえたら、「OK」をクリックしてください。この例では、「デスクトップ」に 「flyingjunk」というショートカットを登録します。



登録されたショートカット

ショートカットを開く

- 1. 先ほど作成したショートカット「flyingjunk」をダブルクリックします。
- セッション「flyingjunk」が開きます。「自動ログインの実行」をチェックしている場合は、リモートホストへの接続も行われます。「自動ログインの実行」をチェックしていない場合は、メニューの「ネットワーク」 「接続」で接続します。

4.3 ログアウト

UNIX のプロンプト上で「logout」と入力し、リターンキーを押します。

💭 VT端末エミュレータ - flyingjunk (00:01:30)
セッション(S) 編集(E) 設定(T) ネットワーク(N) 転送(R) ヘルフ°(H)
FixedSys 12 -
/X { 0 200 NB WS NB NS WB NS NB NS WB (X) PC } bind def /Y { 0 200 WB WS NB NS WB NS NB NS NB (Y) PC } bind def /Z { 0 200 NB WS WB NS WB NS NB NS NB (Z) PC } bind def
end /BuildGlyph { 290 0
0 0 290 1000 setcachedevice exch /CharProcs get exch 2 copy known not {pop /.notdef}
if get exec } bind def
/BuildUhar { 1 index /Encoding get exch get 1 index /BuildGlyph get exec } bind def
end
seinak@flyingjunk[109]=> logout

ログアウト

4.4 切断

- 1. メニューから「ネットワーク」 「接続の切断」を選択します。
- 2. 以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



切断の確認

4.5 終了

メニューから「セッション」 「アプリケーションの終了」を選択します。

ホストに接続したまま終了させようとすると以下のメッセージが表示されます。「キャンセル」をクリックし、ログアウトさせてから「VT端末エミュレータ」を終了させてください。



終了の確認

4.6 その他の機能

4.6.1 キーの定義

キーボードの各キーに割り当てられているデータの確認と割り当ての変更を行うことができます。

例えば、リモートホストで Emacs を使用する場合、Emacs のデフォルト設定では BS キーを押すとヘル プが表示されます。また DEL キーは、キーボード上の遠い位置にあります。こんなときは、 BS キーを 押したとき出力される文字コードを DEL に置き換えると便利です。

以下の手順を参考に行ってください。

- 1. メニューから「設定」 「キーの定義」を選択します。
- 「キーボード」と「キーパッド」が選択できるのでどちらかを選択します。ここでは「キーボード」
 を選択します。



キーの定義メニュー

3. 「キーの定義」ダイアログが表示されます。デフォルトでは PC-9800 シリーズのキーボードが表示されます。

キーの定義 - PC-9800 シリーズキーボード	K
510P DOPY 1+1 +2 +3 ++4 ++	1+6 +7 +8 +9 +10 v+1 v+2 v+3 v+4 v+5
ESC 1 2 3 4 5 6 7 8	1 0 P @ [CR UP JOWN 7 8 9 *
DIRUDAPS A S D F G H	JKL: J 4 5 6 +
DT ARPH NEEN	M I J SHIFT ← → I Z 3 = KFER ↓ U ↓ U ↓ CF
	؟»٫?»

「キーの定義」ダイアログ

▶ この「キーの定義」のキーマップは、デフォルトが PC-9800 シリーズとなっています。AT 機をお使いのお客様で、「設定」 「キーボード関連」の「キーボードタイプ」を「OADG 仕様 106」に設定している場合は DEL キーの設定が「PAD SELECT」となっていますので、キーの定義で設定変更が必要となります。

4. 次に割り当ての変更を行いたいキーをクリックします。ここでは BS キーをクリックします。選択 されたキーは拡大して表示されます。

キーの定義 - PC-9800 洲ースキーボード				×
STOP COPY 11 12 13 14 15 16 17 18 19 14 14 175	vt•	3 vt	4 \	/1-5
ESC 1 2 3 4 5 6 7 8 9 U - ¥ BS INS DEL	DLR	HLP	-	
	1	8	9	*
DIRUDAPSIA SIDIFIGIHIJKILI: :]]	4	5	6	+
SHIFT ZXCVBNM		2	3	=
ЛЛ АКРН NFEH ↓	U			CR
ーアレンジキー(<u>A</u>):				
□ CTRL □ SHIFT □ カナ デフォルトデータ: <bs></bs>				
終了(<u>C</u>) 設定()>>	$ \sim $	ג¢ינו	Ð

「BS」をクリック

5. 「キーの定義」ダイアログの右下の「設定>>」をクリックします。

キーの定義 - PC-9800 シリーズキーボード				×
510P 20PY 1+1 1+2 1+3 1+4 1+5 1+6 1+7 1+8 1+ 1+11 1+11 1+11 1+1	vt•3	s vt	4 v	rt•5
ESC 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - ¥ BS INS DEL	DLR	HLP	-	
		8	9	*
DIRUDAPSIA S D F G H J K L : :] T	4	5	6	+
SHIFT ZXCVBNM/SHIFT ← →		2	3	=
ד ארא ארא ארא ארא ארא ארא ארא ארא ארא אר	U		. I	CR
~7v7%				
「CTRL SHIFT 」カナ デウォルトデータ: <bs></bs>				
終了(<u>C</u>) 設定(<u>S</u>)>>[/	- N	µכי(<u>⊢</u>	Ð

「設定」をクリック

 「デフォルトデータ」と「コントロール」が表示されます。「コントロール」の下向き矢印をクリック すると、以下のようにリストが表示されます。そのリストの中から「0x7f:」を選択します。



DEL を選択

選択したら「OK」をクリックし、「デフォルトデータ」と「コントロール」を閉じ、「キーの定義」
 ダイアログを終了させます。

4.6.2 フローティングポップアップメニュー

マウスの右ボタンをクリックすることにより次のようなメニューが表示されます。このメニューをフロー ティングポップアップメニューといいます。

🛄 VT端末エミュレータ - flyingjunk (00:02:46)			_ 🗆 >
セッション(S) 編集(E) 設定(T) ネットワーク(N)	転送(R) ヘルプ(H)		
□ FixedSys • 12	• •	•	
13 bytes from 150.87.28.1: ion 13 bytes from 150.87.28.1: ion 13 bytes from 150.87.28.1: ion 13 bytes from 150.87.28.1: ion 13 bytes from 150.87.28.1: ion • C afrika.tw.allied-telesis.c 7 packets transmitted, 7 packets seinak@flyingjunk[113]=> ./pot PING afrika.tw.allied-telesis. 62 bytes from 150.87.28.1: ion 62 bytes from 150.87.28.1: ion 63 bytes from 150.87.28.1: ion 64 bytes from 150.87.28.1: ion 65 bytes from 150.87.28.1: ion 65 bytes from 150.87.28.1: ion 66 bytes from 150.87.28.1: ion 67 bytes from 150.87.28.1: ion 68 bytes from 150.87.28.1: ion	第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日	Ctri+C Ctri+V Ctri+V N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→ N→	me=67. ms me=62. ms ime=52. ms ime=52. ms ime=63. ms
afrika.tw.allied-telesis.c 5 packets transmitted, 5 packet round-trip (ms) min/avg/max = seinak@flyingjunk[114]=> cd seinak@flyingjunk[115]=> ls a.out* fromPerl/ fgets* listfonts.ps fgets.c ps.ps seinak@flyingjunk[116]=> =	xo.jp PING Statist ets received, 0% p 52/59/67 //PostScript psop.c psop.h sample.ps	ics acket loss strutil.c strutil.h test.txt	type3.ps*
ホルとの接続を切断します			

ポップアップメニュー

このメニューからは、次のような操作が可能です。

セッションの切断と再接続

フローティングポップアップメニューの「接続の切断」を使うと、簡単にセッションの切断を行う

ことができます。

また、接続の切断をした直後にこのメニューから「接続」をクリックすると同じセッションに自動 的に再接続することができます。

コピーと貼り付け

コピーをしたいデータの範囲をマウスで指定し、「コピー」をクリックします。

次に、「貼り付け」をクリックすると、カーソル位置から「コピー」で範囲設定したデータが出力されます。

「コピー」で範囲設定する場合、あらかじめマウスで範囲を指定しますが、範囲指定の方法には2 つの形式があります。これは、「設定」 「編集メニュー関連」の「領域選択範囲の形式」で設定し ます。形式については以下の通りです。

行

行単位で範囲設定をします。

矩形

四辺形に範囲を設定します。

4.6.3 バイナリファイルの送受信

メニューの「転送」メニューから、「バイナリファイルの送信」、「バイナリファイルの受信」を選択する と、「VT端末エミュレータ」で接続している BBS などとバイナリファイルの転送(アップロード/ダウン ロード)を行うことができます。以下の手順にしたがってください。

メニューの「転送」 「バイナリファイルの送信」または、「転送」 「バイナリファイルの受信」
 から、アップロードまたはダウンロードに使用するプロトコルを選択します。

🛄 VT端末エミュレータ - proxy.allied-telesis.co.jp	(00:05:11)		_ 🗆 ×
セッション(S) 編集(E) 設定(T) ネットワーク(N)	転送(R) ヘルフ°(H)		
□ FixedSys • 12	テキストファイルの送信(S) テキストファイルの受信(B)	v	
続き (改行で表示 E:終了)	バイナリファイルの送信(<u>B</u>) ▶		
>	- バイナリファイルの受信(E) →	0: XMODEM-128(SUM)	
例)毎日日記をつけていて、目	次ペーシも更新する	1: XMODEM-128(CRC)	
		2: XMODEM-1024(CRC)	
●稼動条件		<u>3</u> : B Plus 너희	

ダウンロードの場合

🛄 VT端末エミュレーター proxy.allied-telesis.co.jp(00:06:40)			
セッション(S) 編集(E) 設定(T) ネットワーク(N)	転送(R) ヘルフ°(H)		
□ FixedSys 12	テキストファイルの送信(<u>S</u>) テキストファイルの受信(<u>R</u>)	-	
 ■マニュアル作成(特に関数リフ ■レイアウト情報は、別ファイル 途にも ■使えるかもしれません。 	パイナリファイルの送信(型) → パイナリファイルの受信(E) ↓	0: XMODEM-128(SUM) 1: XMODEM-128(CRC) 目 2: XMODEM-1024(CRC) 3: B Plus	•

アップロードの場合

 選択したプロトコルに対応したダイアログボックスが表示されます(例:ダウンロード)。ここで、 アップロードまたはダウンロードしたいファイル名を入力します。

MODEM ゆうフロート" ファイル(E) ヘルフ [*] (H)	×
WVTN ver 1.0 pl 7	7 - 外部補助API ver 2.0
ファイル名(N): gureo	-1.23.tar.gz
転送ハイト数:	0 . バイト
_7°ロトコル選択(<u>S</u>):	
XMODEM-SUM	□ テキストモード(E)
C XMODEM-CRC	

ファイル名の指定

- 3. ファイル名を入力したら「開始」をクリックします.転送が開始されると「開始」ボタンが「中止」 ボタンになり途中でキャンセルすることができます。
- 4. ダウンロードが終了したら、「ファイル」 「プロトコル名 (ダウンロード)の終了」をクリックします。

または、「プロトコル名 (ダウンロード)」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックします。

▶ 使用できる転送プロトコルは、接続先ホストや BBS によって異なります。接続先のシステムで利用できる転送プロトコルを確認の上、ご使用ください。

4.7 UNIX 以外のサーバにログインする

UNIX 以外のサーバにログインする場合、以下の手順にしたがってください。

- 1. メニューから「設定」 「機能モードの設定」を選択します。
- 2. 「機能モードの設定」ダイアログが表示されます。「ログインスクリプトの設定」ボタンをクリック します。

機能モードの設定		X
-71トコルの選択(S): で telnet ホ ⁴ ート番号(P):	C riogin 23 Yの設定(U、N	ОК <u></u> ++>tell ^/l/7*(<u>H</u>)
u		
- 端末タイプ名(<u>T</u>):	vt100	
ロクファイル名(<u>N</u>):	logfile	
アンサーバック メッセージ(<u>A</u>):	●受信ロゲ(B) (Allied Telesis, K.K	○表示ロゲ(<u>D</u>)

「機能モードの設定」ダイアログ

 「ログインスクリプトの設定」ダイアログが表示されます。「ログインスクリプトファイルの使用」 のチェックボックスをマウスでチェックします。

ログ	インスツフトの設定	х
	ホストロケインフ℃ンフト(L): ogin	
	ホストハ [®] スワート [®] プロンフ [®] ト(<u>P</u>): assword	
Г		
	DefWVTNSCP	
	- デフォルトのファイルタに戻す(D) 編集(F) 参昭(B)	1
		1
	OK <u>キャンセル ヘルフ*(H</u>)	

チェックをつける

4. 使用するログインスクリプトファイルを選択します。デフォルトは「DEFWVTN.SCP」です。「参 照」ボタンをクリックします。

ロゲインスクリフトの設定	×
ホストロク"インフ [∙] Ώンフ [∙] ች(<u>L</u>)።	ogin
ホストハ°スワートʹフ⁰ロンフ°ト(<u>P</u>):	assword
■ ロゲインスクリフ・トファイルの	使用心
ファイル名(E): DEFV	WVTN.SCP
デフォルトのファイル名に戻	す(D) 編集(E) 登照(B) (2)
ОК	キャンセル ヘルフ ^ペ (<u>H</u>)

「参照」ボタン

5. 「スクリプトファイルを開く」ダイアログが表示されます。「ファイル名」フィールドのファイルー 覧から使用するファイルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

スクリプトファイルを開く		? ×
ファイルの場所仰	🔄 attcp21 💽 🖻 📺 📰	
≣ defwvtn.scp		
🗐 nifty.scp		- 1
🗒 povan.sop		
1		
ファイル名(N):	nifty.scp	
ファイルの種類(工):	スクリフ ^ヘ ファイル (*.scp) ・ キャンセル	

スクリプトファイルの選択

▶ ここに表示されていない BBS にログインする場合は、既存のログインスクリプトファイルを参考に作成してください。

 「ログインスクリプトの設定」ダイアログに戻ります。「編集」をクリックし、選択したログインス クリプトファイルを開きます。

D 2	インスツットの設定	×
	ホストロケインフ℃ンプト(L): Ogin	
	ホストハ ^ゥ スワートブロンフ [・] ト(<u>P</u>): assword	
	🔽 በታኘንスንሃን ችንም ብዙ ወን使用 (U)	
	ファイル名(E): DEFWVTN.SCP	
	テフォルトのファイル名に戻す(D) [編集10] 参照(B)	
	OK	

「編集」ボタン

「ログインスクリプトファイルの編集」画面が表示されます。接続先システムのログイン手順にしたがってスクリプトを書き換えてください。

ロクィンスクリフトファイルの	D編集		X
G:¥bin¥attcp21¥n	ifty.scp		
recv "tion-ID send "SVC"	>"		
recv %%HOST_LC send %%USER_LC	GIN_PROMPT%%)GIN_NAME%%		
recv %%HOST_PA send %%USER_LO	SSWORD_PROMPTXX GIN_PASSWORDXXX		-
•			Þ
閉じる(<u>C</u>)	上書き保存⑤)	名前を付けて保存(<u>A</u>)	<u>^⊮7°(H)</u>

スクリプトの編集

- 8. 入力が終了したら、「上書き保存」ボタンをクリックします。参考ファイルにない BBS のログインス クリプトファイルを作成している場合は、「名前を付けて保存」でファイル名を変更してください。
- 9. 編集終了後は、メニューから「設定」 「端末の設定」を選択します。
- 10. 「端末の設定」ダイアログで「接続時 CR 変換」の「CR CR」をチェックします。

喘末の設定	×.
	接続時CR変換(©):
ОК	キャンセル ヘルフ ^ペ (<u>H</u>)

行末コード変換

▲ インターネット経由で UNIX 以外のサーバにログインする場合は、スクリプトファイルの設定をした 後に接続時の CR 変換を「CR CR」に変更してください。また、UNIX のサーバにログインする場合 は、サーバ側の設定によって異なりますが、通常は「CR LF」に設定します。変更しないとうまくロ グインできない場合があります。

第5章

Ftp クライアント

「Ftp クライアント」は、FTP サーバとファイルのやり取り(転送)をするためのアプリケーションです。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.81)
- □ FTP セッションの登録 (☞ p.81)
- □ FTP サーバへの接続 (☞ p.84)
- □ ファイルの転送 (☞ p.85)
- □ ファイルの表示 (☞ p.88)
- □ ファイル名の変更 (☞ p.90)
- □ ファイルの削除 (☞ p.91)
- □ 終了 (☞ p.92)
- マクロプロセッサ機能 (☞ p.92)

5.1 起動

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Ftp クラ イアント」の順に選択します。
- 2. メイン画面が表示されます。

5.2 FTP セッションの登録

FTP サーバと接続するには、最初にサーバの情報を「FTP セッション」として登録します。以下の手順で FTP セッションの情報を登録してください。

1. メニューから「ツール」 「FTP セッションの作成」を選択します。

2. 「FTP セッションの新規作成」ダイアログが表示されます。以下の説明を参考に、必要な情報を入 力してください。

FTPセッションの新規作成		X
FTPセッション ホスト 転送	トラブルシューティング	
FTPセッション名(S):	Flyingjunk Home Directory	参照(B)
ホスト名(日):	flyingjunk.tw.allied-telesis.co.jp	参照(R)
ユーザ名(山):	mikeo	
/ነ°スワート°(<u>P</u>):		
アカウント(<u>A</u>):		
匚 匿名ロゲイ	ン(M) マ セッションを登録する(E) (パスワードの(保存(M))	
	OK ++>tz/	ヘルプ

FTP セッションの新規作成

セッション名

セッション情報を識別するための名前です。

ホスト名

接続する FTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。

ユーザ名

FTP サーバにログインするときのユーザ名を入力します。ここを空にしておくと、FTP サーバへの接続時にユーザ名の入力を促す「ユーザ名の入力」ダイアログが表示されます。

パスワード

FTP サーバにログインするためのパスワードを入力します。入力したパスワードは「******」 のように表示されます。

また、ここを空にしておくと、FTP サーバへの接続時にパスワードの入力を促す「パスワード の入力」ダイアログが表示されます。

匿名ログイン

匿名 FTP (Anonymous FTP) サーバにログインします。これにチェックを付けると、「ユー ザ名」フィールドに自動的に「Anonymous」が入力され、また「パスワード」フィールドが 伏せ字ではなくなります。匿名ログインの場合、パスワードとしてメールアドレスを送るのが 慣例となっています。

セッションを登録する

ここで入力したセッション情報を保存し、次回起動時にも利用可能にします。

▶ これをチェックしなかったときは、セッション情報は今回のみ有効となり、次回 Ftp クライアント起動時にはクリアされますのでご注意ください。

パスワードの保存

「パスワード」フィールドに入力したパスワードを保存したいときは、このチェックボックス をチェックします。 ▶「パスワードの保存」をチェックすると、FTP サーバへの接続時にパスワードの入力が不要にな ります。これは一見便利ですが、PC にアクセスできさえすれば、登録されたユーザの名前で誰でも ログインできてしまうため、セキュリティ的にはおすすめできません。通常はチェックしないまま にしておくことをおすすめします。

次に接続時のデフォルトディレクトリを設定します。「ホスト」タブをクリックし、「リモートディレクトリ」と「ローカルディレクトリ」に接続直後に移動したいディレクトリを指定します。

何も指定しなかった場合のデフォルトは、リモート側がログインしたユーザのホームディレクトリ、 ローカル側は AT-TCP/32 がインストールされているディレクトリとなります。

FTPセッションの新規作成	2	<
FTPセッション ホスト	転送 トラブルシューティング	
ホスト種別(<u>H</u>):	自動判別	
ホ⁰ト番号(<u>P</u>):	21	
🔲 ファイアウォールの)	使用(上)	
リモートディレクトリ(ロ); /home/mikeo	
ローカルディレクトリ(): d¥tmp/download	
	OK キャンセル ヘルプ	

デフォルトディレクトリの設定

日本語ファイル名を使用する場合や、ファイル転送中に漢字コード変換を行いたい場合は、「転送」
 タブをクリックします。以下の説明を参考に適宜設定を行ってください。

Pセッションの新規作成 FTPセッション ホスト 転	送 ┃トラブルシューティング┃		D
┌転送モード①:───	• ፲፻নታሀ	© 72 1 -	
- ファイル名漢字コード(E): ● なし	. O 971JI	S C EUC	
漢字(K): でなし でEUC で旧JIS	〇 シフトJIS 〇 新JIS		
	0	K キャンセル	ヘルプ

転送モードの設定

転送モード

ファイル転送モードを「アスキー」と「バイナリ」から選択します。デフォルトの「アスキー」 はテキストファイルの転送に適したモードで、システムタイプにあわせて自動的に改行コード の変換が行われます。

バイナリファイルを転送する場合は「バイナリ」モードを選択してください。バイナリモード では、コード変換が行われず、ファイルがありのままの形で転送されます。テキストファイル を送信する場合でも、改行コードの自動変換を行いたくない場合は「バイナリ」モードを使っ てください。

ファイル名漢字コード

リモートホストがファイル名に使用している漢字コード(画面表示のコード)を選択します。 これにより、UNIX で使用する漢字コードのファイル名と DOS で使用するシフト JIS コード のファイル名の変換が行われます。

データコード

リモートホストのファイルで使用されている漢字コード、半角カナシフトを選択します。ただ し、転送モードがアスキーの場合にだけ有効となります。

- 5. 以上の設定が終了したら「OK」ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。
- メイン画面左側「すべてのフォルダ」一覧の「FTP セッション」アイコンの下に、登録した FTP セッションのアイコンが表示されます。

5.3 FTP サーバへの接続

1. FTP セッションアイコンをクリックします。



FTP セッションアイコンをクリック

2. セッション登録でパスワードを入力しなかった場合は、次のダイアログが表示されるので、パス ワードを入力して「OK」を押します。

Ftpウライアント	×
パなワードの入力(<u>P</u>):	ОК
************	++>тел

パスワードの入力

3. 「接続」ダイアログが表示され、接続が開始されます。

Ftpウライアント	×
ホスト「flyingjunk.tw.allied-telesis.co.jp」と接続中です	
接続中	

4. 接続に成功すると、メイン画面右側の「開いているフォルダ」に FTP サーバのデフォルトディレク トリ(セッション登録で指定した「リモートディレクトリ」)の内容が表示されます。

Ftp97179N - Flyingjunk Home Direc	story
7ァイル(止) 編集(止) 表示(型) ツール() ヘルプ(日)
🚵 न [°] .२१२७७७° 📃 🧧	3 <u>38 1 1 1 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>
すべてのフォルダ	開いているフォルタミ 'Flyingjunk Home Directory'
a デスウトップ	netfront
亩 <u></u>	🚞 .task
由 🎭 ネットワーク コンピュータ	🗀 .w3m
- 🙆 フリーフケース	📄 archive
一 劉 ごみ箱	🦲 bin
日·蛔 FTPセッション	📄 doc
⊕ ∰ Afrika Home Directory	💼 lib
Flyingjunk Home Directory	🧰 Mail
H ⊡ UD Anonymous FTP	CS RCS
	🔁 SRC
	🧰 tmp
	i www
	(a).cshrc
	emacs
	a) enrc
	in history
	🔊 login
	a).lynxrc
	M.mh_profile
	imikenewsrc
	a rhosts
	(winner)
	Iynx_bookmarks.html
	バイナリ 00/08/16 午前 08:12 //

接続完了

5.4 ファイルの転送

ファイルの転送は、以下の手順で行います。

 転送元のファイルがあるフォルダを選択して、画面右側の「開いているフォルダ」にファイル が表示されるようにします。ここでは、FTP サーバ「Flyingjunk」のホームディレクトリ上の 「tmp/jan.zip」をダウンロードするものとします。



転送元ファイル

 次に、右画面に転送元ファイルを表示させたまま、画面左側の「すべてのフォルダ」でスクロール バー等を操作し、転送先のフォルダが見えるようにします。ここでは、転送先をローカルマシンの 「D:¥tmp」フォルダとします。



転送先フォルダ

ファイル転送には、「FTP セッションの登録」で設定した転送モードがデフォルトとして使われますが、一時的にモードを変更したい場合は、ツールバーの「バイナリ/アスキー」ボタンをクリックして切り換えます。現在選択されている転送モードは、ステータスバーに表示されています。

體 Ftpウライアント - tmp	
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツール() \\I_7'H)
📩 デスウトップ 🔹 [D 38 14 16 18 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
すべてのフォルダ	開いているフォルタ: 'tmp'
🛋 デスウトップ	in reverses
P	🛒 intro1.gif
⊕ - = 0 3.5 1/27 FD (A;) □ - = Paterate 05 (0)	ian.zip
H- Poteneko_95 (C)	psfontutil.tgz
Apple Double	uudec.exe
E Cdroot	
- 🗑 Recycled	
🗄 💼 tmp	
🗄 💼 WinNT4	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
E _ Poteneko_ntprog (G:)	
English2000 (*)	
T - P 'Lilith¥mac¥Tw¥released	
⊕ ⊕ 'Afrika' の sein (S:)	
- 0 予定されているタスク	
7%2%	
由	
「「「」」の相	
ハイアリノアスキーセートで切り替えます…	八千万9 100/08/16 年前 08:53 //

転送モードの切り替え

4. 準備ができたら、転送したいファイルを転送先のフォルダまでマウスでドラッグします。



転送するファイルをドラッグ

5. ファイルが転送されます。

北してはす		X
jan.zip 'Flyingjunk Home Directory'から 'tmp' へ		
13,152 4,096 パイト/秒	4,096 가가 残け約 3 秒	キャンセル

転送中

▼「エクスプローラ」などから、Ftp クライアントにドラッグ&ドロップすることもできます。WindowsNT 上でご使用の場合は、FTP クライアントからファイルマネージャへのドラッグ & ドロップによるコピー はできません。

5.5 ファイルの表示

ファイルの内容を表示させるには、次の手順にしたがいます。

5.5.1 ダブルクリック

表示したいファイルをダブルクリックすると、ファイルタイプにあったアプリケーションが起動され、 ファイルがオープンされます。

▶ このとき起動されるアプリケーションは、Windowsの拡張子関連付け設定に依存します。拡張子の付いていないファイルの場合は、エラーになる場合があります。

- 5.5.2 フローティングポップアップメニュー (テキストビューワ)
 - 1. 表示したいファイルの右クリックメニュー(フローティングポップアップメニュー)から「テキス トビューワ」を選択します。



テキストビューワ

- Ftp クライアントの「ツール」 「FTP オプションの設定」メニューの「一般」タブで設定されて いるテキストビューワを使ってファイルが表示されます。デフォルトのテキストビューワは「メモ 帳」(notepad.exe)です。
- 5.5.3 フローティングポップアップメニュー(開く)
 - 1. 表示したいファイルの右クリックメニューから「開く」を選択します。



開く

2. 関連付け設定にしたがってアプリケーションが起動され、ファイルが表示されます。

5.6 ファイル名の変更

1. 名前を変更したいファイルをマウスで選択します。



ファイルの選択

 ファイル名を再度クリックします。ファイル名の変更が可能であれば(権限があれば)ファイル 名が四角い枠で囲まれ、文字が反転します。



名前の変更

3. 新しい名前を入力し、リターンを押します。



新しい名前の入力

5.7 ファイルの削除

1. 削除したいファイルの右クリックメニューから「削除」を選択します。



削除

2. 「ファイルの削除の確認」ダイアログが表示されます。削除するなら「はい」ボタンをクリックします。



ファイルの削除の確認

3. 選択したファイルが削除されます。

5.8 終了

「ファイル」 「アプリケーションの終了」をクリックします。

5.9 マクロプロセッサ機能

Ftp クライアントには、FTP で行う処理の内容と手順をあらかじめ登録しておき、あとで一括処理させる ことのできるマクロプロセッサ機能が用意されています。この機能は、同じような処理を繰り返すような 場合にたいへん便利です。

5.9.1 マクロコマンド一覧

サブメニュー	コマンド	FTP コマンド
セッション	オープン	FtpOpenSession
	接続	FtpConnect
	切断	FtpDisconnect
	クローズ	FtpCloseSession
サーバ	ホスト名	FtpSetHostName
	ユーザ名	FtpSetUserName
	パスワード	FtpSetPassword
	アカウント	FtpSetAccount
	匿名ログイン	FtpSetAnonymous
	ホスト種別	FtpSetHostType
	ポート番号	FtpSetPortNo
	FireWall の使用	FtpSetUseFireWall
	初期リモートディレクトリ	FtpSetDefRemoteDir
	初期ローカルディレクトリ	FtpSetDefLocalDir
コピー	Get	FtpGet
	Put	FtpPut
	拡張 Get	FtpGetEx
	拡張 Put	FtpPutEx
ディレクトリ	移動	FtpRemoteCD
	削除	FtpRemoteRmDir
	新規作成	FtpRemoteMkDir
ファイル	リモート削除	FtpRemoteDelFile
		-
	ローカル削除	FtpLocalDelFile
	ローカル削除 名前の変更	FtpLocalDelFile FtpRemoteRenFile
コード	ローカル削除 名前の変更 転送モード	FtpLocalDelFile FtpRemoteRenFile FtpSetTransferMode
コード	ローカル削除 名前の変更 転送モード ファイル名漢字コード	FtpLocalDelFile FtpRemoteRenFile FtpSetTransferMode FtpKanjiOfFilename

マクロプロセッサでは、以下のコマンドが使用できます。各コマンドの使用方法については、オンライン ヘルプをご参照ください。

5.9.2 マクロプロセッサの起動

- 1. メニューから「ツール」 「マクロプロセッサの起動」を選択します。
- 2. マクロプロセッサの「メイン画面」が表示されます。



マクロプロセッサのメイン画面

5.9.3 マクロファイルの作成と保存

マクロプロセッサでは、一連の処理を「FTP セッション」という単位で記録します。各セッションには必ず、FTP セッションをオープンする FtpOpenSession コマンドと、クローズする FtpCloseSession コマンドが必要となります。

ここでは、ローカルディスクの HTML および GIF ファイルを、リモートホスト「afrika」のホームにある「www」というディレクトリに転送する FTP セッション「putHTMLtoAfrika」を作成する例をもと に説明します。

- 1. 「Ftp マクロプロセッサ」のメイン画面で、「ファイル」 「新規作成」を選択します。
- 2. メニューから「コマンド」 「FTP セッション」 「オープン」を選択します。

3. 「FTP セッションの新規作成」ダイアログが表示されるので、「FTP セッションの登録」を参考に 「FTP セッション」、「ホスト」、「転送」の各タブで必要な情報を入力して「OK」ボタンを押しま す。次に、ここでの設定例を示します。

FTPセッションの新規作成	×
FTPセッション ホスト 転送	トラブルシューティング
FTPセッション名(S):	putHTMLtoAfrika 参照(B)
ホスト名(<u>H</u>):	afrika.tw.allied-telesis.co.jp 参照(R)
ユーザ"名(山):	sein
^°スワ~ト <u>°(₽</u>):	*****
アカウント(<u>A</u>):	
□ 匿名ロゲイ	ン(M) マ セッションを登録する(E) □ ハウワードの(保存(M)
	OK ++>セル ヘルプ

FTP セッション

FTPセッションの新規作成	ž	×
FTPセッション ホスト	転送 トラフブルシューティング	
ホスト種別(<u>H</u>):	自動判別	
木°ト番号(₽):	21	
🔲 ファイアウォールの	使用(E)	
		
リモートディレクトリ(ロ)): /home/sein/www/test	
ローカルディレクトリ(』	_): d¥doc/html	
	OK ++>1011 /117	

ホスト

Pセッションの新規作成			×
FTPセッション ホスト 転送	トラフドルシューティンクド		
#=`¥T\?T\			
	ार्यमण ०	72+-	
	<u>(1122)</u>	///	
- ファイル名漢字コード(<u>F</u>):	e sature	C EUC	
	0 77500	0 200	
- データコード			
漢字(近):			
O EUC	🖱 971-JIS	O SO/SI	
C IE JIS (○ 新JIS	C ESC(I	

4. 「FTP セッションの新規作成」で「セッションの登録をする」を on にした場合、「セッションの オープン」と「ホストへの接続」の2つのコマンドだけがマクロファイルに書き込まれます。

Ftpマクロフロセッサ	- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) ツール(T) ヘルフ ^ヘ (H)	
EtpOpenSessionS: "putHTMLtoAfrika"	
FtpConnect -S:"putHIMLtoAfrika"	
ヘルフを表示するには [F1] を押してください。	行 2 //

接続コマンド

- 5. 「コマンド」 「コピー」 「Put」をクリックします。
- 6. 「Put-FtpPut-」ダイアログが表示されるので、転送するファイルの名前を指定します。ワイルド カードも指定できます。

Put -FtpPut -		×
FTPセッション:	putHTMLtoAfrika	
ローカルファイル(<u>L</u>):	*.html	
リモートファイル(<u>R</u>):		
	□ リカーシブモード(©)	
	OK ++>>te/ 1/7°(<u>H</u>)	

転送するファイルの指定

Put -FtpPut -		×
FTPセッション:	putHTMLtoAfrika	選択(<u>S</u>)
ローカルファイル(<u>L</u>):	*.gif	
リモートファイル(<u>R</u>):		
	🗖 リカーシブモード©)	
	OK ++>>tell	^ルフ°(<u>H</u>)

転送するファイルの指定2

▶ ディレクトリ階層をコピーする場合は、「リモートファイル」と「ローカルファイル」にディレクトリ 名を入力し、「リカーシブモード」をチェックしてください。 7. Put オペレーションのコマンドが追加されます。

₩ 無題 - Ftoマカフカヤッサ	_	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) ツール(T) ヘルプ(H)		
	<u>)</u>	
FtpOpenSession -S:"putHTMLtoAfrika"		
FtpConnect -S:"putHTMLtoAfrika"		
FtpPut -S: "putHTMLtoAfrika" *.html		
FtpPut -S:"putHTMLtoAfrika" *.gif		
へルプを表示するには [F1] を押してください	最終行	4 //

Put コマンド

- 8. メニューの「コマンド」 「FTP セッション」 「切断」を選択します。
- 9. 「FTP セッションの選択」ダイアログが表示されるので、切断するセッションを選択し、「OK」ボ タンをクリックします。

FTPセッションの選択	×
コマントシ 切断 -FtpDisconnect -	
セッション名	状態
🔋 Flyingjunk Home Directory	登録済み、未使用
Afrika Home Directory	登録済み、未使用
putHTMLtoAfrika	登録済み、使用中
(Þ
- セッションの状態(S)	OK .
○ 登録済みのセッション	
○ 使用中のセッション ● 両プ	5 _ ++>201/
FTPセッション名: putHTMLtoAfrika	

切断するセッションの選択

10. メニューの「コマンド」 「FTP セッション」「クローズ」を選択します。

11. 「FTP セッションの選択」ダイアログが表示されるので、クローズするセッションを選択し、「OK」 ボタンをクリックします。

FTPセッションの選択	×
コマント ³ 「FTPセッションのカロース [*] -FtpClos	seSession -
セッション名	状態
Flyingjunk Home Directory	登録済み、未使用
Afrika Home Directory	登録済み、未使用
putHTMLtoAfrika	登録済み、使用中
Image: A state of the state	F
_ セッションの状態(≦)	OK
○ 登録済みのセッション	
○ 使用中のセッション ● 両方	
FTPセッション名: putHTMLtoAfrika	<u>^ルフ°(H)</u>

クローズするセッションの選択

12. マクロが完成しました。



完成したマクロ

5.9.4 マクロファイルの保存

作成したマクロをファイルに保存するには、次の手順にしたがいます。

1. メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択します。

2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、適当な名前を付けて「保存」ボタンをクリックします。

			? ×
🔁 attop21	-	£ 🖻	
putHTMLtoAfrika.ftp			保存(5)
ATFtp マクロファイル (*.ftp)		-	キャンセル
	igattcp21 putHTMLtoAfrika.ftpl АТFtp 79д77г/⊮ (*.ftp)	PutHTMLtoAfrika.ftp ATFtp ₹90771/J. (¥.ftp)	PutHTMLtoAfrika.ftp ATFtp マグロファイル (*.ftp)

マクロファイルの保存

5.9.5 マクロファイルを開く

ファイルに保存されたマクロを開くには、以下の手順にしたがいます。

- 1. メニューから「ファイル」 「開く」をクリックします。
- 2. 「開く」ダイアログが表示されるので、マクロファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

猒		? ×
ファイルの場所仰	attcp21	🔹 🖻 📸 📰
☐ Mail ∰putHTMLtoAfril	ka ftp	
] ファイル名(N):	putHTMLtoAfrika.ftp	IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII
ファイルクン理実具した	ATEtp 7/0771/2 (*.ttp)	<u>++>tell</u>

マクロファイルを開く

3. Ftp マクロプロセッサのメイン画面に選択したマクロファイルが表示されます。

5.9.6 マクロの実行

マクロを実行するには、次の手順にしたがいます。

1. メニューから「コマンド」 「実行」を選択します。

パスワードの入力を促すダイアログが表示されるので、FTP サーバにログインするためのパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。入力されたパスワードは「******」のように伏せ字で表示されます。

×
OK
キャンセル

パスワードの入力

3. マクロコマンドが実行されます。

北~しています	X
Polosooblataa-1 html	
html'から 'putHTMLtoAfrika' へ	
	++>U
3,538	0 እነዥ

マクロ実行中

- 5.9.7 マクロプロセッサの終了
 - 1. メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。
第6章

Ftp サーバ

「Ftp サーバ」は、Windows マシンを FTP サーバとして使用するためのプログラムです。設定によって、 サーバにアクセスできるホストを制限することもできます。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.101)
- 🛯 設定 (🖙 p.102)
- □ 終了 (☞ p.106)

6.1 起動

「Ftp サーバ」を起動すると、そのコンピュータは自動的に FTP サーバとなります。

1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Ftp サー バ」の順に選択します。

2. メイン画面が表示されます。

割無題 - Ftpサーバ ファイル (F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) ヘルプ(H) D G		
「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「		
		~
ヘルプを表示するには [F1] を押してください…	接続ユーザ数:	0 //,

メイン画面

6.2 設定

デフォルトの設定では、あらゆるホストから誰もがコンピュータ(およびそのファイル)にアクセスできてしまいます。Ftp サーバでは、以下の手段によって、アクセスに制限をかけることができます。

アクセス許可ホストの設定

FTP サーバにアクセス (接続) できるホスト (コンピュータ)を制限する

パスワードの設定

FTP サーバにアクセス(ログイン)できるユーザーを制限する。正しいユーザ名とパスワードを 知っている人しかログインできなくします。

6.2.1 アクセス許可ホストの設定

FTP サーバにアクセスできるホストを制限するには、以下の手順にしたがいます。

1. メニューから「設定」 「アクセス許可ホストの設定」を選択します。

2. 「アクセス許可ホストの設定」ダイアログが表示されます。「ホスト名の直接入力」にアクセスを許可するホスト名を入力します。



許可するホストを入力

または「HOSTS ファイルから選択」の「読み込み」ボタンをクリックし、その中から選択することも可能です。

アクセス許可ホストの設定			х
アクセス計・可ホストー「覧(止): alice 前(余(<u>D</u>)	<u></u>	ホスト名の直接入力型: HOSTS 7ァイルから選択(S): localnost mikeneko.mikepnet.co.jp potegw.potepnet.co.jp shiropotepnet.co.jp suzutabirds.or.jp 読み込み(B)	
ОК	キャンセル		

HOSTS ファイルから選択

- 3. アクセスを許可するホストを入力または選択したら、ダイアログの中央にある左向き矢印をクリッ クしてください。
- 4. 「アクセス許可ホスト一覧」にホスト名が追加されます。

アクセス許可ホストの設定		×
アクセス許可ホスト一覧(山): afrika alice epitaph 肖明余(ロ)	<u> </u>	ホスト名の直接入力型: HOSTS ファイルから選択(S): localhost mikeneko.mike.pnet.co.jp potegw.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp shiro.pote.pnet.co.jp
ОК	キャンセル	<u>^/l/7°(H)</u>

アクセス許可ホスト一覧

▼「アクセス許可ホストー覧」からホストを削除したいときは、そのホスト名を選択し、「削除」ボタン をクリックしてください。 5. 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックしてください。メイン画面の「アクセス許可ホスト」に アクセスを許可するホストの一覧が表示されます。

<mark>劇</mark> 無題 - Ftpサーハ [®]	_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 設定(S) ヘルプ(H)	
DFI XER ?X	
「 <u>ライトフロテクト(W)</u> 」 ハパスワート1こよるアクセス制限(P):	
- アクセスは午可ホスト(<u>A)</u> afrika alice epitaph	
	<u>_</u>
	v
ヘルプを表示するには [F1] を押してください	接続ユーサ数: 0 //

メイン画面のアクセス許可ホスト一覧

「アクセス許可ホスト」にホスト名が表示されている場合は、表示されているホストからしか接続 できなくなります。

「アクセス許可ホスト」が空の場合は、どのホストからでも接続できます。

6.2.2 ユーザ/パスワードの設定

ローカルファイルへのアクセスを、特定のユーザだけに制限するには、次の手順にしたがって、ユーザ名 とパスワードを登録します。

- 1. メニューから「設定」 「パスワードの設定」を選択します。
- 2. 「パスワードの設定」ダイアログが表示されるので、「新規作成」ボタンをクリックします。

パスワードの設定			×
ユーザ名(<u>U)</u>	デンォルトティレクトリ	設定済	閉じる(<u>C</u>)
			新規作成(N)
			変更(E)
			前17余(<u>D</u>)
			<u>^⊮フ°(H</u>)

パスワードの設定ダイアログ

3. 「ユーザ情報の設定」ダイアログが表示されるので、アクセスを許可するユーザの情報を入力して、 「OK」ボタンを押します。

2ーザ)情報の設定			
- ユーザの設定: ユーザ名(U): パなワード(P):	mikeo ********	変更(山)	ОК ++) till
フルネーム(E): テウォルトティレクトリ(E): コメント(Q):	Mikeo DAIDAI d¥doc	参照(<u>B</u>)	<u>(H)</u>
 アクセス調牛可ディレクトリの調査 D:¥doc¥ 	Е(<u>A</u>):	晋山居全(の)	
D:+doc+		削除(<u>D</u>) 参照(<u>W</u>)	

ユーザ情報の設定

ユーザ名

Ftp サーバにログインするためのユーザ名です。

パスワード

Ftp サーバにログインするためのパスワードです。

フルネーム

該当ユーザのフルネームです。

デフォルトディレクトリ

該当ユーザがログインした直後のカレントディレクトリを指定します。

コメント

該当ユーザについてメモを入力できます。

アクセス許可ディレクトリの設定

該当ユーザがアクセスできるディレクトリを指定します。「参照」ボタンを押してリストから ディレクトリを選択してください。無指定の場合はサーバ上のすべてのディレクトリにアクセ スできます。

4. 「パスワードの設定」ダイアログに戻るので、「閉じる」をクリックします。

パスワードの設定			×
ユーザ名(山)	デフォルトティレクトリ	設定済	
mikeo	d:¥doc	*	閉じる(©) 💦
			新規作成(N)
			変更(E)
			肖耶余(<u>D</u>)
			<u>^⊮7°(H</u>)

パスワードの設定を閉じる

5. メイン画面の「パスワードによるアクセス制限」に、登録したユーザの情報が表示されます。

割無題 - Ftpサーバ					_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	設定(S)	^/レフ°(<u>H</u>)			
	? №				
□ 57F71575FW)	- ハ°スワート1:	こよるアクセスド	制限(<u>P</u>): ——		
ーアクセス計可木スト(<u>A</u>): afrika alice epitaph	mikeo	d:¥doc	*		
					*
, ^ルプを表示する!こは [F1] を押!	してください			接続ユー	ザ数:0 //

メイン画面のユーザー覧

「パスワードによるアクセス制限」にユーザ名が表示されている場合は、表示されているユーザし かログインできなくなります。しかも、ログインにはパスワードが必要になります。 「パスワードによるアクセス制限」が空の場合は、ユーザ名に関係なくログインできます。また、

「ハスワートによるアクセス制限」が空の場合は、ユーリ名に関係なくロクイノできます。また、 パスワードは聞かれません。

ユーザ情報の保存

登録したユーザ/パスワードの情報は以下の手順でファイルに保存できます。

- 1. メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択します。
- 2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、適当なファイル名を指定して「保存」をクリックします。拡張子は「.pwd」となります。

保存したユーザ情報ファイルの読み込み

保存したユーザ情報ファイルを開くには、次の手順にしたがいます。

- 1. メニューから「ファイル」 「開く」を選択します。
- 2. 「開く」ダイアログが表示されるので、ファイル名を指定して「開く」をクリックします。

6.3 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。

第7章

Ping ユーティリティ

「Ping ユーティリティ」は、指定したホストとの間で TCP/IP の通信ができるかどうかを確認するネットワーク診断用のアプリケーションです。

本ユーティリティは、通常の ping に加え、リモートホストまでの経路を調べる traceroute 機能を持って います。

なお、本ユーティリティは、一般的な ping/traceroute コマンドが持つオプションをすべて実装している わけではありませんのでご注意ください。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.107)
- □ ping の実行 (☞ p.108)
- レースルートの実行 (マ p.109)
- □ 終了 (☞ p.110)

7.1 起動

1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Ping ユー ティリティ」の順に選択します。 2. メイン画面が表示されます。デフォルトは PING モードです。

◎ Ping고─〒개구ィ		_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) オプション(O) ヘルプ(H)		
ホスト名(12): 回数(12): 回数(12):	開始(<u>S</u>)	
		4
ヘルプを表示するには [F1] を押してください…	送信パケット数: () //

メイン画面

- 7.2 ping の実行
 - 1. リモートホストのホスト名(または IP アドレス)と、ping パケットの送信回数を指定し、「開始」 ボタンをクリックします。

👰 Pingユーティリ	₹4				-	. 🗆 🗙
ファイル(E) 編	集(E) 表示(⊻)	コマンド(<u>C</u>) ジ	わション②	^ルフ°(<u>H</u>)		
	R ? R					
ホスト4	Z(<u>N</u>): ∫mikenek	• •	[回数(1): 5	開始⑤	

ping の開始

2. ping が開始されると、送信パケット数、受信パケット数、成功率、応答時間(平均応答時間)など がリアルタイムに表示されます。

<mark> </mark>	表示(V) 表示(*(<u>C</u>) オフ*ション	v(Q) ∧∦J?°(<u>H</u>)				<u>- 0 ×</u>
	१ №						
ホスト名(N):	mikeneko	•	回数(T): 5			開始(S)	
[mikeneko : 1 送信パケット数 送信パケット数 送信パケット数 送信パケット数 送信パケット数	92.168.3.42] 1 / 受信) 2 / 受信) 3 / 受信) 4 / 受信) 5 / 受信)	۱°ケット数 ۱°ケット数 ۱°ケット数 ۱°ケット数 ۱°ケット数	1 (100 %) 2 (100 %) 3 (100 %) 4 (100 %) 5 (100 %)	応答時間 応答時時間 応答時間間	0 ミリ秒 0 ミリ秒 0 ミリ秒 0 ミリ秒	(平均 0 ミ (平均 0 ミ (平均 0 ミ (平均 0 ミ (平均 0 ミ	リ り り り り り り り り り り り り り り り り り り り
T							V
ヘルフ℃を表示するには	[F1] を押してくだ	きしい			送信	言パクット数: !	5 //

ping の結果表示

▶ 成功率が90%以下のときは、オプションメニューでインターバルタイマやタイムアウトの値を大きくしてみてください。タイマが短すぎると、リモートホストからの応答が帰る前に、タイムアウトになる可能性があります。

▶ ping に失敗した場合は、ローカルホストの TCP/IP 設定が正しくない、リモートホストが停止している、または、ネットワークに接続されていない、などの理由が考えられます。

3. パケットの送信を途中で停止するには、「停止」ボタンをクリックしてください(pingを開始する と「開始」ボタンが「停止」ボタンに変わります)。

🙀 Ping ユーティリティ			
ファイル(E) 編集(E)	表示(V) コマンド(C) オプション(Q)) ^ルフ°(<u>H</u>)	
	? №		
市자名(11):	mikeneko	回戡(1): 5	TATE



7.2.1 インターバルタイマの変更

- 1. メニューから「オプション」 「オプションの設定」を選択します。
- 「オプションの設定」ダイアログが表示されます。「インターバル」フィールドに1~1000(秒)
 の範囲で整数値を入力します。デフォルトは1秒です。

わりゅうの設定			×
- 受信データの表示(<u>R</u>):			OK
• 新規	○ 追加		キャンセル
データ長(<u>D</u>):	56	が仆	デブォルト(<u>E</u>)
ብン <u>ጵ</u> −.バル(<u>T</u>):	1	秒	^ルフ°(<u>H</u>)
最大中維ホスト数(<u>M</u>):	5		
ጵብሬፖሳት(<u>O</u>)፡	3	秒	
🗖 叔小名表示(11)			

「オプションの設定」ダイアログ

3. 入力したら「OK」ボタンをクリックします。

7.3 トレースルートの実行

トレースルートモードでは、指定したホストまでの経路(通過するルーター)を調べることができます。 このモードは、ネットワークのより詳細なメンテナンスに使用します。 1. 「コマンド」 「トレースルートモード」をクリックします。

👰 Pingユーティリティ					_ 🗆 ×
ファイル(Ĕ) 編集(Ĕ)	表示⊙	()	オプション(型)	_^ルフ°(<u>H</u>)	
	? №	 PINGモート トレースルー 	.*(₽) \₹` - *(<u>T</u>) ⊾		
ホスト名(<u>N</u>):	mikenek		- -	, 回数(T): 5	開始(S)

トレースルートモードへの切替え

▶ トレースルートモードから PING モードへ切り替えるときは、「コマンド」 「PING モード」をクリックします。

2. リモートホストのホスト名(または IP アドレス)を入力し、「開始」ボタンをクリックします。

💮 Pingユーティリティ			
ファイル(E) 編集(E)	表示(V) コマンド(C) オブシ	⊒ン(<u>O</u>) ^ルフ°(<u>H</u>)	
	? №		
ホスト名(<u>N</u>):	mikeneko 💌	回数(T): 5	開始(S)入

トレースルートの開始

3. トレースルートの結果が表示されます。

👰 Ping그-코생코ィ	- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) オブション(Q) ヘルプ(H)	
ホスト名(M): mikeneko マ 回鉄(T): 5 開始(S)]
[mikeneko : 192.168.3.42] 1: 192.168.1.1 応答時間 0 到秒 2: 192.168.100.32 応答時間 10 到秒 3: 192.168.3.42 応答時間 0 到秒 9-ゲットホストに到達しました。	4

トレースルートの結果表示

7.4 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。

第8章

リモートプリント

「リモートプリント」は、ネットワーク上のプリンタにファイルを出力するプログラムです。

本プログラムは、UNIX の lpr をエミュレートするため、プリンタは必ず lpd (UNIX-style line printer daemon) が起動されているサーバに接続する必要があります。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.111)
- □ 基本設定 (☞ p.111)
- □ 印刷 (☞ p.112)
- □ プリントオプション (☞ p.113)
- □ 終了 (☞ p.114)

8.1 起動

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「リモート プリント」の順に選択します。
- 2. メイン画面が表示されます。

8.2 基本設定

1. メイン画面で、LPR サーバ、プリンタ名、ユーザ名、印刷書式等、「リモートプリント」を使って 印刷する際の諸条件を設定します。 ここでは、LPR サーバを alice、プリンタ名を lp、ユーザ名を sein、印刷書式をテキストファイル フォーマットとする例を示します。

<mark>읍</mark> //モートフ [%] /ント	
ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(H)	
設定情報 LPR サーハ [*] ⑤: elice.tw.allied-tel ▼ 出力部数(い): 1 フリンタ名(B): [□ ▼ タイムアウト(値(T): 10 秒 ユーザ [*] 名(い): sein □ 自分のジョンのみ表示(①) 印刷書式(M): 「テキストファイルフォーマット(通常) ▼ EII同の中止(E) ランク オーナー ジ [*] ョフ [*] ファイル	ED刷(P) フリントキュー(Q) ジョフ省印除(D) ジョフ*全削除(A) テウォルト(L) 終了(C)
ヘルブを表示する!こ!ま [F1] を押してください	

メイン画面

LPR サーバ

プリンタサーバのホスト名を指定します。

プリンタ名

サーバ側で定義されているネットワーク上のプリンタ名を指定します。

ユーザ名

プリンタを使用するユーザの名前を指定します。

印刷書式

印刷するファイルの書式を設定します。通常はテキストファイルフォーマット(デフォルト) を設定します。

テキストファイルフォーマット以外の書式については lpd 側にそれらを印刷するためのプリン タ名 (プリンタエントリ)がなければなりません。

- 8.3 印刷
 - 1. メイン画面の「印刷」ボタンをクリックします。「プリントファイル名の入力」ダイアログが表示 されるので、印刷したいファイルの名前を入力し、「OK」をクリックします。

フツントファイル名の入力			×
フリントするファイル名を	8入力してください:		
"D:¥doc¥history.txt	t″		
······		(4 JTT (=)	
<u> </u>		参照(<u>B</u>)	<u>(H)</u>

印刷ファイルの指定

プリントファイル確認」のダイアログが表示されるので、ファイル名を確認し、「OK」をクリックします。



印刷ファイルの確認

 ステータスバーに「ファイル名: <filename> をプリント中」と表示されます。この表示が消えた ら、プリント終了です。

, ファイル D.¥doc¥history.txt をフツント中		//.
	印刷中	

8.4 プリントオプション

印刷書式がテキストファイルモードか PR 印刷の場合、「プリントオプション」メニューでさらに細かい印 刷設定を行うことができます。

ここではよく使用されると思われる項目についてのみ説明しますので、その他の項目については、オンラ インヘルプをご参照ください。

- 1. メニューから「表示」 「オプション設定」を選択します。
- イプションの設定」ダイアログが表示されるので、このダイアログの「プリントオプション」で 設定を行います。

ブションの設定		>
□ 直動フラリントキュー情報の表示(Q)	○ 出力しない	● 出力する
	クラス(<u>C</u>):	
I DESC-SC/1 (\ <u>r</u>)	ジョブ名(型):	
- プリントオプション:		04
🔲 JIS 変換(J) 7判ソ物(7*(D) PC	>-PR系	
□ 改百コードの送出(E) □	CR+LF 変換(L)	キャンセル
□ タブストップの設定(B)	灯術鼓(A): 8	デフォルト(<u>D</u>)
□ ハ [*] イナリファイルチェック(N)		^/µ7°(<u>H</u>)

オプションの設定

- 3. 印刷時に、漢字コードをシフト JIS コードから JIS コードに変換して LPR サーバに送信することが できます。この機能は、LPR サーバ側に漢字コード変換機能がない場合に使います。
 - (a) 「JIS 変換」をチェックします。
 - (b) 「プリンタタイプ」が選択できるようになるので、プリンタサーバに接続されているプリンタのタイプを選択します。各プリンタがサポートしているプリントエスケープコードについては オンラインヘルプをご参照ください。
- 4. 印刷終了時にプリンタへ改頁コードを送出するには、「改頁コードの送出」をチェックしてください。
- 5. 印刷を開始する前に、選択されたファイルがバイナリファイルかどうかをチェックし、バイナリ だった場合は警告メッセージが表示されるようにするには、「バイナリファイルチェック」をチェッ クします。

印刷ファイルがバイナリファイルだった場合は、次のメッセージが表示されます。

リモートフリン	
?	ファイル G¥bin¥attop21¥adrbook.dll は、パイナリデータファイルの可能性があります。 このファイルを印刷しますか?
	It. W TRIZEN

バイナリファイル

8.5 終了

メイン画面の右にある「終了」ボタンをクリックします。またはメニューから「ファイル」 「アプリケー ションの終了」を選択します。

第9章

プリンタサーバ

「プリンタサーバ」は、Windows マシンを lpr サーバや lpbios サーバといった、スプール機能付きのプリンタサーバにするプログラムです。

「プリンタサーバ」の起動されたコンピュータは、ネットワーク内のコンピュータおよびサーバからの lpr、lpq、lprm、lpbios 要求を受けて実行します。

▶「プリンタサーバ」は、テンポラリディレクトリにスプールファイルを作成するので、テンポラリディレクトリの作成場所にご注意ください。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.115)
- □ プリンタの選択 (☞ p.116)
- □ 終了 (☞ p.117)

9.1 起動

「プリンタサーバ」を起動するとそのコンピュータは自動的にプリンタサーバとなります。

1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「プリンタ サーバ」の順に選択します。 2. メイン画面が表示されます。

晋 フツンタサーバ					- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オプション(<u>0</u>)	^/μフ°(<u>H</u>)			
x B B ? N?					
					<u></u>
└─┘ ^ルプを表示するには [F1] を担	叱てください…				

メイン画面

9.2 プリンタの選択

デフォルトでは、Windows で設定された「通常使用するプリンタ」が使用されますが、他のプリンタを 使うこともできます。

- 1. メニューから「ファイル」 「プリンタの設定」を選択します。
- 2. 「プリンタの設定」ダイアログが表示されるので、使用するプリンタを選択して「OK」ボタンを押 します。

フリン	奶設定				? ×
	7リンターーーー アリンタ名(N): 状態: 種類: 場所: コメント:	¥¥TUBAQUA¥803F.spl ¥¥TUBAQUA¥803F.spl Acrobat Distiller Acrobat PDFWitter Canon LASER SHOT LBP-730PS 5F		7	"ኪハ [;] ティ(<u>₽</u>)
	用紙 サイズ(乙): 給紙方法(S):	A4 自動選択	•	-印刷の向: A	き で縦(Q) で横(<u>A</u>)
	ネットワーク(<u>W</u>)	1		OK	キャンセル

プリンタの選択

9.3 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。

第10章

Tftp クライアント

「Tftp クライアント」は、Windows 用の TFTP (Trivial File Transfer Protocol) クライアントアプリケー ションです。

「Tftp クライアント」は、主にネットワークメンテナンス用に使用します。

Topics:

- 🛯 起動 (🖙 p.119)
- コアイル転送 (☞ p.120)
- □ 終了 (☞ p.124)

10.1 起動

 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Tftp ク ライアント」の順に選択します。 2. メイン画面が表示されます。

🚺 Tftpクライアント			_ 🗆 ×
7ァイル(ヒ) 編集(ヒ) 表示	(型) コマント(型) 設定(型) ヘルフ(円)		
_ ^{ローカル:}			
ハ [®] ス(<u>A</u>):	g:¥bin¥attcp21	ホスト名(0):	
ファイル検索(T):	*.*	1	-
		ファイル名(L):	
771ル名型:			
adrbook.dll atcrvpt.exe			
atcrypti.dll atcrypti.hlp		- モート*(<u>M</u>):	
atcryptz.dll atdhk.dll		© 72+- O A	ドイナリ
atduc.exe atducj.cnt		┌上書き確認(⊻):	
atduci.dll atduci.hlp		© (\$t) ⊂ t	
atftpdrv.ico		77√∥ Get(<u>G</u>)
	ファイル名変更(<u>N</u>) 削除(<u>D</u>)	ファイル Put(<u>P</u>)
 ^ルプを表示する!こは [F1] を	を押してください	J	

メイン画面

10.2 ファイル転送

10.2.1 Put

ローカルからリモートへ転送する場合に使用します。

1. 「ローカル」で、転送するファイルのパス、ファイル名を指定します。

1 Tttp97772ト ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマント(C) 設定(S) ヘルフ(H)	
x B C 2	
۸°ス(<u>A</u>): d¥doc¥tmp	ホスト名(<u>O</u>):
ファイル名仰: grep.tar.gz	ファイル名(L):
5073_ATM_API_Winpdf 5178_PFM.pdf acro.xwd DemoShield6_51EvaluationEdition.exe edbin213.lzh fontlist.log fontlist.log fontlistdialog.tif fontsample.pdf fontsample.ps fontsample.pdf sten.ta.eze	 モード(位): ● 7スキー ● ハイナリ 上書き確認(少): ● いいえ
htmldoc.tgz	7711, Get(<u>G</u>)
	77(∥ Put(<u>P</u>)
/ ヘルフを表示するには [F1] を押してください…	11.

ローカルファイル名の指定

 「リモート」で、転送先のホスト名を指定します。ホスト名を入力すると「モード」が選択可能に なるので、ファイルのタイプに合わせてモードを選択します。デフォルトは「アスキー」です。バ イナリファイルの場合は「バイナリ」を選択します。

💽 Tftp/ን-(ፖ)-ኑ	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) 設定(S) ヘルプ(H)	
<u>п</u> -л <i>и</i> :	
۸°ス(<u>A</u>): d¥doc¥tmp	ホスト名(<u>O</u>):
,,, 」 ファイル検索(エ): *.*	alice.tw.allied-telesis.co.jp
	7ァイル名(山):
5U/3,AIM,APLWin,pdf	
DemoShield6_51EvaluationEdition.exe edbin213.lzh	- ₹-ト*(<u>M):</u> ○ 72≠- ○ (X777) >
fontlistlig fontlistdialog.bmp	
fontistialog.tr fontsample.pdf fontsample.pdf	
fontsamples.pdf grep.tar.gz	7. (1.0.10)
Intmidoc.tgz	77410 Ger(<u>G</u>)
	ファイル Put(<u>P</u>)

リモートホスト名の指定

 転送時にファイル名を変更したい場合は、「リモート」の「ファイル名」に変更後のファイル名を入 力します。ファイル名を入力すると、「上書き確認」が選択可能になるので、転送先に同じ名前の ファイルがあった場合に上書き確認のメッセージを表示するかどうかを選択します。デフォルトは 「はい」です。

🚺 Τftpクライアント		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) 影	定(S) ヘルプ(<u>H</u>)	
X B B ?		
口-力ル:		Ut-k:
איז (<u>A</u>): d:¥doc¥tmp		ホスト名(<u>O</u>):
		alice.tw.allied-telesis.co.jp
ファイル名の: grep.tar.gz		77(11名(1):
15072 ATM API Winedf		grep.tgz
5178_PFM.pdf acro.xwd	Ê	
DemoShield6_51EvaluationEdition.exe edbin213.lzh fontlist log		 C 7 スキー C 7 スキー C パイナリ
fontlistdialog.bmp fontlistdialog.tif		
fontsample.pdf fontsample.ps fontsample.p.pdf		© lativ 🔓 🔿 tvituž
grep.tar.gz htmldoc.tgz	v	ファイル Get(<u>G</u>)
再表示(<u>R</u>) 771ル名変更(<u>N</u>)	削除(<u>D</u>)	771/l Put(<u>P</u>)
↓ ^ルフ⁰を表示する!こは [F1] を押してください…		

リモートファイル名の指定

4. 設定が終了したら「ファイル Put」ボタンをクリックするか、「コマンド」 「ファイル Put」をク リックします。

🚺 Tftpクライアン	ŀ							_ 🗆 ×
ファイル(E) 編	集(E) 表示	C) אעדב (<u>V</u>).	設定(S)	^ルフ°(<u>H</u>)				
X 🖻 🖬	8							
						!t~h:		
ハ°ス(<u>A</u>):		d:¥doc¥tmp				ホスト名(○):		
 ファイル検索(<u>T</u>):	*.*			—	alice.tw.allied-	telesis.co.jp	•
7ァイル名(1):		grep.tar.gz			-1	ファイル名(止):		
5073 ATM	API Win odf							
5178_PFM. acro.xwd	pdf					(M):		
edbin213.lz	d6_51Evalua sh	itionEdition.exe				C 72+-	💿 চাপ্বসূচ্য	
fontlistdial fontlistdial	og.bmp og.tif					∟上書き確認(⊻)		
fontsample fontsample	e.pdt e.ps es.pdf					💿 (\$U)	O いいえ	
grep.tar.gz htmldoc.tg	2				•	77	v(∥ Get(<u>G</u>)	
再表示	®	ファイル名変更(ト	Ð	削除(<u>D</u>		77	PT/l Put(P)	
ヘルフを表示す	ธเสส (F1)	を押してください						11.

Put

5. ファイルがリモートへ転送されます。

Tftpクライアント
ファイル grep.tar.gz を転送中です…
ባ እኝቶ
<u>₹+ン/セル</u>

Put 中

10.2.2 Get

リモートからローカルへ転送する場合に使用します。

「リモート」で転送元ファイルのあるホスト、ファイル名を指定します。
 ホスト名とファイル名を指定すると、「モード」と「上書き確認」が選択可能になります。ファイルのタイプに合わせてモードを選択し、上書き確認のメッセージを表示するかどうかを選択してください。

💽 Tftpb5ብፖント	_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) 設定(S) ヘルプ(H)	
л-ли:	VT~k
۸°ス(<u>A</u>): g:¥bin¥attcp21	ホスト名(①):
	alice.tw.allied-telesis.co.jp
 ファイル名仰:	ファイル名(L):
adrbook.dll	11pote-152-img.tar.gz
atcryptize	
atoryptzdli atdhk.dli	O 72‡- O MET
atduc.exe	上書き確認♡:
atduci,dli atduci,hlp atducz dli	● はい C いいえ
atftpdrv.dll atftpdrv.ico	ファイル Get(<u>G</u>)
	77√∥ Put(<u>P</u>)

リモートファイルの指定

2. 「ローカル」の「パス」に転送先のディレクトリを指定します。

転送時にファイル名を変更したい場合は、「ローカル」の「ファイル名」に変更後のファイル名を入 力します。

<mark>M Tftpクライアント</mark> ファイル(E) 編集(E) 表	示(V) コマンド(C) 設定(S) ヘルプ(H)	_ _ ×
X 🖻 🛍 🖸 💈	2	
「 ^{ローカル:}		
א°ג(<u>A</u>):	d:¥tmp	ホスト名(<u>○</u>):
 ファイル検索(<u>T</u>):	*.*	alice.tw.allied-telesis.co.jp
	11po-152 tg2	77(ル名(山):
7 Min-6 Q.		11pote-152-img.tar.gz
emacs.sei fencotxat.exe	` _	- 186.0
jan.zip pgrep.pl		C 72+- © バイナリ
[la100pciv2]		
[pcctx] [-A-]		●はい ●いいえ
[-U-] [-D-] [-E-]	<u> </u>	771∥ Get(<u>G</u>)
再表示(<u>R</u>)	ファイル名変更(N) 削除(D)	ファイル Put(<u>P</u>)
 ^ルプを表示するには [F1]]を押してください…	

ローカルファイル名の指定

- 3. 必要な情報を指定したら、「ファイル Get」をクリックするか、「コマンド」 「ファイル Get」を 選択します。
- 4. ファイルの転送が行われます。



Get 中

10.3 終了

メニューから「ファイル」「アプリケーションの終了」を選択します。

第11章

Tftp サーバ

「Tftp サーバ」は Windows マシンを TFTP サーバにするためのプログラムです。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.125)
- ゴ ディレクトリの設定 (☞ p.126)
- □ サーバの開始と停止 (☞ p.127)
- □ 終了 (☞ p.128)

11.1 起動

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Tftp サー バ」の順に選択します。
- 2. メイン画面が表示されます。

🔯 Tftpサー	パ [OFF]						
ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	実行(<u>R</u>)	設定(S)	^/μフ°(<u>H</u>)			
設定され	はたディレクトリ	:					
d¥tftpbc	ot (Defaul	t R/W					
							開始(A)
\$14	IP ፖԻኒ	xر،	ホ ∿−Ւ	xyセージ			
					E	3	設定:
							<u> </u>
							ディレクトリ(<u>D</u>)
						-1	その他(<u>M</u>)
					Þ		

メイン画面

11.2 ディレクトリの設定

TFTP でアクセスできるディレクトリの設定を行います。

- 1. メニューから「設定」 「ディレクトリの設定」を選択します。
- 「ディレクトリの設定」ダイアログが表示されます。ディレクトリ名を入力または「参照」ボタン で選択し、パーミッションを適宜設定してから「追加」ボタンを押します。

ディレクリの設定 ディレクリの設定(S):	× 道加 <u>代、</u> 参照(B).
- 設定されたディレクトリ(P):	編集(£) 削除(<u>0</u>)
OK +++>tell	NI7°(<u>H</u>)

ディレクトリの追加

「デフォルト」をチェックすると、そのディレクトリはデフォルトディレクトリとなり、クライアントはパス指定なしでファイルにアクセスできます。デフォルトでないディレクトリにアクセスする場合は、クライアント側でフルパス指定が必要です。

3. 「設定されたディレクトリ」に追加したディレクトリが表示されます。「OK」ボタンを押してダイ アログを閉じてください。

ディレクトリの設定	×
「デルクドリの設定(S):	
d:¥tftpboot	這加A
▼ 読み込み(B) □ 上書き(Q)	参照(B)
▼ 書き込み(W) ▼ デフォルト(T)	
- 設定されたディルクトリ(E):	
d:¥tftpboot (Default R/W)	
	肖·『珍余(<u>D</u>)
ОК + +уън	^⊮7°(<u>H</u>)

設定されたディレクトリ

4. メイン画面の「設定されたディレクトリ」にディレクトリ名が表示されます。

🚺 Tftpサー	A [®] [OFF]				
ファイル(<u>E</u>)	編集(E)	実行(<u>R</u>)	設定(S)	^ルフ°(<u>H</u>)	
設定され	たディレクトリ				
d:¥tftpbo	ot (Defaul	t R/W)			開始(<u>A</u>)

11.3 サーバの開始と停止

1. Tftp サーバを開始するには、メニューの「実行」 「開始」を選択するか、メイン画面の「開始」 ボタンをクリックします。

設定(S)	^ルプ(<u>H</u>)		
			開始(<u>A</u>)
₩~-ŀ	メッセージ		
		<u> </u>	設定
			<u> </u> \$イムアウト(<u>T</u>)
		-	その他(M)
		Þ	J]
	設定(<u>S</u>) ホ ^ĸ ート	設定(S) ヘルフ*(H) ポート メッセージ	設定(S) ヘルフ ⁽ (H) ポペート メッセージ [、]

開始

2. サーバプロセス実行中は、「開始」ボタンが「停止」ボタンになり、メッセージフィールドにサーバ の動作ログが表示されます。

メイン画面のディレクトリー覧

3. Tftp サーバを停止するには、メニューの「実行」 「停止」を選択するか、メイン画面の「停止」 ボタンをクリックします。

🔯 Tftpサー	л° [ON]				
ファイル(<u>F</u>)	編集(E)	実行(<u>R</u>)	設定(S)	^ルフ°(<u>H</u>)	
設定され	たディレクトリ	:			
d:¥tftpbo	ot (Defaul	t R/W)			停止(P)
知么	IP ፖኑኒ	z	ホ° −ト	メッセージ	
11:58:41 12:00:00	150.87.28. [°] 150.87.28. [°]	126 103	[69] [3059]	サーバ開始 読み込み要求:ファイノ] 設定:
12:00:00	150.87.28.1	103	[3059]	パス d:¥tftpboot¥t• ;	<u> </u>
					<u>テ</u> ゙ィレクトリ(<u>D</u>)
					その他(<u>M</u>)

停止

11.4 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。

第12章

リモートコマンド

「リモートコマンド」は、Windows PC 上から、リモートの UNIX ホストに対して、r コマンド (rcp、 rsh)を実行するためのプログラムです。「リモートコマンド」を使うと、UNIX ホストとの間でファイル のコピー (転送)を行ったり、UNIX ホストに任意のコマンドを実行させたりすることができます。

また、「リモートコマンド」では、スクリプトファイルを作成して、リモートコマンドを連続実行すること もできます。

Topics:

- □ リモートホスト側に必要な環境と設定 (☞ p.129)
- □ 起動 (☞ p.131)
- □ r コマンドの実行 (☞ p.132)
- □ スクリプトファイルの使用 (☞ p.136)
- □ 終了 (☞ p.139)

12.1 リモートホスト側に必要な環境と設定

r コマンドを使用するためには、リモートの UNIX ホストに以下の設定が必要となります。ただし、r コ マンドの設定を施すことは、UNIX システムのセキュリティレベルを低下させる可能性がありますので、 厳密なセキュリティが必要な場合は十分にご注意ください。

12.1.1 r コマンドをサポートしていること

r コマンドは、もともと BSD 系 UNIX のコマンドです。r コマンドを使用するためには、リモートホスト にr コマンドのサーバプロセス (rshd: リモートシェルサーバ)が必要です。さらに、rshd が動作可能な 状態になっている必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。 12.1.2 ユーザアカウントがあること

r コマンドを実行するには、リモートホストに自分のユーザアカウントがなくてはなりません。具体的に は、リモートホスト上で次の設定が行われている必要があります(BSD系 UNIX における例)。

- 1. ユーザ名が /etc/passwd ファイルに登録されていること。
- 2. パスワードが /etc/passwd ファイルに登録されていること。パスワードなしは無効です。
- 3. ホームディレクトリが作成されていること。

▶ なお、リモートホスト側で、シェル起動時に stty、tset、resize などの画面設定コマンドが実行されるよう になっている場合、rsh、rcp コマンドはエラーを発生し、うまく動作しません。たとえば、C シェルをご使用 の場合、これらの画面設定コマンドは ~/.cshrc ファイルではなく~/.login ファイルに記述してください。

12.1.3 ~/.rhosts ファイルが作成されていること

r コマンドを実行するには、リモートホストのホームディレクトリに.rhosts ファイルを作成し、r コマンドを発行するコンピュータ(ここでは、AT-TCP 32 をインストールした PC)のホスト名とユーザ名を記述しておく必要があります。~/.rhosts ファイルが存在しなかったり、記述が間違っていると、リモートコマンドは失敗します。

▶ ただし、/etc/hosts.equiv ファイルに PC のホスト名が記述されている場合は、~/.rhosts ファイルがなく てもrコマンドを実行できます。なお、/etc/hosts.equiv は、通常システム管理者が管理するファイルです。

~/.rhosts ファイルがない場合は、リモートホストにログインし、次の例を参考に作成してください。また、PC上でエディタを使って作成し、FTP などでリモートホストへ転送してもかまいません。

~/.rhosts ファイルには、r コマンドを実行するコンピュータのホスト名 (または IP アドレス) とユーザ 名をスペースまたはタブで区切って記述します。「#」以降行末までは、コメントとして無視されます。次 に、~/.rhosts ファイルの例を示します。

bulbul.birds.xx.jp sein	
osprey.birds.xx.jp sein	
wagtail.birds.xx.jp sein	<pre># PC with AT-TCP/32 installed</pre>
192.168.1.87 seinan	

この例では、ホスト「bulbul.birds.xx.jp」、「osprey.birds.xx.jp」、「wagtail.birds.xx.jp」のユーザ「sein」 と、ホスト「192.168.1.87」のユーザ「seinan」に対して、r コマンドの実行を許可しています。 ▶ 通常、所有者以外のユーザに ~/.rhosts ファイルへの書き込み権限が与えられていたり、~/.rhosts ファイルの所有者が該当ユーザでなかったりすると、r コマンドは実行できません。詳細については、システム管理者にお尋ねになるか、システム付属のマニュアル等をご参照ください。

12.1.4 PC の IP アドレスとホスト名を相互変換できること

r コマンドを実行するには、リモートホストが PC の IP アドレスとホスト名を相互変換できるように設定 されている必要があります。具体的には、リモートホストの /etc/hosts ファイルに PC の IP アドレスと ホスト名が記述されている、あるいは、DNS 等のネームサービスを利用するよう設定されており、なお かつ DNS 等に PC の情報が登録されている必要があります。

12.2 起動

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「リモート コマンド」の順に選択します。
- 2. メイン画面が表示されます。

<mark>▲(無題 - リモートコマント)</mark> ファイル(E) 編集(E) 表示(M) コマント ⁽ (C) ヘルフ ^の (H)		
2例プトファイル名:	PER LIFE LIFE	X B B 🔗 የ 📢
		<u>~</u>
「」 ヘルプを表示するには [F1] を押してください…		► //

メイン画面

12.3 r コマンドの実行

12.3.1 リモートコピー

リモートコピー(rcp)は、リモートホストと自ホストの間でファイルのコピー(転送)を行うためのコマ ンドです。

▶ リモートホスト上でのファイルのコピーや、ローカルホスト上でのコピーも可能です。また、各ホストに適切な設定が施されていれば、リモートホスト A からリモートホスト B への第三者間コピーも可能です。

- 1. メニューから「コマンド」 「リモートコピー」を選択します。
- 2. 「リモートコピー」ダイアログが表示されるので、ここで必要な情報を入力します。
- まず、送信元ファイルについて設定します。送信したいファイルがリモートにあるのか、ローカル にあるのかを選択し、ローカルの場合はファイル名を、リモートの場合は、ホスト名、ユーザ名、 ファイル名を指定します。

ディレクトリごとコピーしたい場合は、「ファイル名」にディレクトリを入力し、「リカーシブモード」をチェックします。 送信元ファイルがローカルにある場合は、「参照」ボタンでファイル名を選択指定することもできます。

次に送信先について設定します。送信先をローカルにするか、リモートにするかを選択をします。
 ローカルの場合はファイル名(またはディレクトリ名)を、リモートの場合は、ホスト名、ユーザ
 名、ファイル名(またはディレクトリ名)を指定します。

ファイル名やディレクトリ名に漢字が含まれている場合は、「漢字変換」ボタンをクリックし、表示 される「漢字変換」ダイアログでリモートホスト側の漢字コードを選択します。

また、送信先がリモートの場合、「モード」で送信先にコピーしたときのファイルパーミッションを 設定することもできます。

7:	アイル許可モード				×
	マニュアル設定(M):	600	_		
	-ビジュアル設定:	,			
	所有者(0):	▶ リード権	▼ ライト権	□ 実行権	
	ケル−フ°(<u>G</u>):	□ リード権	□ ライト権	□ 実行権	
	その他(T):	□ リード権	□ ライト権	□ 実行権	
	OK	+	ャンセル	<u>^ルプ(H</u>)	

パーミッションの設定

- 5. 必要な情報を入力しおわったら、「実行」ボタンをクリックしてください。 次に、いくつか例を示します。
 - (a) リモートホスト「alice」上の「\$HOME/tmp/img0816.tgz」ファイルを、ローカル PC の 「C:¥tmp」ディレクトリにコピー

₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	
送信元:	送信先:
 ሀቺ-ኑ(B) レッププリモード(Y) 	O J€~h@
○ ローカル(L) □ リカーシフ*モード(D)	
ホスト名(N): alice 参照(B)	ホxh名(I): 参照(<u>S</u>)
ユーザ名(U): sein	ユーザ名(辺):
ファイル名(<u>F</u>): tmp/img0816.tgz 参照(<u>\/)</u>	ファイル名型: c:¥tmp
<u>漢字変換(K)</u>	漢字変換()
閉じる(2) 実行(2)	追加(<u>A</u>) へルフ ^{*(} H)

例 1

参照(S)...

^/レフ°(<u>H</u>)

漢字変換(J).

追加(<u>A</u>)

(b) リモートホスト「alice」上の「\$HOME/doc/perl/myinc」ディレクトリ以下を、ローカル

C:¥tmp」ディレクトリ以下にコピー	
リモートコピー	
送信元:	_送信先:
● リモート(R) ▼ パイナリモート*(Y)	C IJĘ−ŀ(P)
○ ローカル(L)	© □-カル(Q)
ホスト名(N): alice 参照(B)	标外名(①):
ユーザ名(U): sein	ユーザ名(Z):
ファイル名(F): doc/perl/myinc 参照(\//)	ファイル名①: c:¥tmp

実行(E)

漢字変換(<u>K</u>)...

閉じる(<u>C</u>)

РСの「 _ 🗆 ×

(c)	ローカル PC	の「D:¥intro1.gif」	」をリモートホス	ト「alice」の	ホームディレク	トリ直下にコ
	ピー(リモー	トの「ファイル名」	を空欄にすると、	ホームディレ	クトリを指定し	たのと同じに
	なります)					

例 2

ντ−ト⊐±°−	
送信元: ・ リモート(B)	- 送信先: ・ リモート(P) ・ ローカル(Q) ・ モード(M)…
ホハ名(山): 参照(金) ユーザ名(山): コーザ名(山): コー(日々(エ): DMintrell gif 参照(4A)	ホスト名(丁): alice 参照(S) ユーザ名(Z): sein
/アイルーჽ(<u>F</u> /) 漢字変換(<u>W</u>) 関1".5(C) 軍行(F).)71ル名型: 漢字変換(J))資加(A)
周じる(2) 実行(2)	<u>、 通知(A)</u> (A)の(世)

(d) ローカル PC の「C:¥tmp¥mydir」ディレクトリ以下を、リモートホスト「alice」の「\$HOME/tmp」ディレクトリ以下にコピー

モ∽トコヒ⁰∽	
送信元 C リモート(B) マ ハッイナリモート、(Y) C ローカル(L) マ リカーシンモート、(D)	- 送信先: ・ ジモート(P) ・ ローカル(Q) モート*(<u>M</u>)…
ホハ-名(山): 参照(日)	ホスト名(T): alice 参照(S)
ユーザ名(山):	ユーザ ^s 名(Z): sein
ファイル名(E): c:¥tmp¥mydir 参照(\)	ファイル名①: tmp
漢字変換化)	漢字変換(<u>」</u>)
閉じる(0) 実行(12)	追加(<u>A)</u> ヘルフ°(<u>H</u>)



このとき、「モード」ボタンをクリックして、リモートファイルに実行パーミッションを与え

ないと、コピ	ーに失敗します。			
	ファイル許可モー	x ^e		×
	マニュアル設定	(M): 755 定:		
	所有者(~	▼ う仆権	▶ 実行権
	ク *ルーフ*0	<u>a</u>): マ リード権	□ ライト権	▶ 実行権
	その他(<u>D</u> : マリード権	□ う仆権	▶ 実行権
	ОК		キャンセル	<u>^ルフ°(H</u>)

パーミッションの設定

6. コマンドが実行され、結果が画面に表示されます。



リモートコピーの結果

12.3.2 リモートシェル

リモートシェル(rsh)は、リモートホスト上でコマンドを実行させるコマンドです。リモートシェルは、 リモートホストへのログイン、コマンドの実行、ログアウトを一連の動作として行います。

- 1. メニューから「コマンド」 「リモートシェル」を選択します。
- 2. 「リモートシェル」ダイアログが表示されるので、ここで必要な情報を入力します。
- 3. コマンドを実行するホスト名、リモートホスト上でコマンドを実行するユーザ名、リモートホスト上で実行するコマンドを入力します。ここでは、ホスト名「alice」、ユーザ名「sein」、コマンド「lynx -dump -crawl http://www.tw.allied-telesis.co.jp/」とします。

Jモ − トシ±ル			_ 🗆 ×
ホスト名(<u>O</u>):	alice		参照(_)
ユーザ名(山):	sein		
コマント・ライン(止):	lynx -dump -cra	awl http://www.tv	w.allied-telesis.co.jp/
rexec7 רום 🗖	ルの使用(<u>R</u>)	パ [*] スワート [*] (<u>P</u>):	
🗖 バイナリモード	(<u>B</u>)		漢字変換(<u>K</u>)
閉じる(©)	実行(E)	追加(A)	<u>^⊮フ°(H</u>)

コマンドの指定

- 4. 入力が終わったら、「実行」ボタンをクリックします。
- 5. コマンドが実行され、実行結果が画面に表示されます。

ali 無題 - リモートコマント [×] _ D	×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) ヘルプ(H)	
□ 🕞 🖬 ZがJフャファイル名: 🖉 55 日間 🚳 💡 😢	
J613-M4422-01 Rev.A 000608	
その他 îTop	
[greenball.gif] 静電気による機器破損防止のご注意	
1. 静電気による機器破損防止のご注意(ベラ) J613-M0509-00 Rev.A 991201 	
[up.gif] もどる	
[Count.cgi?df=media.dat&ft=0ⅆ=E]	
コマンドは正常終了しました。	
	⊡
へいりを表示するには [F1] を押してください	//.

コマンド実行結果

12.4 スクリプトファイルの使用

スクリプトファイルを作成すると、複数のrコマンドを連続して実行させることができます。

12.4.1 スクリプトファイルの作成

 実行したい各コマンドについて、前述した「リモートコピー」および「リモートシェル」の手順に したがって、各種パラメータを設定します。

₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	
送信元: ・ リモート(E) 「 バイナリモート*(Y) C ローカル(L) 「 リカーシフ・モート*(D)	送信先:
ホスト名(W): alice 参照(B) ユーザ名(U): Sein ファイル名(E): latest tez 参照(W)	秋水名①)参照(g) ユーザ名②: ファイル名④: d¥tmpl □ 本にたち(g)
<u>漢子変決し…</u> 閉じる(<u>c</u>) 実行(<u>c</u>)	

コマンドの追加

2. 入力が終了したら、「実行」ではなく「追加」をクリックします。すると、メイン画面上部に入力し たコマンドが表示されます。

▲ 無題 - パートコマンパ
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) ヘルプ(H)
□ 🕼 🖬 Zウリブトファイル名: 🕎 55 動 🕄 🚔 💡 😢
wrsh alice -l sein wget http://www.hoge.co.jp/data/latest.zip
wrcp -m 600 sein@alice:latest.zip c:¥data

追加されたコマンド

3. この手順を繰り返して、必要なコマンドをすべて入力します。
12.4.2 スクリプトファイルの実行

1. 「コマンド」 「スクリプトファイルの実行」をクリックします。またはツールバーの「EXEC」ボ タン をクリックします。

🏙 無題 - リモートコマント		
ファイル(Ĕ) 編集(Ĕ) 表示(⊻)	<u>コマント*(C)</u> ヘルフ*(<u>H</u>)	
□ 🗃 🖬 スツフトファイル名	リモートコピー(C) リモートシェル(S)	
wrsh alice -l sein w wrcp -m 600 sein@al	<mark>ス別プトの実行(<u>G</u>)</mark> ス別プトの中止(T) ト	.allied-telesis.co.jp/pub/incoming/latest. mp
	コマンド履歴(円)	
	タンブルクリック時の動作(<u>D</u>) ▶	

スクリプトファイルの実行

2. コマンドが実行され、実行結果が画面に表示されます。

<mark>創</mark> 無題 - リモートコマンド ファイル(E) 編集(E) 表示(V) コマンド(C) ヘルプ(H)		
□ ● ■ ス別プトファイル名:		e <u>a ? R</u>
wrsh alice -l sein wget ftp://afrika.tw.a	llied-telesis.co.jp/pub	/incoming/latest.t
wrcp -m 600 seinWalice:latest.tgz d:#tmp		
600K -> 650K -> 700K -> 750K -> 800K -> 850K -> 950K -> 11:58:31 (4.94 MB/s) - `latest.tgz' saved	[1030393]	[64] • [69] [74] [79] [84] [89] [94] [99] [100]
コマンドは正常終了しました。		
無題 2行目 実行開始		Ţ
• [Þ
ヘルプを表示するには [F1] を押してください…		

実行中のスクリプト

- 12.4.3 スクリプトファイルの保存
 - 1. 作成したスクリプトファイルを保存するには、メニューの「ファイル」 「名前を付けて保存」を 選択します。
 - 2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、ファイル名を指定して「保存」ボタンをクリックします。

12.4.4 スクリプトファイルの読み込み

- 1. 保存したスクリプトファイルを読み込むには、メニューの「ファイル」 「開く」を選択します。
- 2. 「開く」ダイアログが表示されるので、スクリプトファイル名を指定して、「開く」をクリックして ください。
- 3. 指定したファイルが読み込まれると、メイン画面の「スクリプトファイル名」欄にファイル名が表示され、コマンド表示欄にスクリプトの内容が表示されます。

12.4.5 コマンド行の編集、実行

スクリプトファイル内のコマンドを1行だけ実行したり、編集したりするには、以下の手順にしたがいます。

ダブルクリックによる編集、実行

スクリプトファイル内のコマンド行をダブルクリックすることにより、その行を実行、または、編集する ことができます。

ダブルクリック時にどちらの動作を行わせるかは、メニューで変更できます。

 「コマンド」「ダブルクリック時の動作」を選択すると、次のサブメニューが表示されるので、 「実行」、「編集」のどちらかを選択します。

🏙 testscr.rsp - リモートコマント*				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	コマント [*] (<u>C</u>) ヘルフ [*] (<u>H</u>)			
🗋 🗃 🔚 _ Հၯႝプトファイル名	リモートコピー(©) リモートシェル(<u>©</u>)		ê îr îr	x B B 🗳 የ 🕅
wrsh alice -l sein w	ス別プトの実行(G) スクリブトの中止(T)	.allied-t	elesis.co.	jp/pub/incoming/latest.t
	コマンド履歴(円)			
	タブルクリック時の動作(D)	編集(E) ✔実行(2)		

ダブルクリック時の動作

一行実行 (LINE exec)

選択したコマンド行だけを実行するには、次のようにします。

1. 実行したいコマンド行を選択します。

2. ツールバーの「LINE exec」ボタンをクリックします。



LINE exec

3. 「ダブルクリック時の動作」の設定にかかわらず、選択したコマンドが実行されます。

一行編集 (LINE edit)

選択したコマンド行を編集するには、次のようにします。

- 1. 編集したいコマンド行を選択します。
- 2. ツールバーの「LINE edit」ボタンをクリックします。



LINE edit

3. 「ダブルクリック時の動作」の設定にかかわらず、選択したコマンドの編集画面が表示されます。

12.5 終了

メニューから「ファイル」「アプリケーションの終了」を選択します。

第13章

Finger クライアント

「Finger クライアント」は、指定したホストにログインしているユーザの情報や、指定したユーザの情報 を得るためのプログラムです(情報の内容はホストに依存します)。一般的に、finger クライアントでは 次の情報が得られます。

Login

ユーザのログイン名。

Name

ユーザのフルネーム。

TTY

ユーザが使用している端末。

Idle

ユーザが最後に端末を操作してからの経過時間。

When

ログイン時刻。

Where

ユーザがどこからログインしているか。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.142)
- □ finger の実行 (☞ p.142)
- □ 情報の保存 (☞ p.143)
- □ 漢字コード変換の設定 (☞ p.144)
- □ 終了 (☞ p.144)

13.1 起動

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Finger クライアント」の順に選択します。
- 2. メイン画面が表示されます。

🔛 Fingerクライアント				_ 🗆 ×
ファイル(Ĕ) 編集(Ĕ) 表	赤型 オブション©	Λルフ°(<u>H</u>)		
	§ №			
ホスト名(№):	•	ユーザ名(<u>U</u>):	_	実行必
				*
<u>.</u>				
, ^ルフ℃を表示するには [F1] を押してください…			

メイン画面

13.2 finger の実行

1. 「ホスト名」に finger サーバのホスト名 (または IP アドレス)を、「ユーザ名」には情報を取得したいユーザの名前を入力し、「実行」ボタンをクリックします。

🔛 Fingerクライアント				_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示	F(V) オフジョン(O) ヘルフ	(Η)		
I X 6 🛍 🍠	? №?			
ホスト名(<u>N</u>): alice	- 2-	ザ名(山): mikeo	•	実行⊠

情報の取得

2. 指定したユーザの情報が表示されます。

Somer/75/72ト コーム(15) 毎年(5) まテクル オコミッション(2) ヘルコン(4)	_ 🗆 ×
ホスト名(N): 司ICE 💌 ユーザ名(U): Jmikeo 💌 実行	×,
[alice : 150.87.28.103] Login: mikeo Name: Mikeo DAIDAI Directory: /home/mikeo Shell: /bin/tcsh On since Wed Aug 16 14:26 (JST) on pts/0 from yes 2 minutes 51 seconds idle Mail last read Wed Aug 16 14:22 2000 (JST) No Plan.	
-	× F
へルプを表示するには [F1] を押してください。	1

ユーザの情報

また、「ユーザ名」の入力を省略すると、指定したホストにログインしているユーザすべてに関する 情報が表示されます。

🜇 Fingerりライアント
ファイル(圧) 編集(圧) 表示(型) オプション(型) ヘルプ(圧)
ホスト名(仏): ■100 ▼ ユーザ・名(仏): ▼ 実行公人
[alice : 150.87.28.103] Login Name Tty Idle Login Time Office Office Phone mikeo Mikeo DAIDAI /0 3 Aug 16 14:26 (yes) poteo Pote Poteo /2 1 Aug 16 14:29 (yes) sein Sei NAKAJIMA /1 1 Aug 16 14:23 (yes)
▼ √U/7(茨表示する)コは[F1] が押してください。

ユーザ名を省略した場合

13.3 情報の保存

取得した情報はファイルに保存することができます。

- 1. メニューから「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択します。
- 2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。保存する場所とファイル名を指定して「保存」 をクリックしてください。

13.4 漢字コード変換の設定

finger サーバが日本語に対応している場合、finger サーバから取得したデータ中の漢字コードを変換する ことができます。

- 1. メニューから「オプション」 「オプションの設定」を選択します。
- 2. 「オプションの設定」ダイアログが表示されるので、「漢字コード変換」をサーバ側の設定に合わせ ます。設定が終了したら「OK」をクリックします。



オプションの設定

13.5 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。

第14章

Finger サーバ

「Finger サーバ」は、Windows マシンを finger サーバにするためのプログラムです。ネットワーク上 の他のコンピュータから、finger クライアントを使って finger サーバのユーザ情報を取得することがで きます。ただし、この場合のユーザ情報とは、CentreNET AT-TCP/32 Professional インストール時に 設定したホームディレクトリ上の「_plan」ファイルに記述してある内容をさします。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.145)
- □ 終了 (☞ p.146)

14.1 起動

「Finger サーバ」を起動すると、そのコンピュータは自動的に finger サーバとなります。

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Finger サーバ」の順に選択します。
- タスクバーに「Finger サーバ」のタスクボタンが表示されます。これで、このコンピュータは finger サーバとして動作します。ネットワーク上の他のコンピュータから、Finger クライアント コマンドを使用して、ユーザ情報を取得することができるようになります。

ingerサーハ*

Finger サーバのタスクボタン

14.2 終了

マウスの右ボタンでタスクバーの「Finger サーバ」アイコンをクリックしてメニューを表示させ、「閉じる」をクリックします。

第15章

Whois クライアント

「Whois クライアント」は、Whois サーバから、指定したキーワードに関する情報を引き出すためのプログラムです。接続先のサーバによって、表示されるデータは異なります。詳細は接続先ホストの管理者にお問い合わせください。

Topics:

- □ 起動 (☞ p.147)
- □ 漢字コード変換の設定 (☞ p.148)
- □ 情報の検索 (☞ p.149)
- □ 情報の保存 (☞ p.149)
- □ 終了 (☞ p.149)

15.1 起動

1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「Whois クライアント」の順に選択します。 2. メイン画面が表示されます。

💽 Whoisクライアント			_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オブション(Q)	^⊮フ°(<u>H</u>)		
ホスト名(N): whois.nic.ad.jp 💌	キ− 7−ド(<u>K</u>):	•	実行(2)
			A
			T
<u>र</u>			
, ^ルプを表示する!こは [F1] を押してください…			

メイン画面

15.2 漢字コード変換の設定

日本国内の Whois サーバに接続する場合は、オプション設定で漢字コードの変換設定を行います。

- 1. メニューから「オプション」 「オプションの設定」を選択します。
- イプションの設定」ダイアログが表示されます。「漢字コード変換」から、サーバ側で使われている漢字コードを選択します。設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。



漢字コード変換の設定

15.3 情報の検索

1. メイン画面の「ホスト名」に Whois サーバの名前(または、IP アドレス)を、「キーワード」に ユーザ名等のキーワードを入力して「実行」ボタンをクリックします。

😰 Whoisクライアント		_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) オブション(Q)	^ルフ°(<u>H</u>)	
ホスト名(N): whoisnic.ad.jp 💌	‡−ワ−ト ^{<} (<u>K</u>): allied-telesis ▼	実行⊗人

サーバ名、キーワードの入力

2. 情報が表示されます。

15.4 情報の保存

取得した情報をファイルに保存することができます。

- 1. メニューの「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択します。
- 2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、ファイル名を指定して「保存」をクリックします。

15.5 終了

メニューから「ファイル」 「終了」を選択します。

第16章

時刻設定ユーティリティ

「時刻設定ユーティリティ」は、タイムサーバに対して、現在の日付、時刻の問い合わせを行い、本ユー ティリティを実行しているコンピュータの時計を、タイムサーバに同期させるプログラムです。

Topics:

- □ 日付・時刻の確認 (☞ p.151)
- □ 終了 (☞ p.152)

16.1 日付・時刻の確認

- 1. 「スタート」ボタンから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「時刻設定 ユーティリティ」の順に選択します。
- 2. 設定ダイアログボックスが表示され、コンピュータに設定してある「現在の日付/時刻」が表示されます。



現在時刻

3. 「現在の日付/時刻」の下のボックスにタイムサーバのホスト名を入力します。ここではホスト名 を「alice」とします。

🕵 時刻設定ユーティリテ	4	_ 🗆 X
ファイル(E) ヘルプ(<u>H</u>)		
現在の日付/時刻:		実行(<u>E</u>)
00/08/16 午後	t 03:08:31	時刻[設定(S)
alice	の日付/時刻(<u>D</u>):	44740
接続外77%	実行後の処理:	
C TOP(T)	□ 時刻の自動設定(4	Ð
UDP(<u>U</u>)	□ 時刻設定ユーティリティ	の終了(型)

タイムサーバ名の指定

- 4. 次に「接続タイプ」を選択します。タイムサーバに応じて、「TCP」か「UDP」のどちらかを選択 してください。デフォルトは「UDP」です。
- 5. 「時刻の自動設定」をチェックしておくと、「実行」ボタンをクリックしてタイムサーバにアクセス したときに、コンピュータの時計がタイムサーバの時刻に同期されます。
- 「時刻ユーティリティの終了」をチェックしておくと、時刻同期とともに、本ユーティリティを終 了することができます。

▶ 「時刻ユーティリティの終了」は単独で選択しても意味がありません。

 タイムサーバとコンピュータの時刻のずれを確認した上で時刻の同期をとりたい場合は、「時刻の 自動設定」と「時刻ユーティリティの終了」のチェックを外しておきます。
 「実行」ボタンをクリックすると、「時刻設定ユーティリティ」はタイムサーバの時刻を表示するの で、「時刻設定」ボタンをクリックしてください(「時刻設定」ボタンは「実行」ボタンをクリックす ることによりアクティブになります。コンピュータの時刻は、Windows 95/98/NT 4.0/2000 の タスクバーの右端か、「コントロールパネル」 「日付と時刻」で確認できます)。

16.2 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。または、ダイアログの中央にある「終了」ボタンをクリックします。

第17章

ダイヤルアップコネクター

「ダイヤルアップコネクター」は、モデムを使用して、インターネットプロバイダなどにダイヤルアップ 接続するためのコマンドです。

Topics:

- □ はじめに (☞ p.153)
- □ 起動 (☞ p.154)
- □ 接続先の登録 (☞ p.154)
- □ 接続と切断 (☞ p.159)
- □ 巡回接続と巡回切断 (☞ p.160)
- □ 接続状態の確認 (☞ p.160)
- □ 接続先の削除 (☞ p.161)
- □ 接続先情報の編集 (☞ p.161)
- □ 自動起動と自動ダイヤル (☞ p.161)
- □ リダイヤル (☞ p.163)
- □ 自動切断 (☞ p.164)
- □ ダイヤルアップコネクターのアイコン化 (☞ p.165)
- □ 接続後に接続ダイアログを隠す (☞ p.166)
- □ 接続通知 (☞ p.166)
- □ 構内交換機 (PBX) 経由で接続する場合 (☞ p.167)
- □ 終了 (☞ p.169)

17.1 はじめに

このコマンドを使用する前に、あらかじめ以下のコンポーネントのインストールおよび設定を行っておいてください。

1. ダイヤルアップネットワーク

- 2. モデム
- 3. ダイヤルアップアダプタ
- 4. TCP/IP

№ Windows 95 では、上記に加え、Internet Explorer 3.0 (4.70.1155) 以降がインストールされている必要が あります。

♥ Window NT 3.51 でダイヤルアップコネクターを使用する場合は、「電話帳」の接続先エントリのみがご使用いただけます。その他、ご使用の OS によって、使用できる機能に制限があります。詳しくは、「お読みください」(README)などのドキュメントをご参照ください。

17.2 起動

- 1. 「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreNET AT-TCP32 Professional」 「ダイヤル アップコネクター」の順に選択します。
- 2. メイン画面が表示されます。

🌆 ダイヤル:	アップ コネクター	-					_ 🗆 ×
7711(E)	編集(E)	表示(⊻)	ダイヤルアッフヾ <u>ロ</u>)	⋽ ンチャー(∐)	$\mathcal{Y} = \mathcal{H}(\underline{T})$	ヘルフ ^{*(} <u>H</u>)	
	.	?					
	钅帳						
							A
							▼
 かんまう	ミオスにけ	[[1] を掴					

メイン画面

17.3 接続先の登録

最初に、ダイヤルアップ接続先(プロバイダのアクセスポイントなど)の登録を行います。登録方法には、 手動ですべての情報を入力する方法と、本製品が保持するプロバイダアクセスポイント一覧から任意のエ ントリを選択して、ユーザ名とパスワードだけを入力する方法があります。

17.3.1 手動登録

- 1. メニューの「ファイル」 「新しい接続エントリ」 「新規作成」を選択してください。
- 2. 「ダイアルアップ接続」ダイアログが表示されます。各タブで以下の項目について入力します。

N Windows NT 3.51、NT 4.0、2000 では、OS 標準の設定画面が表示されます。

(a) ユーザアカウントタブ

ダイヤルアップ接続	×
ユーザアカウント 接続 TCP/IP	
ブロハディダ・名(N): Netage	
ユーザ [*] 名(<u>A</u>): ハ*スワート*(<u>P</u>):	
説明 7ኪバイダの名称または, アクセスボイントの名称を指定します.また, ダイヤルアップ接続アイコンのタイトルになります.	

ユーザアカウントタブ

プロバイダ名

接続先を識別するための名前を入力します。プロバイダ名とアクセスポイント名を組み合わせたものなどを設定するとよいでしょう。半角で 32 文字まで入力できます。また、漢字入力も可能です(全角文字は 16 文字まで)。ただし、使用できない文字がありますのでご注意ください。たとえば、Windows 95/98 では、|,>,<,?,*,¥,/,: などが使用できません。

ユーザ名

プロバイダから指定されたユーザ名(ログイン名)を入力します。

パスワード

プロバイダから指定されたパスワードを入力します。

(b)	接続タ	ブ

イヤルアップ 接続		>
ユーザアカウント 接続	TCP/IP	
- 接続先		
電話番号(<u>P</u>):	00-0000-0000	
ドメイン名(<u>D</u>):		
- 使用するデバイス		
モデ [*] ム(<u>M</u>):	OMRON ME2814B	
電話番号を次の	り形式で指定します。	
市外局番一百	市内局番-局内番号	
市外局番と市内	り局番の間の'−'は,省略できません.	
		*

接続タブ

電話番号

接続先の電話番号を入力します。

ドメイン名

プロバイダから指定されたドメイン名を入力します。

モデム

接続時に使用するモデムを選択します。

(c) TCP/IP タブ

デイヤルアップ接続	×
ユーザ [*] アカウント 接続 TCP/IP	,
DNSサーハ*	「詳細オブション
プライマリ(<u>1)</u> :	□ 暗号化パスワードを使う(R)
セカンダリ(2):	☑ ソフトウェア圧縮をする(<u>S</u>)
-WINSサーハ*	☑ IPヘッダ圧縮を使う(1)
プライマリ(<u>3</u>):	
セカンダリ(4):	デフォルトゲートウェイを使う(<u>G</u>)
この接続で優先的に使うDNSサ ます。	ーバのフドレスを,次の形式で指定し
例) 192.168.32.10	
OK	: ++>t/ ^//7*

TCP/IP タブ

DNS サーバ

プロバイダから指定された DNS (Domain Name Service) サーバの IP アドレスを入力 します。「プライマリ」と「セカンダリ」の 2 つを指定できます。

WINS サーバ

プロバイダから指定された WINS (Windows Internet Naming Service) サーバの IP ア ドレスを入力します。「プライマリ」と「セカンダリ」の2つを指定できます。指定され ていない場合は空欄でかまいません。

暗号化パスワードを使う

接続する際に必要なパスワードを暗号化して送信します。

ソフトウェア圧縮をする

送受信時にデータを圧縮します。ただし、接続先と圧縮方式が同じ場合にのみ有効です。

IP ヘッダ圧縮を使う

データ送信時に IP ヘッダを圧縮します。ただし、接続先が IP ヘッダの圧縮に対応しているときに限ります。

リモートネットワーク上のデフォルトのゲートウェイを使う

モデムを使用して接続する際、プロバイダのゲートウェイをデ フォルトゲートウェイと して使用する場合にチェックします。NetWare や LAN をご使用の場合は、通常ここを チェックしてください。

- 3. 各タブの設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。
- 4. メイン画面の電話帳に、登録したプロバイダ名が追加されます。



メイン画面

17.3.2 「プロバイダー覧からの選択」で設定する場合

▲ この機能は、Winodws NT 3.51 ではご使用になれませんのでご注意ください。

- 1. メニューの「ファイル」 「新しい接続エントリ」 「プロバイダー覧から選択」を選択します。
- 2. 「プロバイダー覧から選択」ダイアログが表示されます。このダイアログの中からご契約のプロバ イダを選択し、「選択」ボタンをクリックします。

ブロバイダ一覧から選択
ブロバイダ一覧(_)
InfoGLOBE 横浜1 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 横浜2 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 神戸 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 大宮 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 大阪1 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 東京1 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 東京1 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 東京2 モデム-INS接続 28.8K 同期64K InfoGLOBE 東京3 モデム-INS接続 28.8K InfoGLOBE 東京4 モデム-INS接続 28.8K InfoGLOBE 東京5 モデム-INS接続 28.8K InfoGLOBE 東京5 エデム-INS接続 28.8K InfoGLOBE 東京5 エデム-INS接続 28.8K InfoGLOBE 東京5 エデム-INS技術 28.8K InfoGLOBE 東京5 エデム5 エディー
選択 キャンセル

プロバイダー覧から選択

 「ダイヤルアップ接続」ダイアログが表示されます。すでに、選択したプロバイダに関する情報は 設定されていますので、「ユーザ名」と「パスワード」だけを入力してください。 ご契約のプロバイダから指定されたユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックし ます。

ゲイヤルアップ 接続	×
ユーザアカウント 接続 TCP/IP	
プロバイダ名(<u>N</u>): Netage	
ユーザ*名(<u>A</u>):	
∧*スワ∽ト <u>*(P</u>):	
┌ 説明	
フロハイダの名称または、アクセスホイントの名称を指定します。また、 ダイヤルアップ接続アイコンのタイトルになります。	
OK ++>>t/L ~/L)*

アカウントタブ

4. メイン画面の電話帳に登録されます。

▶ なお、プロバイダのアクセスポイントは変更される可能性がありますので、最新の情報につきましては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。

17.4 接続と切断

登録した接続先にダイヤルアップするには、次の手順にしたがいます。

1. メイン画面左側の電話帳から、接続先アイコンを選択し、メニューから「ダイヤルアップ」 「接続」を選択します。

層 ダイヤルアップ コネクター					_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	ダイヤルアップ(<u>D</u>)	∋ンチャー(<u></u>)	$\mathcal{Y} = \mathcal{H}(\underline{T})$	ヘルフ*(<u>H</u>)	
🗅 🎘 🔳 🕹 🚧 🤶	接続(<u>C</u>)				
□■ 電話帳	916102				
⊡- ⊡ Netage	巡回開始(<u>C</u>) 巡回中止(Q))			
		, 			
					A
					-
	•				Þ
ダイヤリングを開始					li.

接続

2. 接続が始まると、メイン画面に次のように表示され、接続中のダイアログが表示されます。

🛅 ダイヤルフ	የップ コネクタ	-					_	. 🗆 🗙
7ァイル(<u>E</u>)	編集(E)	表示(⊻)	ダイヤルアップ(<u>D</u>)	∋ンチャー(<u>L</u>)	ツール(<u>T</u>)	ヘルフ*(<u>H</u>)		
	2 2 4	?						
⊡ 	帳 letage							
			15:10:41 15:10:46	'Netage' タ゛イヤル中	(こ接続	します		×
, ヘルプを表示	するには	[F1]を押	ノー ノてください。					

メイン画面

3. 接続が完了すると、ダイアルアップネットワークの次のダイアログが表示されます。

🛃 ダイヤル	アップ ネットワーク (Netage)	
-	28800 bps で接続	切断(<u>C</u>)
<u> </u>	接続時間: 000:04:04	[詳細(<u>D</u>) >>]



4. 切断するときは、メニューの「ダイヤルアップ」 「切断」を選択します。

17.5 巡回接続と巡回切断

電話帳に複数の接続先を登録してある場合、巡回接続機能を用いると、あるアクセスポイントに接続でき なかった場合に、自動的に次に登録されているアクセスポイントに接続しに行きます。

このようにして、どこかに接続できるまで、電話帳に登録してある接続先エントリを順番に試みます。

- 1. 巡回接続をするには、メニューの「ダイヤルアップ」 「巡回接続」を選択します。
- 2. 巡回接続を取り消すには、メニューの「ダイヤルアップ」 「巡回中止」を選択します。

17.6 接続状態の確認

現在の接続状態を確認するには、メニューから「表示」 「接続状況表示」を選択します。現在接続中の 接続先エントリがあれば、以下の情報が表示されます。接続中のエントリがない場合は「接続数:0」と表 示されます。

接続先

「接続先の登録」で設定した「プロバイダ名」が表示されます。

ステータス

現在の接続状況が表示されます。

デバイスタイプ

接続するために何を使用しているかが表示されます。

デバイス名

デバイスの機種などが表示されます。

17.7 接続先の削除

電話帳から接続先エントリを削除するには、次の手順にしたがいます。

- 1. 電話帳から、削除したい接続エントリを選択し、メニューの「編集」 「接続エントリ」 「削除」 をクリックします。
- 2. 確認のダイアログが表示されるので、削除してもよければ「OK」ボタンをクリックします。
- 3. メニューから「表示」 「電話帳を最新の情報に更新」を選択し、電話帳の情報を更新します。

17.8 接続先情報の編集

すでに設定してある接続先情報を変更するには、次の手順にしたがいます。

- 1. 電話帳から、変更したい接続先エントリを選択し、メニューの「編集」 「接続エントリ」 「設 定」をクリックします。
- 2. 「ダイヤルアップ接続」ダイアログが表示されるので、設定内容を適宜変更します。
 № Windows NT 3.51、NT 4.0、2000 では OS 標準の設定画面が表示されます。
- 3. 修正が完了したら、「OK」ボタンをクリックします。
- 4. メニューから「表示」 「電話帳を最新の情報に更新」を選択し、電話帳の情報を更新します。

17.9 自動起動と自動ダイヤル

ダイヤルアップコネクターは、アプリケーションがネットワークにアクセスしようとした場合に、自動的 にダイヤルアップするよう設定できます(自動起動)。

また、ダイヤルアップコネクターを起動したら、よく使うプロバイダに自動的にダイヤルアップするよう 設定することもできます(自動ダイヤル)。 これらの設定は、接続中やダイヤル中は変更できません。また、自動起動は Windows95 でのみ使用できます。

- 1. メニューから「ツール」 「オプション」を選択します。
- 2. 「オプション」ダイアログが表示されます。

17.9.1 自動起動

アプリケーションがネットワークにアクセスしようとしたときに、自動的にダイヤルアップさせるには、 次のようにします。

- 1. メニューの「ツール」 「オプション」を選択します。
- 「オプション」ダイアログが表示されるので、「起動と接続」タブの「ダイヤラーの自動起動」の
 「アプリケーションがネットワークにアクセスしたら自動起動する」をチェックします。
- 3. 自動起動するときに使用するダイヤラーを、「ダイヤルアップコネクター」と「Windows ダイヤ ラー」の2つから選択します。

オ	フ*ション	×
	起動と接続	リダイヤル 切断 その他
		ダイヤラーの自動起動
	<u> </u>	▶ アフリケーションがネットワークにアクセスしたら自動起動する
	>>	● ダイヤルアップ コネクター(<u>D</u>) ● Windows ダイヤラー(<u>W</u>)
		自動がイヤル
		「 ダイヤルアッフ゜コネクター記動後に行う(S)
		接続17月1(日)
	0	く キャンセル 更新(<u>A</u>) ヘルフ*

自動起動の設定

4. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをク リックします。

17.9.2 自動ダイヤル

ダイヤルアップコネクターの起動時に、指定した接続先に自動的にダイヤルアップするよう設定するには、 次のようにします。

1. メニューの「ツール」 「オプション」を選択します。

 イプション」ダイアログが表示されるので、「自動ダイヤル」の「ダイヤルアップコネクター起動 後に行う」をチェックします。

オフジョン		×
起動と接続	リダイヤル 切断 その他	
	ダイヤラーの自動起動	
9	アフリケーションがネットワークにアクセスしたら自動起動する(N)	
*	ダイヤルアップ コネクター(□) び Windows ダイヤラー(<u>W</u>)	
	自動ダイヤル	
	▼ ダイヤルアップ コネクター起動後に行う(S)	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	OK キャンセル 更新(A) ヘルフ	1

自動ダイヤルのチェック

3. 「接続エントリ」から接続先を選択します。

オフション		×
起動と接続	リタイヤル 切断 その他	
	ダイヤラーの自動起動	
9	┏ アフリケーションガネットワークにアクセスしたら自動起動する(№)	
~	● ダイヤルアップ コネクター(<u>D</u>) ● Windows ダイヤラー(<u>W</u>)	
	自動ダイヤル	
	☑ ダイヤルアップ コネクター起動後に行う(<u>S</u>)	
	接続エントリ(E):	
	Lest	
	OK キャンセル 更新(<u>A</u>) ヘルフ [*]	

自動ダイヤル先の指定

4. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックします。

17.10 リダイヤル

巡回接続をするときのリダイヤル回数や、接続先へのリダイヤル回数を設定するには、次のようにします。

- 1. メニューの「ツール」 「オプション」をクリックします。
- 2. 「オプション」ダイアログが表示されます。「ダイヤリング」タブをクリックします。

3. 1回の巡回で接続できなかった場合、ここに設定してある回数だけ巡回します。「巡回接続」を チェックし、回数と間隔を入力します.

オフジョン		×
起動と接続	リダイヤル 切断 その他	
	▼ 巡回接続時のリダイヤル(0)	
2	回数(<u>C</u>): 1	
	間隔(工): 0 分 0 秒	
	┏ 接続エントリ毎のリダイヤル(ビー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	回数(<u>c</u>): 1 回	
	間隔(<u>т</u>): 0 分 0 秒	
01	K キャンセル 更新(<u>A</u>) ヘルフ*	

1回目の接続に失敗したら、ここに設定されている回数だけダイヤリングします。「接続エントリ毎のリダイヤル」をチェックし、回数と間隔を入力します。

オプション		x
起動と接続	リダイヤル 切断 その他	
	「「巡回接続時のリダイヤル(C)	
2	回数(<u>C</u>): 1	
	間隔(I): 0 分 0 秒	
	┏ 接続エントリ毎のリダイヤル(ビー	
	間隔(<u>1</u>): 0 分 0 秒	
0	K キャンセル 更新(<u>A</u>) ヘルフ [*]	

5. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをク リックします。

17.11 自動切断

接続したあとに、自動で接続の切断を行うことができます。

1. メニューの「ツール」 「オプション」をクリックします。

2. 「オプション」ダイアログが表示されます。「切断」タブをクリックします。



切断タブ

指定時間後

接続してから、何時間かしてから切断したい場合は、ここをチェックして時間数を入力します。 ダイヤルアップコネクター終了時

ダイヤルアップコネクターを終了すると同時に切断をする場合はここを チェックしてくだ さい。

3. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをク リックします。

17.12 ダイヤルアップコネクターのアイコン化

ダイヤルアップコネクターを起動したらアイコン化することができます。

- 1. メニューの「ツール」 「オプション」をクリックします。
- 2. 「オプション」ダイアログが表示されます。「その他」タブをクリックします。
- 3. 「画面設定」の「接続後にダイヤルアップコネクターをアイコン化する」をチェックします。

オプション	×	
起動と接続	リダイヤル 切断 その他	
	画面設定	
	▼ 接続後にダイヤルアッフ*コネクターをアイコン化する(C)	
	□ 接続後にWindowsの接続ゲイアログを隠す(W)	
	接続通知	
	□ 接続したらビーブを鳴らす	
	□ 接続したらWAVファイルを鳴らす	
	∧*ス(E): 参照(B)	
OK キャンセル 更新(A) ヘルフ*		

接続後にアイコン化

4. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをク リックします。

17.13 接続後に接続ダイアログを隠す

接続エントリに接続されると、接続ダイアログが表示されます。この接続ダイアログを隠すことができます。この機能は Windows95 のみの機能です。

- 1. メニューの「ツール」 「オプション」をクリックします。
- 2. 「オプション」ダイアログが表示されます。「その他」タブをクリックします。
- 3. 「画面設定」の「接続後にWindowsの接続ダイアログを隠す」をチェックします。

オプション		×
起動と接続	リダイヤル 切断 その他	
	_ 画面設定	
	□ 接続後にダイヤルアップコネクターをアイコン化する(C)	
	☑ 接続後にWindowsの接続がイアログを隠す(W)	
	_ 接続通知	
	□ 接続したらビーブを鳴らす	
	□ 接続したらWAVファイルを鳴らす	
	∧*ス(E): 参照(B)	
	OK キャンセル 更新(A) ヘルフ*	

ダイアログを隠す

4. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをク リックします。

17.14 接続通知

- 1. メニューの「ツール」 「オプション」をクリックします。
- 2. 「オプション」ダイアログが表示されます。「その他」タブをクリックします。

3. 「接続通知」の方法を選択します。WAV ファイルを選択した場合は「参照」ボタンでファイルを 選択します。

オプション	×	
起動と接続	リダイヤル 切断 その他	
	画面設定	
	□ 接続後にダイヤルアップコネクターをアイコン化する(<u>C</u>)	
	□ 接続後にWindowsの接続ゲイアログを隠す(W)	
	接続通知	
	□ 接続したらビーフを鳴らす	
	▼ 接続したらWAVファイルを鳴らす	
	バス(E): d Telesis¥AT-TCP32¥recv.wav 参照(B).	
	OK キャンセル 更新(<u>A</u>) ヘルフ [*]	

WAV ファイルの選択

4. 設定が終了したら、設定を更新するために「更新」ボタンをクリックしてから「OK」ボタンをク リックします。

17.15 構内交換機(PBX)経由で接続する場合

0 発信の PBX 内線電話のような 2 線式の電話をご使用の場合は、モデムが正常に動作しない場合があり ます。その場合は以下の設定をしてみてください(ここで表示されるダイアログは Windows 95 の画面 です。Windows NT 4.0、2000 の場合は若干画面が異なります)。

N このメニューは WinodwsNT 3.51 では使用できませんのでご注意ください。

1. メニューの「ツール」 「システム設定」 「モデムの設定」をクリックします。

2. 「モデムのプロパティ」が表示されます。「プロパティ」ボタンをクリックします。

ቺデムመንኳベティ ? ×		
情報 検出結果		
※のモデムがセットアップされています。		
OMRON ME2814B		
<u>追加(A)</u> 削除(E) <u>7ロハウィ(R)</u> ダイヤル方法 発信元:標準		
ダイヤル方法の変更に使ってください。 ダイヤルのプロパティ(<u>D</u>)		
閉じる キャンセル		

モデムのプロパティ

3. 使用しているモデムのプロパティが表示されます。「接続」タブの「詳細設定」ボタンをクリック します。

OMRON ME2814Bのプロパティ			
情報 接続			
┌接続の形式─────			
¯¯ [*] −¯ፇt [*] ット(<u>□</u>): 8			
∧1)ティ(<u>P):</u> なし 💌			
ストッフ*ビット(<u>S</u>): 1			
▶ トーンを待ってからダイヤルする(20)			
■ ダイヤル時の接続タイムアウト(Q): 秒			
□ 切断までの待ち時間①: 30 分			
ОК ‡ +Уt	214		

モデムのプロパティ 2

4. 「接続の詳細設定」ダイアログが表示されます。「追加設定」項目のフィールドに「ATX3」という コマンドを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

接続の詳細設定	? ×
 ▼ 17-制御を使う(E) ■ 接続に必要(R) ▼ データの圧縮(Q) ■ セルラー フロトコルを使う(U) 低速変調の設定(M) 【スタンダート* 追加設定(X) [ATX3 	 ア 7□-制御を使う(E) ・ハートウェア(RTS/CTS) (H) ・ソフトウェア(XON/XOFF) (S)
, ▼ ログの記録(<u>O</u>)	ОК + +уtи

接続の詳細設定

17.16 終了

メニューから「ファイル」 「アプリケーションの終了」を選択します。

付録A

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートが必要な場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項を 記入し、下記のサポート先に FAX してください。電話による直接のお問い合わせはできるだけ避けてく ださい。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話によるお問い合わせよりもはるかに 早く問題を解決することができます。記入内容については、以下の説明をご覧ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: 0120-860-772 月~金(祝・祭日を除く) 9:00~12:00、13:00~18:00 土(祝・祭日を除く) 10:00~17:00 Fax: 0120-860-662 年中無休 24 時間受け付け

A.1 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入頂くものです。ご提供 頂く情報が不十分な場合には、障害の原因を突き止めることに時間がかかり、最悪の場合は障害の解消が できない場合もあります。迅速に障害の解消を行うためにも、担当者が障害の発生した環境を理解できる よう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添 付ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますのであらかじめご了承ください。

A.1.1 ソフトウェアとハードウェア

- 1. AT-TCP/32 のバージョン、パッチレベル、シリアル番号、認証キー番号をご記入ください。
- 2. ネットワークの接続形態 (LAN またはダイヤルアップ) をご記入ください。
- 3. ご使用のネットワークアダプターについてご記入ください。
- 4. ご使用のサーバー機とOSについてご記入ください。

5. AT-TCP/32 をインストールした PC や OS についてご記入ください。

A.1.2 お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできるかぎり具体的に (再現できるように)ご記入ください。
- 2. 併用しているユーティリティやアプリケーションの処理内容についてもご記入ください。
- 3. エラーメッセージやエラーコードが表示される場合は、それらのメッセージ内容についてもご記入 ください(プリントアウトなどを添付していただいても結構です)。

A.1.3 ネットワーク構成について

AT-TCP/32 をご使用になっている PC とネットワークの接続状況や使用しているネットワーク機器など についてご記入ください。ネットワーク構成がわかるような簡単な図を添付していただけると大変助かり ます。
調查依頼書 (CentreNET AT-TCP/32 Professional 1/2)

一般事項		年	月	E
1. 御社名:	ご担当者:_			_
こ理絡先住所: 〒 Tel.:	Fax. :			
2.本製品のご購入販売店:				
Tel. :	ご購入日:	年月	日	

ハードウエアとソフトウェア

1.	1. AT-TCP/32 Professional のバージョンと環境					
	AT-TCP/32 Professional Ver pl シリアル番号 認証キー					
2.	環境 ダイヤルアップ LAN					
3.	ご使用のネットワークアダプターの種類、シリアル番号、製品リビジョン、ボー ドリビジョン: 弊社アダプター名 S/NRevREV					
	 ドライバーディスク Ver PL 他社メーカー名 / アダプター名:					
4.	サーバーのメーカー名、OS 名、Ver. :					
5.	 PC メーカー名 / 機種:					
	PC の OS (メーカー名)、Ver. :					
	 &張アダプター名 / 機種:					
	アプリケーション:					
	 ユーティリティ:					

調查依頼書 (CentreNET AT-TCP/32 Professional 2/2)

ネットワーク設定

年 月 日

(コントロールパネルの「ネットワーク」を参照の上、下記の項目をうめてください。)

DHCP	使う	使わない
IP アドレス		
サブネットマスク		
ゲートウェイ		
DNS	使う	使わない
ホスト		
ドメイン		
DNS サーバーの検索順		
ドメインサフィックスの検索順		
ドメインサフィックスの検索順		

お問い合わせ内容 (別紙なし 別紙あり)

-		
I		
1	1	
	1	
1	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
1	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
1	1	
	1	
	1	
1	1	
1	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
1	1	
1	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
_		